

中央児童相談所一時保護所個室化等改修工事

設計図

番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺	番号	図面名称	縮尺
A-01	改修特記仕様書（その1）	N:S	E-01	電気設備特記仕様書	N:S	M-01	機械設備 改修特記仕様書	N:S
A-02	改修特記仕様書（その2）	N:S	E-02	児童室1 電灯分岐設備2階平面図	1:100	M-02	機器表 凡例 冷媒管表 連絡線表	N:S
A-03	改修特記仕様書（その3）	N:S	E-03	児童室1 誘導灯・非常灯設備2階平面図	1:100	M-03	2階 児童室1 平面図	1:50
A-04	改修特記仕様書（その4）	N:S	E-04	児童室1 コンセント分岐設備2階平面図	1:100	M-04	2階 児童室2 平面図	1:50
A-05	案内図 配置図兼1階平面図・2階平面図（現況）	1:400	E-05	児童室1 空調設備2階平面図	1:100			
A-06	2階 児童室1 平面図	1:50	E-06	児童室1 構内交換・拡声設備2階平面図	1:100			
A-07	2階 児童室2 平面図	1:50	E-07	児童室1 自動火災報知設備2階平面図	1:100			
A-08	断面詳細図	1:30	E-08	児童室2 電灯分岐設備2階平面図	1:100			
A-09	天井伏図	1:50	E-09	児童室2 非常灯設備2階平面図	1:100			
A-10	展開図 1	1:50	E-10	児童室2 コンセント分岐設備2階平面図	1:100			
A-11	展開図 2	1:50	E-11	児童室2 空調設備2階平面図	1:100			
A-12	展開図 3 製作建具表・室名札	1:50	E-12	児童室2 構内交換・拡声設備2階平面図	1:100			
			E-13	児童室2 自動火災報知設備2階平面図	1:100			

 長野県中央児童相談所

 株式会社 湯本建築設計

4	仕上げ塗材仕上げ	[4.1.5][4.2.2][4.6.5]																																																																																																																																							
	<p>建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外</p> <p>新規仕上塗材の種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>呼び名</th> <th>防火材料</th> <th>仕上げの形状及び工法等</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">・薄付け仕上塗材</td> <td>・外装薄塗材 S i</td> <td>・</td> <td>・砂壁状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 S i</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 E</td> <td>・</td> <td>・さざ波状</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> <td>・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・防水形外装薄塗材 E</td> <td>・</td> <td>・凹凸状 (・吹付け・こて塗り)</td> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材 S</td> <td>・</td> <td>・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・厚付け仕上塗材</td> <td>・外装厚塗材 C</td> <td>・</td> <td>・吹放し・凸部処理・平たん状</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 S i</td> <td>・</td> <td>・凹凸状・ひき起こし・かき落とし</td> </tr> <tr> <td>・外装厚塗材 E</td> <td>・</td> <td>・上塗材・適用する・適用しない</td> </tr> <tr> <td>・可とう形外装厚塗材 E</td> <td>・</td> <td>・ゆず肌状・凸部処理・凹凸状</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">・複層仕上塗材</td> <td>・複層塗材 C E</td> <td>・</td> <td>耐候性 ※ 耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・可とう形複層塗材 C E</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 S</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 E</td> <td>・</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td>・複層塗材 R E</td> <td>・</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 C E</td> <td>・</td> <td>溶媒 ※ 水系・溶剤系・弱溶剤系 樹脂 ※ アクリル系</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">・可とう形改修用仕上塗材</td> <td>・防水形複層塗材 R E</td> <td>・</td> <td>外観 ※ つやあり つやなし</td> </tr> <tr> <td>・防水形複層塗材 R S</td> <td>・</td> <td>メタリック</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 E</td> <td>・</td> <td>・平たん状・さざ波状・ゆず肌状 耐候性 ※ 耐候形3種</td> </tr> <tr> <td>・可とう形改修塗材 R E</td> <td>・</td> <td>上塗材</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5</td> <td>マステック塗材塗り</td> <td>[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">5</td> <td>1 改修工法</td> <td>[5.1.3]</td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示</p> </td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>防火戸</td> <td>[5.1.4]</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>見本の製作等</td> <td>[5.1.5]</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>防犯建物部品</td> <td>[5.1.7]</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>アルミニウム製建具</td> <td>[5.2.2~5][表5.2.2]</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">6</td> <td>樹脂製建具</td> <td>[5.2.2][5.3.2~5]</td> </tr> <tr> <td> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種 皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による) ・C-1種 ・C-2種</p> <p>屋内の建具 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)</p> <p>結露水の処理方法 ・図示 ・メーカー仕様 水切り板,ぜん板 ・図示</p> <p>網戸等 [5.2.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> </td> <td></td> </tr> </tbody></table>	種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状	・可とう形外装薄塗材 S i	・	・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)	・外装薄塗材 E	・	・さざ波状	・可とう形外装薄塗材 E	・	・平たん状	・防水形外装薄塗材 E	・	・凹凸状 (・吹付け・こて塗り)	・外装薄塗材 S	・	・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく	・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し・凸部処理・平たん状	・外装厚塗材 S i	・	・凹凸状・ひき起こし・かき落とし	・外装厚塗材 E	・	・上塗材・適用する・適用しない	・可とう形外装厚塗材 E	・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸状	・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・	耐候性 ※ 耐候形3種	・可とう形複層塗材 C E	・		・複層塗材 S	・		・複層塗材 E	・	上塗材	・複層塗材 R E	・		・防水形複層塗材 C E	・	溶媒 ※ 水系・溶剤系・弱溶剤系 樹脂 ※ アクリル系	・可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 R E	・	外観 ※ つやあり つやなし	・防水形複層塗材 R S	・	メタリック	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状・さざ波状・ゆず肌状 耐候性 ※ 耐候形3種	・可とう形改修塗材 R E	・	上塗材	5	マステック塗材塗り	[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]	種類	・A種 ・B種	5	1 改修工法	[5.1.3]	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	・	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による	・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による		2	防火戸	[5.1.4]	3	見本の製作等	[5.1.5]	4	防犯建物部品	[5.1.7]	5	アルミニウム製建具	[5.2.2~5][表5.2.2]	6	樹脂製建具	[5.2.2][5.3.2~5]	<p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種 皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による) ・C-1種 ・C-2種</p> <p>屋内の建具 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)</p> <p>結露水の処理方法 ・図示 ・メーカー仕様 水切り板,ぜん板 ・図示</p> <p>網戸等 [5.2.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm
種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																						
・薄付け仕上塗材	・外装薄塗材 S i	・	・砂壁状																																																																																																																																						
	・可とう形外装薄塗材 S i	・	・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)																																																																																																																																						
	・外装薄塗材 E	・	・さざ波状																																																																																																																																						
	・可とう形外装薄塗材 E	・	・平たん状																																																																																																																																						
	・防水形外装薄塗材 E	・	・凹凸状 (・吹付け・こて塗り)																																																																																																																																						
	・外装薄塗材 S	・	・着色骨材砂壁状 (・吹付け・こて塗り) ・砂壁状じゅらく ・京壁状じゅらく																																																																																																																																						
・厚付け仕上塗材	・外装厚塗材 C	・	・吹放し・凸部処理・平たん状																																																																																																																																						
	・外装厚塗材 S i	・	・凹凸状・ひき起こし・かき落とし																																																																																																																																						
	・外装厚塗材 E	・	・上塗材・適用する・適用しない																																																																																																																																						
	・可とう形外装厚塗材 E	・	・ゆず肌状・凸部処理・凹凸状																																																																																																																																						
・複層仕上塗材	・複層塗材 C E	・	耐候性 ※ 耐候形3種																																																																																																																																						
	・可とう形複層塗材 C E	・																																																																																																																																							
	・複層塗材 S	・																																																																																																																																							
	・複層塗材 E	・	上塗材																																																																																																																																						
	・複層塗材 R E	・																																																																																																																																							
	・防水形複層塗材 C E	・	溶媒 ※ 水系・溶剤系・弱溶剤系 樹脂 ※ アクリル系																																																																																																																																						
・可とう形改修用仕上塗材	・防水形複層塗材 R E	・	外観 ※ つやあり つやなし																																																																																																																																						
	・防水形複層塗材 R S	・	メタリック																																																																																																																																						
	・可とう形改修塗材 E	・	・平たん状・さざ波状・ゆず肌状 耐候性 ※ 耐候形3種																																																																																																																																						
	・可とう形改修塗材 R E	・	上塗材																																																																																																																																						
5	マステック塗材塗り	[4.1.5][4.7.2][表4.7.1]																																																																																																																																							
	種類	・A種 ・B種																																																																																																																																							
5	1 改修工法	[5.1.3]																																																																																																																																							
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・内部</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・鋼製軽量建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・建具表による</td> </tr> </tbody> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による	・樹脂製建具	・	・	・建具表による	・鋼製建具	・外部	・	・建具表による	・内部	・	・建具表による	・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による	・	・	・建具表による	・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																																																																																																										
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																						
・アルミニウム製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																						
・樹脂製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																						
・鋼製建具	・外部	・	・建具表による																																																																																																																																						
	・内部	・	・建具表による																																																																																																																																						
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																						
	・	・	・建具表による																																																																																																																																						
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による																																																																																																																																						
2	防火戸	[5.1.4]																																																																																																																																							
3	見本の製作等	[5.1.5]																																																																																																																																							
4	防犯建物部品	[5.1.7]																																																																																																																																							
5	アルミニウム製建具	[5.2.2~5][表5.2.2]																																																																																																																																							
6	樹脂製建具	[5.2.2][5.3.2~5]																																																																																																																																							
	<p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>表面処理</p> <p>外部に面する建具 ・B-1種 ・B-2種 皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による) ・C-1種 ・C-2種</p> <p>屋内の建具 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー) 皮膚等の種類 (※改修標準仕様書表5.2.2による) 着色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー)</p> <p>結露水の処理方法 ・図示 ・メーカー仕様 水切り板,ぜん板 ・図示</p> <p>網戸等 [5.2.3]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材質</th> <th>線径</th> <th>網目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・防虫網</td> <td>※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製</td> <td>※0.25mm以上</td> <td>※16~18メッシュ</td> </tr> <tr> <td>・防鳥網</td> <td>ステンレス (SUS304) 線材</td> <td>1.5mm</td> <td>網目寸法15mm</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能等級</p> <p>外部に面する建具 ・A種 (建具符号: ・建具表による) ・B種 (建具符号: ・建具表による) ・C種 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 (・T-1 ・T-2) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 (・H-4 ・H-5 ・H-6) (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p>	種類	材質	線径	網目	・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ	・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																												
種類	材質	線径	網目																																																																																																																																						
・防虫網	※合成樹脂製 ・ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス (SUS316) 製	※0.25mm以上	※16~18メッシュ																																																																																																																																						
・防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm																																																																																																																																						

7	鋼製建具	[5.2.2][5.4.2~4][表5.4.2]								
	<p>枠の見込み寸法 ・建具表による</p> <p>表面色 ※標準色 ・特注色 水切り板,ぜん板 ※図示 ガラス ※複層ガラス</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 S-4 (建具符号: ・建具表による) S-5 (建具符号: ・建具表による) S-6 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>厚さ</th> <th>めっき付着量</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)</td> <td>※Z12又はF12</td> <td>・標準仕様書表5.4.2による</td> </tr> <tr> <td>・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)</td> <td>※Y08</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ビニル被膜鋼板 ・カラー鋼板 ・ステンレス鋼板 鋼板の厚さ ・改修標準仕様書表5.5.1による 召合せ,縦小口包み材の材質 ※鋼板 ・建具表による</p> <p>性能等級</p> <p>簡易気密型ドアセット ・適用する (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>外部に面する建具の耐風圧性 S-4 (建具符号: ・建具表による) S-5 (建具符号: ・建具表による) S-6 (建具符号: ・建具表による)</p> <p>防音ドアセット,防音サッシ ・適用する 遮音性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>断熱ドアセット,断熱サッシ G ・適用する 断熱性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>耐震ドアセット ・適用する 面内変形追随性の等級 () (建具符号: ・建具表による) ・適用しない</p> <p>鋼板 (屋外) ・SUS430J1L, SUS443J1, SUS304 鋼板 (屋内) ※SUS430, SUS430J1L, SUS443J1, SUS304 表面仕上げ ※HL ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ</p> <p>金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書表5.7.1による 樹脂製建具に使用する丁番 ※改修標準仕様書表5.7.3による 握り玉,レバーハンドル,押板類,クレセントの取付け位置 ・建具表による</p> <p>・旋前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本総り錠】 (品質) 工事建築材料等品質性能表による (性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>・旋前類 【レバーハンドル】 (品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>マスターキー ・製作する ・製作しない その他の鍵 ※ 各室3本1組 鍵箱 ○ 無 ・有</p>	厚さ	めっき付着量	厚さ	・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	・標準仕様書表5.4.2による	・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08	・
厚さ	めっき付着量	厚さ								
・JIS G 3302 (溶融亜鉛めっき鋼板)	※Z12又はF12	・標準仕様書表5.4.2による								
・JIS G 3317 (溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板)	※Y08	・								
8	鋼製軽量建具	[5.2.2][5.5.2~4]								
9	ステンレス製建具	[5.2.2][5.4.2][5.6.2~5]								
10	建具用金物	[5.7.2,3]								
11	鍵	[5.7.4]								

12	自動ドア開閉装置	[5.8.2,3]																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>自動ドア</th> <th>性能</th> <th>防錆</th> <th>センサーの種類</th> <th>凍結防止</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・SSLD-1</td> <td>※改修標準仕様書表5.8.1による</td> <td rowspan="2">・適用する ・適用しない</td> <td rowspan="2">・マットスイッチ ・光線 (反射) スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ</td> <td rowspan="2">・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない</td> </tr> <tr> <td>・DSL-1</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・DSL-2</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SWD-1</td> <td>※改修標準仕様書表5.8.2による</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・SWD-2</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・図示</td> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による (試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>性能 ※ 改修標準仕様書表 5.9.1 による (試験) 工事建築材料等品質性能表による</p>	自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止	・SSLD-1	※改修標準仕様書表5.8.1による	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線 (反射) スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	・DSL-1	・	・DSL-2	・				・SWD-1	※改修標準仕様書表5.8.2による				・SWD-2	・				・図示	・																																																																												
自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止																																																																																																						
・SSLD-1	※改修標準仕様書表5.8.1による	・適用する ・適用しない	・マットスイッチ ・光線 (反射) スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない																																																																																																						
・DSL-1	・																																																																																																									
・DSL-2	・																																																																																																									
・SWD-1	※改修標準仕様書表5.8.2による																																																																																																									
・SWD-2	・																																																																																																									
・図示	・																																																																																																									
13	自閉式上吊り引戸装置	[5.9.3]																																																																																																								
14	重量シャッター	[5.10.2,3]																																																																																																								
15	軽量シャッター	[5.11.2~4]																																																																																																								
	<p>開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/m² ストラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90) ストラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p> <p>開閉形式 ※手動式 ・上部電動式 (手動併用) 耐風圧強度 () N/m² ストラットの材質 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板) めっき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板) めっき付着量 (※AZ90) ストラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形</p>																																																																																																									
16	オーバーヘッドドア	[5.12.2,3]																																																																																																								
17	ガラス	[3.7][5.13.2~4][表5.13.1]																																																																																																								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>セクション材料による区分</th> <th>耐風圧区分 (Pa)</th> <th>開閉方式による区分</th> <th>収納形式による区分</th> <th>ガイドレール</th> <th>材質</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※スチールタイプ</td> <td>・125</td> <td>※バランス式</td> <td>・スタンダード形</td> <td>※溶融亜鉛</td> <td>・めっき鋼板</td> </tr> <tr> <td>・アルミニウムタイプ</td> <td>・100</td> <td>・チェーン式</td> <td>・ローヘッド形</td> <td>・めっき鋼板</td> <td>・ステンレス鋼板</td> </tr> <tr> <td>・ファイバーグラスタイプ</td> <td>・75</td> <td>・電動式</td> <td>・ハイリフト形</td> <td>・ステンレス鋼板</td> <td>・パーチカル形</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・50</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・合わせガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>構成種類</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート合わせガラス</td> <td>・フロート板合わせガラス</td> <td>・I類</td> </tr> <tr> <td>・網入磨き合わせガラス</td> <td>・網入磨き,フロート板合わせガラス</td> <td>・II-1類 ・II-2類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・型板強化ガラス</td> <td>・III類</td> </tr> </tbody> </table> <p>・強化ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料板ガラスによる種類</th> <th>種類</th> <th>性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロートガラス</td> <td>・フロート強化ガラス</td> <td>・I類 ・III類</td> </tr> <tr> <td>・型板ガラス</td> <td>・熱線吸収強化ガラス</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・熱線吸収強化ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>性能</th> <th>色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・熱線吸収フロート板ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収網入磨き板ガラス</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・複層ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>断熱性</th> <th>日射熱遅へし性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・断熱複層ガラス</td> <td>・1種 ・2種</td> <td>U1 U2</td> </tr> <tr> <td>・日射熱遅へし複層ガラス</td> <td>・3種</td> <td>U-3-1 ・U-3-2</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・4種</td> <td>E4</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・5種</td> <td>E5</td> </tr> </tbody> </table> <p>・熱線反射ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品種</th> <th>日射熱遅へし性</th> <th>耐久性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・熱線反射ガラス</td> <td>・1種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>色調 (・ブルー ・グレー)</td> <td>・2種</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・高性能熱線反射ガラス</td> <td>・3種</td> <td>B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>色調 (・ブロンズ ・シルバー)</p> <p>反射被覆面 ・内面 ・外面 映像調整 ・行わない ・行う</p> <p>・倍強度ガラス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料板ガラスによる種類の名称</th> <th>色調</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・フロート倍強度ガラス</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>・熱線吸収倍強度ガラス</td> <td>・ブルー ・グレー ・ブロンズ</td> </tr> </tbody> </table> <p>ガラスの留め材及び溝の大きさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>建具の種類</th> <th>ガラス留め材</th> <th>ガラス溝の大きさ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・アルミニウム製</td> <td>・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形</td> <td>※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示</td> </tr> <tr> <td>・鋼製及び鋼製軽量</td> <td>・シーリング材 ・</td> <td>※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・シーリング材 ・</td> <td>※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示</td> </tr> </tbody> </table>	セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレール	材質	※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛	・めっき鋼板	・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・めっき鋼板	・ステンレス鋼板	・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板	・パーチカル形		・50					品種	構成種類	性能	・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類	・網入磨き合わせガラス	・網入磨き,フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類	・型板ガラス	・型板強化ガラス	・III類	材料板ガラスによる種類	種類	性能	・フロートガラス	・フロート強化ガラス	・I類 ・III類	・型板ガラス	・熱線吸収強化ガラス		品種	性能	色調	・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	・熱線吸収網入磨き板ガラス			品種	断熱性	日射熱遅へし性	・断熱複層ガラス	・1種 ・2種	U1 U2	・日射熱遅へし複層ガラス	・3種	U-3-1 ・U-3-2		・4種	E4		・5種	E5	品種	日射熱遅へし性	耐久性	・熱線反射ガラス	・1種	A種	色調 (・ブルー ・グレー)	・2種	・A種 ・B種	・高性能熱線反射ガラス	・3種	B種	材料板ガラスによる種類の名称	色調	・フロート倍強度ガラス	-	・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ	建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)	・アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示	・鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示	・ステンレス製	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示
セクション材料による区分	耐風圧区分 (Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレール	材質																																																																																																					
※スチールタイプ	・125	※バランス式	・スタンダード形	※溶融亜鉛	・めっき鋼板																																																																																																					
・アルミニウムタイプ	・100	・チェーン式	・ローヘッド形	・めっき鋼板	・ステンレス鋼板																																																																																																					
・ファイバーグラスタイプ	・75	・電動式	・ハイリフト形	・ステンレス鋼板	・パーチカル形																																																																																																					
	・50																																																																																																									
品種	構成種類	性能																																																																																																								
・フロート合わせガラス	・フロート板合わせガラス	・I類																																																																																																								
・網入磨き合わせガラス	・網入磨き,フロート板合わせガラス	・II-1類 ・II-2類																																																																																																								
・型板ガラス	・型板強化ガラス	・III類																																																																																																								
材料板ガラスによる種類	種類	性能																																																																																																								
・フロートガラス	・フロート強化ガラス	・I類 ・III類																																																																																																								
・型板ガラス	・熱線吸収強化ガラス																																																																																																									
品種	性能	色調																																																																																																								
・熱線吸収フロート板ガラス	・1種 ・2種	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																																																								
・熱線吸収網入磨き板ガラス																																																																																																										
品種	断熱性	日射熱遅へし性																																																																																																								
・断熱複層ガラス	・1種 ・2種	U1 U2																																																																																																								
・日射熱遅へし複層ガラス	・3種	U-3-1 ・U-3-2																																																																																																								
	・4種	E4																																																																																																								
	・5種	E5																																																																																																								
品種	日射熱遅へし性	耐久性																																																																																																								
・熱線反射ガラス	・1種	A種																																																																																																								
色調 (・ブルー ・グレー)	・2種	・A種 ・B種																																																																																																								
・高性能熱線反射ガラス	・3種	B種																																																																																																								
材料板ガラスによる種類の名称	色調																																																																																																									
・フロート倍強度ガラス	-																																																																																																									
・熱線吸収倍強度ガラス	・ブルー ・グレー ・ブロンズ																																																																																																									
建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ (mm)																																																																																																								
・アルミニウム製	・シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形	※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示																																																																																																								
・鋼製及び鋼製軽量	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示																																																																																																								
・ステンレス製	・シーリング材 ・	※改修標準仕様書表5.13.11による ・図示																																																																																																								

18	ガラスブロック	[5.13.5]																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表面形状</th> <th>呼び寸法 (mm)</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>色調</th> <th>目地幅 (mm)</th> <th>伸縮調整</th> <th>防火性能</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">・正方形</td> <td>・125×125</td> <td>80</td> <td>カ77</td> <td>平積み</td> <td>目地 (mm)</td> <td rowspan="3">※6mm以下 幅10~25 ・図示</td> </tr> <tr> <td>・160×160</td> <td>・95</td> <td>・</td> <td>※8~15</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・200×200</td> <td>・95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>内側 ※6以上</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・長方形</td> <td>・250×125</td> <td>80</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td rowspan="2">※無し ・有り</td> </tr> <tr> <td>・320×160</td> <td>95</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>曲面積みの曲面半径は、ガラスブロックの幅寸法の10倍以上とする。 壁用金属枠及び補強材 ・設けない (形状 ※図示) 力骨 材質 ※ステンレス鋼 (SUS304) ・寸法 ※径5.5mm ・形状 ※はしご形状複筋及び単筋 () 化粧目地モルタルの色 () 金属製化粧カバー 材質 ・ステンレス製 ・アルミニウム製 寸法 ・図示 ・形状 ・図示</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地の力骨の補強方法 ※ガラスブロック製造所の仕様による ・図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>張り面</th> <th>性能値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ガラス飛散防止フィルム</td> <td>GS</td> <td>・内張り ・外張り</td> <td>飛散防止率D1</td> </tr> <tr> <td>・日射調整フィルム G</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>品質 JIS A 5759による</p>	表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整	防火性能	・正方形	・125×125	80	カ77	平積み	目地 (mm)	※6mm以下 幅10~25 ・図示	・160×160	・95	・	※8~15	・	・200×200	・95	・	・	内側 ※6以上	・長方形	・250×125	80	・	・	・	※無し ・有り	・320×160	95	・	・	・	名称	種類	張り面	性能値	・ガラス飛散防止フィルム	GS	・内張り ・外張り	飛散防止率D1	・日射調整フィルム G																																					
表面形状	呼び寸法 (mm)	厚さ (mm)	色調	目地幅 (mm)	伸縮調整	防火性能																																																																													
・正方形	・125×125	80	カ77	平積み	目地 (mm)	※6mm以下 幅10~25 ・図示																																																																													
	・160×160	・95	・	※8~15	・																																																																														
	・200×200	・95	・	・	内側 ※6以上																																																																														
・長方形	・250×125	80	・	・	・	※無し ・有り																																																																													
	・320×160	95	・	・	・																																																																														
名称	種類	張り面	性能値																																																																																
・ガラス飛散防止フィルム	GS	・内張り ・外張り	飛散防止率D1																																																																																
・日射調整フィルム G																																																																																			
19	ガラス用フィルム	[6.1.3]																																																																																	
	<p>名称</p> <p>種類</p> <p>張り面</p> <p>性能値</p> <p>・ガラス飛散防止フィルム GS</p> <p>・日射調整フィルム G</p> <p>品質 JIS A 5759による</p>																																																																																		
20	① 改修範囲	[6.1.3]																																																																																	
	<p>既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合天井,壁及び床の改修範囲 ※ 壁厚程度とし,既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合天井の改修範囲 ※ 壁面より両側 600mm 程度とし,既存仕上げに準じた仕上げを行う ○ 図示 天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※ 既存のまま ○ 図示</p>																																																																																		
21	② 既存床の撤去及び下地補修	[6.2.2]																																																																																	
	<p>ビニルシート等の除去 ※ 仕上げ材のみ (接着剤とも) ・下地モルタルとも (・ 図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは,4畳外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※ 改修箇所の室内</p>																																																																																		
22	③ 既存壁の撤去及び下地補修	[6.3.2]																																																																																	
	<p>間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の補修 ・行う ・行わない) ・図示</p>																																																																																		
23	④ 木下地等の表面仕上げ	[6.5.1]																																																																																	
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>表面仕上げの種類</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・A種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・B種</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・C種</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	表面仕上げの種類	適用箇所	・A種		・B種		・C種																																																																											
表面仕上げの種類	適用箇所																																																																																		
・A種																																																																																			
・B種																																																																																			
・C種																																																																																			
24	⑤ 製材 G	[6.5.2]																																																																																	
	<p>・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※2級</td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>等級</th> <th>形状</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>見え掛り面</td> <td></td> <td>※ 上小節</td> <td></td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>見え掛り面以外</td> <td></td> <td>※ 小節以上</td> <td></td> <td></td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>等級</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>※1等</td> <td>※10%以下</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「製材の日本農林規格」以外の製材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>造作材の材質</th> <th>防虫処理</th> <th>難燃処理</th> <th>含水率</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>()</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>※A種 ・B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>造作材の場合 (※A種 ・B種)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>・代用樹種を使用できない箇所 ()</p>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用				※2級		※A種 ・B種	・				※2級		※A種 ・B種	・				※2級		※A種 ・B種	・	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用	見え掛り面		※ 上小節			※A種 ・B種	・	見え掛り面以外		※ 小節以上			※A種 ・B種	・	等級	含水率	間伐材等の適用	※1等	※10%以下	・A種 ・B種	※1等	※10%以下	・A種 ・B種	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	造作材の材質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用				()	・	・	※A種 ・B種	・				造作材の場合 (※A種 ・B種)				
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																													
			※2級		※A種 ・B種	・																																																																													
			※2級		※A種 ・B種	・																																																																													
			※2級		※A種 ・B種	・																																																																													
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	等級	形状	含水率	間伐材等の適用																																																																													
見え掛り面		※ 上小節			※A種 ・B種	・																																																																													
見え掛り面以外		※ 小節以上			※A種 ・B種	・																																																																													
等級	含水率	間伐材等の適用																																																																																	
※1等	※10%以下	・A種 ・B種																																																																																	
※1等	※10%以下	・A種 ・B種																																																																																	
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	造作材の材質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用																																																																												
			()	・	・	※A種 ・B種	・																																																																												
			造作材の場合 (※A種 ・B種)																																																																																
25	⑥ 造作用集成材 G	[6.5.2]																																																																																	
	<p>ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外</p> <p>・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>建具枠</td> <td>ビーラー</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>コーナガード</td> <td>ビーラー</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td></td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施工箇所</th> <th>化粧薄板の樹種</th> <th>芯材の樹種</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>化粧薄板の厚さ (mm)</th> <th>見付け材面の品質</th> <th>間伐材等の適用</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>※1等 ・2等</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用	建具枠	ビーラー			・	コーナガード	ビーラー			・			※1等 ・2等		・	施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用						※1等 ・2等	・						※1等 ・2等	・						※1等 ・2等	・																																		
施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																															
建具枠	ビーラー			・																																																																															
コーナガード	ビーラー			・																																																																															
		※1等 ・2等		・																																																																															
施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	間伐材等の適用																																																																													
					※1等 ・2等	・																																																																													
					※1等 ・2等	・																																																																													
					※1等 ・2等	・																																																																													

7 造作用単板積層材 [6.5.2]

8 床張り用合板等 [6.5.2]

9 接着剤 [6.5.3, 4] [6.8.2] [6.9.3] [6.11.4, 5]

10 防蟻・防蟻処理 [6.5.5]

11 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2~4]

「集材材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	間伐材等の適用

「集材材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				※15%以下	

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

「集材材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成柱

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						※15%以下	

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の化粧加工	防虫処理の適用	間伐材等の適用
		・有り (加工・天然木加工・塗装加工) ・無し (等級:)		

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	厚さ (mm)	表面の品質	防虫処理の適用	含水率	間伐材等の適用
		・有り (加工・天然木加工・塗装加工) ・無し ()		※14%以下	

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

普通合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	表面の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理の適用	間伐材等の適用
床	※5.5 ・28 ・25	※1類 ・2類	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 針葉樹 ※C-D以上	・1等 ・2等	・ ・

構造用合板 [6.5.2]

施工箇所	厚さ (mm)	等級	表板の樹種名	接着の程度	板面の品質	有効断面係数比	防虫処理の適用	強度等級	間伐材等の適用
	※12	※2級以上 ・1級	※1類 ・特類	※C-D以上 ・				・指定する () ・指定しない	

パーティクルボード [6.5.3, 4]

施工箇所	厚さ (mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分
	※15		※13タイプ	※P又は	

構造用パネル

施工箇所	厚さ (mm)	等級
	※15	・1級 ・2級 ・3級 ・4級

接着剤は可塑剤 (難揮発性の可塑剤を除く) が添付されていないものとする。ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外

施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種類

適用部位	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4

薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※改修標準仕様書 6.5.5 (a) (iii) ②7~IIによる ※改修標準仕様書 6.5.5 (a) (iii) ②7~IIによる

ボード原料接着剤への薬剤混入による防蟻・防蟻処理

適用部位	防蟻

野縁等の種類

屋外 (※25形・19形) 屋内 (※19形・25形)

屋外の軒天井、ピロティ天井等

工法

建築基準法に基づき定まる風圧力の (・1・1.15・1.3) 倍の風圧力に対応した工法

野縁受、吊りボルト及びビーンサートの間隔

野縁部の端からの間隔

野縁の間隔

既存の埋込ビーンサート

あと施工アンカーの引抜き試験

吊りボルトの間隔が900mmを超える場合

天井のふところが1.5m以上3.0m以下の場合

12 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3] [表6.7.1]

13 ビニル床シート [6.8.2, 3]

14 ビニル床タイル [6.8.2]

15 ビニル幅木 [6.8.2]

16 ゴム床タイル [6.8.2]

17 カーベットの敷き [6.9.3, 4] [表6.9.1]

18 合成樹脂塗床 [6.10.2, 3]

天井のふところが3.0mを超える場合

補強方法 ※図示

天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 ※図示

補強方法 ※図示

スタッド、ランナーの種類

※改修標準仕様書 6.7.1 によるスタッドの高さによる区分に応じた種類

スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示

種類	JIS 記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ (mm)	備考
・発泡層のないもの	※FS (複層ビニルシート)		・無地 ・マーブル柄	・帯電防止 ・耐動荷重性	※2.0 ・2.5	既存床材に置く
・発泡層のあるもの			・無地 ・柄物	・防汚性 ・耐薬品性		

工法 ※熱溶接工法・突付け (施工箇所:)

特殊機能

帯電防止

帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満

又は帯電電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^9 \Omega$ 程度

JIS記号	施工箇所	色柄	寸法	特殊機能	厚さ (mm)	備考
・F T (複層ビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	※2.0 ・2.5 ・3.0	
・K T (コブゾノビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450	・帯電防止 ・防汚性	・2.0 ・3.0	
・F O A (置き敷きビニル床タイル)		・無地 ・柄物	・500×500	・帯電防止 ・防汚性	・	

特殊機能

帯電防止

帯電防止性能評価値 (JIS A 1455) 1.2以上~3.2未満

又は帯電電気抵抗値 (JIS A 1454) $1 \times 10^7 \sim 1 \times 10^9 \Omega$ 程度

防汚性

材質

軟質

硬質

高さ (mm) ※60

75

100

厚さ (mm) ※1.5以上

色柄 ()

厚さ (mm) ・3.0

・4.5

・6.0

・9.0

寸法 (mm) ()

・縦じゅうたん

種類	バイル形状	織り方	色柄等	帯電性	備考
・A種	・カットバイル	・ウルトンカーペット	・無地	・適用する	
・B種	・ループバイル	・ダブダブカーペット	・柄物 (標準品)	(性能: ※人体帯電電圧 3kV以下)	
・C種	・カット、ループ併用	・アタシタカーペット		・適用しない	

下敷き材 ※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・タフテッドカーペット

バイル形状	バイル長さ (mm)	工法	帯電性	備考
・カットバイル	・5~7	※全面接着工法	・適用する	
・ループバイル	・4~6	・ダブダブ工法	(性能: ※人体帯電電圧 3kV以下)	
・レールバイル	・4		・適用しない	
・カット、ループ併用				

下敷き材 (グリップー工法の場合)

※反毛フェルト (JIS L 3204) の第2種2号 呼び厚さ 8mm

・ニードルパンチカーペット

厚さ (mm) (4.0)

帯電性

・適用する (性能: ※人体帯電電圧 3kV 以下)

・適用しない

備考 ()

・タイルカーペット

バイル形状	種類	施工箇所	寸法	総厚さ (mm)	備考
※ループバイル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
・カットバイル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5	

タイルカーベットの敷き方

平場 ※市松敷き

・模様流し

階段部分 ※模様流し

・市松敷き

見切り、押え金物

・適用する (材質、形状等 ※図示)

・適用しない

厚膜型塗床材

種類	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ
・弾性樹脂系塗床材		・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法	・平滑仕上げ ・防汚仕上げ
・厚膜型塗床材		・樹脂砂工法	

薄膜型塗床材

エポキシ系平滑仕上げ

工

塗布量 (kg/m²)

表面仕上げ

平滑

防汚

溶剤

水性色

・溶剤系

・無溶剤系

仕上げ色

・標準色

塗料のホルムアルデヒドの等級 ※規制対象外

19 フローリング張り [6.11.2~7]

単層フローリング [6.11.2~7]

種類	工法	樹種	厚さ (mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材等の適用
・フローリングボード1等	・釘留め工法 (根太張り)	※なら	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法 (直張り)	※なら	・12以上	板幅75 板長さ300以上		・
	・接着工法	※なら	・12以上	板幅75 板長さ300以上		・
・フローリングブロック1等	・接着工法	※なら	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・
・モザイクパーケット1等	・接着工法	・	・	・	・塗装品 ・無塗装品	・

複合フローリング [6.11.2~7]

種類	工法	樹種	厚さ/大きさ (mm)	種別	防湿処理	塗装仕上げ	間伐材等の適用
・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 (根太張り)	※なら	12mm	A種 ・B種 ※C種	・適用する ・適用しない	・塗装品 ・無塗装品	・
	・釘留め工法 (直張り)	※なら	大建工業	フォレナチュラル同等品			・
	・接着工法	※なら	板厚 ・8以上 ・幅 ・75以上 板長さ 900以上				・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外

接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上げ

・行う (施工箇所)

※ウレタン樹脂ワニス塗り

・オイルステインの上、ワニス塗り

・生地のままワニス塗り

・行わない

20 畳敷き [6.12.2]

種別

A種

B種

C種

D種 (墨床)

KT-I

KT-II

KT-III

KT-K

KT-N

下地の種類

標準仕様書 表12.6.1による床組

・ポリスチレンフォーム床下地 (ノンフロム)

畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びビスチレンを発生しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

21 セッコウボード その他のボード張り [6.13.2, 3]

種類	JIS 記号	厚さ (mm)、規格等
・硬質毛セメント板	HW	・15 ・20 ・25
・中質毛セメント板	NW	・15 ・20 ・25
・普通毛セメント板	NF	・15 ・20 ・25
・硬質木片セメント板	HF	・12 ・15 ・18 ・21
・普通木片セメント板	NF	・30
・けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	タイプ 2 (無石綿) ・6 ・8
・ロックウール化粧吸音板	DR	・フラットタイプ (・9(不燃) ・12(不燃)) ・凹凸タイプ (・12(不燃) ・15(不燃) ・19(不燃))
・ロックウール吸音ボード1号	RW-B	・25
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	・25 (※5kg/㎡)
・セッコウボード	GB-R	・12.5(不燃) ・15(不燃) ・9.5(準不燃)
・不燃積層セッコウボード	GB-NC	・9.5 (不燃) ・化粧無 (下地張り用) ・化粧有 (トラバーチン模様)
・シージングセッコウボード	GB-S	12.5 (※不燃・準不燃)
・強化セッコウボード	GB-F	・12.5(不燃) ・15(不燃)
・セッコウラスボード	GB-L	9.5
・化粧セッコウボード (木目)	GB-D	12.5 (不燃) 幅 440mm 程度 模様 (・径目 ・板目) 専用下地材有り
・化粧セッコウボード (トランペット模様)	GB-D	9.5 (準不燃) ・9.5 (不燃)
・普通合板		表面の樹種 生地、透明塗料塗り (※ラワン程度) 不透明塗料塗り (※しな程度) 板面の品質 () 接着の程度 (・1類 ・2類) 厚さ (mm) () ・防虫処理
・天然木化粧合板		化粧板の樹種名 () 厚さ (mm) () 接着の程度 準1類 ・2類 ・防虫処理
・特殊加工化粧合板		化粧加工の方法 (・オーナ ・レイ ・アット ・塗装) 表面性能 () タイプ 厚さ (mm) () 接着の程度 (・1類 ・2類) ・防虫処理
・メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による (※1.2)
・メラミン樹脂化粧板		
・ミディアムデンシティファイバーボード	MDF	・3 ・7 ・9 ・12
・単板張り		・無研磨板 VN ・研磨板 VS
・パーティクルボード		・10 ・12 ・15 ・18
・化粧パーティクルボード		・単板パーティクルボード DV ・パーティクルボード DO
・パーティクルボード		・塗装 DC ・10 (難燃) ・12 (難燃)
・ハードボード (素地)	HB	・未研磨板 (・スラ ・グ ・ド) RN ・研磨板 (・スラ ・グ ・ド) RS
・ハードボード (化粧)		・内装用 DI ・外装用 DE ・2.5 ・3.5 ・5 ・7
・インシュレーションボード	IB	A級 (・天井仕上げ ・内装仕上げ) ・9 ・12 ・15 ・18

22 壁紙張り [6.14.2, 3]

23 モルタル塗り [6.15.3, 6]

24 タイル張り [6.16.2~4]

25 セルフレベリング材塗り [6.17.2, 3]

せっこうボード等の下地は図示による。

遮音シール材

・適用する (・シーリング材
・ジョイントコンパウンド)

・適用しない

合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

合板類の張付け

※B種

・仕上げによる

・廊下天井部分は目地処理工法

ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外

施工箇所	壁紙の種類					防火種別	備考
	紙	繊維	フラスナリ	無機質	その他		
倉庫・児童室	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃	
	・	・	・	・	・	※不燃・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整 ※RB種

コンクリート・ALC面の下地調整 ※RB種

せっこうボード面の下地調整 ※RB種

吸水調整材は、改修工事標準仕様書表4.2.2による。

既製目地材

・設ける 施工箇所 () 形状 (※図示)

・設けない

床目地

・設ける (工法※押し目地)

・設けない

・防水剤 (品質・性能)

工事建築材料等品質性能表による (試験方法)

工事建築材料等品質性能表による

伸縮調整目地の位置

床タイル (※縦、横とも4m以内ごと)

・図示

床タイル以外 (・図示)

・セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり	役物	色	再生材料の適用	耐薬害性	耐汚性	備考
		I類	II類							
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り

・行う

・行わない

見本焼き

・行う

・行わない

既製調合モルタル

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

(品質・性能)

工事建築材料等品質性能表による (試験方法)

工事建築材料等品質性能表による

既製調合目地材

(品質・性能)

建築材料等品質性能表による (試験方法)

建築材料等品質性能表による

接着剤による陶磁器質タイル張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分		うわぐすり	役物	色	再生材料の適用	耐薬害性	耐汚性	備考
		I類	II類							
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り

・行う

・行わない

見本焼き

・行う

・行わない

内装壁タイル接着剤張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量

※規制対象外

種類	せっこう系	セメント系

中央児童相談所一時保護所個室化等改修工事 工事設計図

改修特記仕様書 (その3) 平成30年版 2018.2 暫定

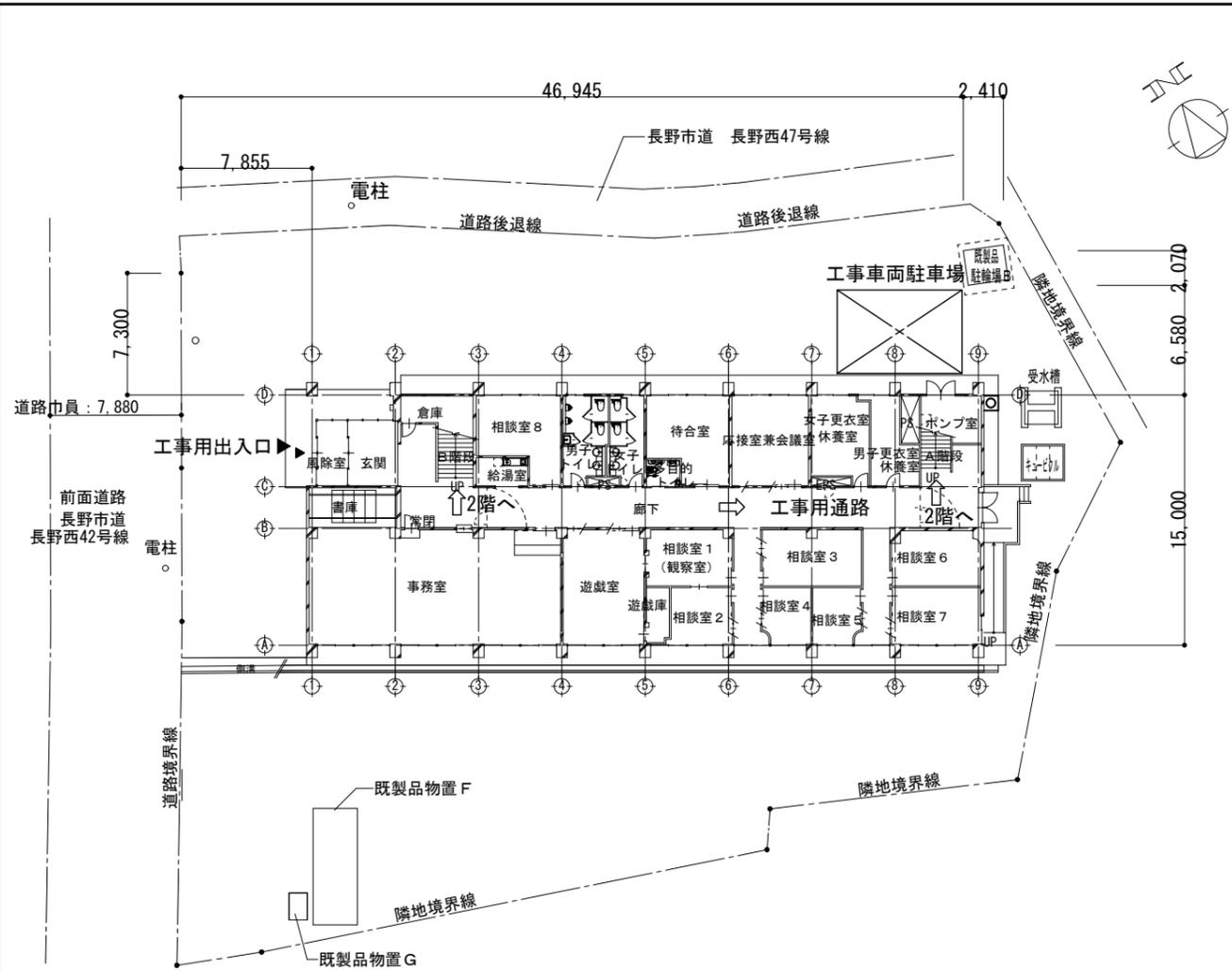
A-03

7	塗装改修工事	1 材料	<p>屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 防火材料 ※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。 ・ 次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)</p>	[7.1.3]																																																																																											
		2 下地調整	<p>塗替えR B種の場合の既存塗膜の除去範囲 ※塗替え面積の30% ・ 図示</p> <p>下地調整</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">下地の種類</th> <th colspan="2">下地調整の種類</th> <th rowspan="2">ひび割れ部の補修</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木部</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>鉄鋼面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき面(鋼製建具)</td> <td>※R B種</td> <td>・ R C種</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>モルタル、プラスチック面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP以外)、A L Cパネル面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・ R A種</td> <td>・ 行う ・ 行わない</td> </tr> <tr> <td>せっこうボード面及びその他ボード面</td> <td>※R B種</td> <td>・ R A種 ・ R B種</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table>	下地の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修	塗替え	新規	木部	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・	鉄鋼面	※R B種	・ R A種	・	垂れめっき面	※R B種	・ R A種	・	垂れめっき面(鋼製建具)	※R B種	・ R C種	・	モルタル、プラスチック面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面(DP以外)、A L Cパネル面	※R B種	・ R A種	・ 行う ・ 行わない	コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面	・	・ R A種	・ 行う ・ 行わない	せっこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・	[7.2.1~7]																																																					
下地の種類	下地調整の種類		ひび割れ部の補修																																																																																												
	塗替え	新規																																																																																													
木部	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・																																																																																												
鉄鋼面	※R B種	・ R A種	・																																																																																												
垂れめっき面	※R B種	・ R A種	・																																																																																												
垂れめっき面(鋼製建具)	※R B種	・ R C種	・																																																																																												
モルタル、プラスチック面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・ 行う ・ 行わない																																																																																												
コンクリート面(DP以外)、A L Cパネル面	※R B種	・ R A種	・ 行う ・ 行わない																																																																																												
コンクリート面(DP)、押出成形セメント板面	・	・ R A種	・ 行う ・ 行わない																																																																																												
せっこうボード面及びその他ボード面	※R B種	・ R A種 ・ R B種	・																																																																																												
3 錆止め塗料塗り	<p>錆止め塗料塗りの種類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>塗装面</th> <th>塗料</th> <th>工程</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">鉄鋼面</td> <td>EP-G以外 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ</td> <td>A種 A種 A種</td> <td>※C種 ・ ・</td> </tr> <tr> <td>E P-G 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ</td> <td>B種 B種 B種</td> <td>※C種 ・ ・</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">垂れめっき面</td> <td>EP-G以外 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>※A種 A種</td> <td>・ ・</td> </tr> <tr> <td>EP-G 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り</td> <td>C種 C種</td> <td>・ ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>※塗装が耐候性塗料塗り(DP)の場合、表7.8.10の仕様による。</p>	塗装面	塗料	工程	鉄鋼面	EP-G以外 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	A種 A種 A種	※C種 ・ ・	E P-G 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	B種 B種 B種	※C種 ・ ・	垂れめっき面	EP-G以外 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	※A種 A種	・ ・	EP-G 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	C種 C種	・ ・	[7.3.2, 3]																																																																												
塗装面	塗料	工程																																																																																													
鉄鋼面	EP-G以外 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	A種 A種 A種	※C種 ・ ・																																																																																												
	E P-G 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り 新規見え隠れ	B種 B種 B種	※C種 ・ ・																																																																																												
垂れめっき面	EP-G以外 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	※A種 A種	・ ・																																																																																												
	EP-G 塗替え 新規鉄鋼面見え掛り	C種 C種	・ ・																																																																																												
4 塗装	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種 ・ 2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき面(鋼製建具以外)</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td>・アクリラック塗り(DL)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級 () 級</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td>垂れめっき面 上塗り等級 () 級</td> <td>・</td> <td>・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>・</td> <td>・ A-2種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>・ ※A種</td> </tr> <tr> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の垂れめっき面</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ラッカーエナメル塗り(LE)</td> <td></td> <td>※B種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・オイルステイン塗り(OS)</td> <td></td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td></td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>・ ※B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスチック面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書表7.9.10の工程1の下塗りとしき止めシーラーとする 合成樹脂エマルジョンペイント塗りの塗替えの場合のしき止め ※改修標準仕様書表7.10.10の工程1の下塗りとしき止めシーラーとする</p> <p>・高反射率塗料塗り 下地調整(改修標準仕様書表7.2.2) ・ R A種 ・ R B種 ・ R C種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工程</th> <th colspan="3">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付量(kg/m)</th> </tr> <tr> <th>規格番号</th> <th>規格名称</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JISK5675</td> <td>屋根用高反射率塗料</td> <td>2種</td> <td>・ 1級 ・ 2級 ・ 3級</td> </tr> </tbody> </table>	塗装の種類	塗装面	工程		塗替え	新規	・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	・ ※A種	木部屋内	※B種	・ ※B種	塗料の種類 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種	垂れめっき面(鋼製建具以外)	※B種	・ ※B種	・アクリラック塗り(DL)		※B種	・ ※B種 ・ A種	・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		—	—	・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・ A種	・ ※B種 ・ A種	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級 () 級	・	・ A種	垂れめっき面 上塗り等級 () 級	・	・ A種	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-2種	コンクリート面等	※B種	・ ※B種 ・ A種	・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	・ ※A種	屋内の鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種	・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の垂れめっき面	※B種	・ ※B種 ・ A種	コンクリート面等	※B種	・ ※B種	・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・ ※B種 ・ A種	・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・ A種	・ ※B種 ・ A種	・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種	・ ※B種 ・ A種	・オイルステイン塗り(OS)		—	—	・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・ A種	・ ※B種 ・ A種	工程	塗料その他			塗付量(kg/m)	規格番号	規格名称	種類	塗料塗り	JISK5675	屋根用高反射率塗料	2種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級	
塗装の種類	塗装面			工程																																																																																											
		塗替え	新規																																																																																												
・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	・ ※A種																																																																																												
	木部屋内	※B種	・ ※B種																																																																																												
塗料の種類 ※1種 ・ 2種	鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
	垂れめっき面(鋼製建具以外)	※B種	・ ※B種																																																																																												
・アクリラック塗り(DL)		※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
・フタル酸樹脂エナメル塗り(FE)		—	—																																																																																												
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)		※B種 ・ A種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級 () 級	・	・ A種																																																																																												
	垂れめっき面 上塗り等級 () 級	・	・ A種																																																																																												
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・ A-2種																																																																																												
	コンクリート面等	※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
・つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP-G)	屋内の木部	※B種	・ ※A種																																																																																												
	屋内の鉄鋼面	※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
・合成樹脂エマルジョンペイント塗り(EP)	屋内の垂れめっき面	※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
	コンクリート面等	※B種	・ ※B種																																																																																												
・合成樹脂エマルジョン模様塗料塗り(EP-T)		※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※B種 ・ A種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※B種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
・オイルステイン塗り(OS)		—	—																																																																																												
・木材保護塗料塗り(WP)		※B種 ・ A種	・ ※B種 ・ A種																																																																																												
工程	塗料その他			塗付量(kg/m)																																																																																											
	規格番号	規格名称	種類																																																																																												
塗料塗り	JISK5675	屋根用高反射率塗料	2種	・ 1級 ・ 2級 ・ 3級																																																																																											

9	環境配慮改修工事	1 アスベスト含有分析調査	<p>調査範囲() 貸与資料()</p> <p>・分析によるアスベスト含有建材の調査 分析対象 アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トリモライト</p> <p>分析方法 ※JIS A 1481-2「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第2部: 試料採取及びアスベスト含有の有無を判定するための定性分析方法」又はJIS A 1481-3「建材製品中のアスベスト含有率測定方法-第3部: アスベスト含有率の繰回折定量化方法」による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料名</th> <th>定性分析</th> <th>定量分析</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>化粧石膏ボード</td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 箇所数()</td> <td>・ 箇所数()</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示</p>	材料名	定性分析	定量分析	化粧石膏ボード	・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()		・ 箇所数()	・ 箇所数()	[9.1.1, 3~5]																																							
		材料名	定性分析	定量分析																																																						
化粧石膏ボード	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																								
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																								
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																								
	・ 箇所数()	・ 箇所数()																																																								
2 アスベスト粉じん濃度測定	<p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定点(各処理作業室ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定2</td> <td></td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・ 4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>測定3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定4</td> <td></td> <td>仕上り作業入口</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定5</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定6</td> <td></td> <td>集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定7</td> <td>処理作業後</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・ 4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>測定8</td> <td>処理作業後(隔離シート撤去前)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・ () 点</td> </tr> <tr> <td>測定9</td> <td>処理作業後(シート撤去後)</td> <td>施工区画周辺又は敷地境界</td> <td>・ 4方向各1点</td> </tr> <tr> <td>測定10</td> <td>撤去後1週間以降</td> <td>調査作業室外部の付近</td> <td>・ () 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法 測定5のみ ※$n=7$の検定、粉じん相対湿度計(デジタル粉じん計)、繊維状粒子自動計測器(77材料77Aモニター)等、排気の粉じん濃度を迅速に計測できる機器にて測定</p> <p>測定5以外は下表による</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定3</th> <th>測定1,2,4,6,7,8</th> <th>測定9,10</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>メンブレンフィルタ直径(mm)</td> <td>25</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引流量(L/min)</td> <td>・ 1</td> <td>・ 5</td> </tr> <tr> <td>試料の吸引時間(min)</td> <td>・ 5</td> <td>・ 120</td> </tr> </tbody> </table>	測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各処理作業室ごと)	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ () 点	測定2		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	測定3	処理作業中	処理作業室内	・ () 点	測定4		仕上り作業入口	・ () 点	測定5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・ () 点	測定6		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・ () 点	測定7	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	測定8	処理作業後(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	・ () 点	測定9	処理作業後(シート撤去後)	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点	測定10	撤去後1週間以降	調査作業室外部の付近	・ () 点	測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定9,10	メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25	試料の吸引流量(L/min)	・ 1	・ 5	試料の吸引時間(min)	・ 5	・ 120	[9.2.1~3]
測定名称	測定時期	測定場所	測定点(各処理作業室ごと)																																																							
測定1	処理作業前	処理作業室内	・ () 点																																																							
測定2		施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点																																																							
測定3	処理作業中	処理作業室内	・ () 点																																																							
測定4		仕上り作業入口	・ () 点																																																							
測定5		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・ () 点																																																							
測定6		集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合)	・ () 点																																																							
測定7	処理作業後	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点																																																							
測定8	処理作業後(隔離シート撤去前)	施工区画周辺又は敷地境界	・ () 点																																																							
測定9	処理作業後(シート撤去後)	施工区画周辺又は敷地境界	・ 4方向各1点																																																							
測定10	撤去後1週間以降	調査作業室外部の付近	・ () 点																																																							
測定3	測定1,2,4,6,7,8	測定9,10																																																								
メンブレンフィルタ直径(mm)	25	25																																																								
試料の吸引流量(L/min)	・ 1	・ 5																																																								
試料の吸引時間(min)	・ 5	・ 120																																																								
3 アスベスト含有建材の処理	<p>・アスベスト含有吹付け材の除去 除去対象範囲 ・ 図示 除去方法 ※9.1.3(b) (i)による 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化 除去したアスベスト含有吹付け材等の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p> <p>・アスベスト含有保温材の除去 除去方法 ※9.1.4(c)による(原形のまま、手ばらしが可能な場合) 除去対象範囲 ・ 図示 ・ 9.1.3(b)による(損傷、劣化等で石綿粉塵を発生させるおそれがある場合) 除去対象範囲 ・ 図示 除去したアスベスト含有吹付け材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※セメント固化 除去したアスベスト含有保温材の処分 ・ 埋立処分(管理型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p> <p>・アスベスト含有成型板の除去 除去対象範囲 ・ 図示 除去したアスベスト含有成型板の処分 ・ アスベスト含有せっこうボード ※埋立処分(管理型最終処分場) ・ アスベスト含有せっこうボードを除くアスベスト含有成型板 ・ 埋立処分(安定型最終処分場) ・ 中間処理(溶融施設)</p>	[9.2.1~3]																																																								
4 リフラクトリーセラミックファイバーの処理	<p>除去処理対象物 除去対象範囲 ・ 図示 除去方法 ・ 図示 処分 ・ 埋立処分(安定型最終処分場)</p>	[9.3.2~4]																																																								
5 断熱アスファルト防水改修工事	改修特記仕様書3章による	[9.2.1~3]																																																								
6 外断熱改修工事	<p>断熱材 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm) 施工箇所 ・ 図示 ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類	防火性能	備考	・			[9.3.2~4]																																																		
種類	防火性能	備考																																																								
・																																																										

7	ガラス改修工事	既存外壁の措置 既存外壁仕上げ材の撤去 ・ あり ・ なし 下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない 欠損部の改修工法 ・ 改修標準仕様書4.1.4による																																	
		<p>工法 透気層の有無 ・ あり (mm) ・ なし 断熱材の施工 ※断熱材製造所の仕様による 外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法</p> <p>7 ガラス改修工事 [9.4.2]</p> <p>複層ガラス [9.4.2]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>品類</th> <th>断熱性</th> <th>日射熱遮へい性</th> <th>厚さ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 断熱複層ガラス</td> <td>・ 1種 U1</td> <td>・ 図示</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 2種 U2</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 3種 U-3-1 ・ U-3-2</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)</td> <td>・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示</p> <p>断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 図示</p> <p>現場発泡断熱材(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による(試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>断熱材後張り工法 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm)</p>	品類	断熱性	日射熱遮へい性	厚さ	・ 断熱複層ガラス	・ 1種 U1	・ 図示	・		・ 2種 U2	・	・		・ 3種 U-3-1 ・ U-3-2	・	・	種類	厚さ(mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	・	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・ フェノールフォーム断熱材	・	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 25	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・	・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・	・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)
品類	断熱性	日射熱遮へい性	厚さ																																
・ 断熱複層ガラス	・ 1種 U1	・ 図示	・																																
	・ 2種 U2	・	・																																
	・ 3種 U-3-1 ・ U-3-2	・	・																																
種類	厚さ(mm)																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	・																																		
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・																																		
・ フェノールフォーム断熱材	・																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 25																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・																																		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・																																		
・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)	・																																		
8 断熱・防露改修工事	<p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外</p> <p>断熱材打込み工法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム断熱材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材</td> <td>・ 25</td> </tr> <tr> <td>・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)</td> <td>・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・</td> </tr> <tr> <td>・ 硬質ウレタンフォーム保温材</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>施工箇所 ・ 図示</p> <p>断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・ B種1 厚さ(mm) ・ 25 ・ 30 施工箇所 ・ 図示</p> <p>現場発泡断熱材(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による(試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>断熱材後張り工法 断熱材の種類 断熱材の厚さ(mm)</p>	種類	厚さ(mm)	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・	・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	・	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・	・ フェノールフォーム断熱材	・	・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 25	・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・	・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・	・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)	・	[9.5.2~4]															
種類	厚さ(mm)																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材	・																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材(スキン層なし)	・																																		
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材	・																																		
・ フェノールフォーム断熱材	・																																		
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材	・ 25																																		
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキンなし)	・ 保温板(2種b) ・ 25 ・ 保温板(3種b) ・																																		
・ 硬質ウレタンフォーム保温材	・																																		
・ フェノールフォーム保温材(3種2号を除く)	・																																		
9 屋上緑化改修工事	<p>植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・ 適用する ・ 適用しない 芝及び地被類の樹種並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※図示</p> <p>(品質・性能) 工事建築材料等品質性能表による(試験方法) 工事建築材料等品質性能表による</p> <p>工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・ 1.15 ・ 1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・ 設置する(種類) 既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラング ・ クラッシュラング ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理(添加材料による安定処理) 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号・1号) ・ 消石灰(・特号・1号) ・ 固化材(・セメント系 ・ 石灰系) 添加量 ・ kg/m³(目標CBR ・ 3以上)</p> <p>路床置換処理 置換厚さ ※ 図示 置換材料の種類、品質 ※ 図示</p> <p>不織布(ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・ 1.5$\times 10^{-3}$cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒状試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 安定処理土のCBR試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 路床締め度の試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 六面クロム溶出試験 ・ 行う(現場説明書による) ・ 行わない</p>	種類	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 ・	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラング ・ クラッシュラング ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・	・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・	[9.6.2, 3]																					
種類	材料	厚さ(mm)																																	
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 ・																																	
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラング ・ クラッシュラング ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・																																	
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・																																	
10 透水性舗装改修工事	<p>既存舗装の撤去及び再利用 ※図示</p> <p>路床</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 再生クラッシュラング ・ クラッシュラング ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)</td> <td>・ 図示 ・</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理(添加材料による安定処理) 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ 高炉セメントB種 ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰(・特号・1号) ・ 消石灰(・特号・1号) ・ 固化材(・セメント系 ・ 石灰系) 添加量 ・ kg/m³(目標CBR ・ 3以上)</p> <p>路床置換処理 置換厚さ ※ 図示 置換材料の種類、品質 ※ 図示</p> <p>不織布(ジオテキスタイル) 単位面積質量 ・ 60g/m²以上 厚さ(mm) ・ 0.5~1.0 引張強さ ・ 98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・ 1.5$\times 10^{-3}$cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒状試験 ・ 行う ・ 行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 現場CBR試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 安定処理土のCBR試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 路床締め度の試験 ・ 行う(箇所) ・ 行わない 六面クロム溶出試験 ・ 行う(現場説明書による) ・ 行わない</p>	種類	材料	厚さ(mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 ・	・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラング ・ クラッシュラング ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・	・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・	[9.7.2~9]																					
種類	材料	厚さ(mm)																																	
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土	・ 図示 ・																																	
・ 凍上抑制層	・ 再生クラッシュラング ・ クラッシュラング ・ 切込み砂利 ・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・																																	
・ フィルター層	・ 川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)	・ 図示 ・																																	

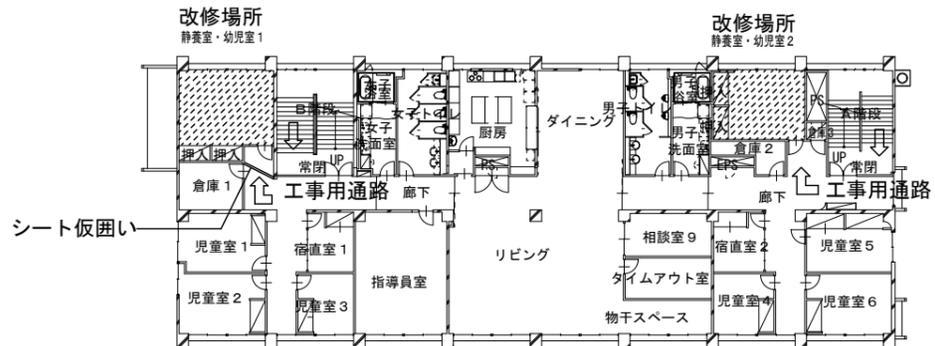
11	PCB含有シーリング材処分	路盤 路盤の構成及び厚さ ※ 図示 路盤材料																																																																																																									
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">種類</th> <th colspan="2">厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・ クラッシュラング ・ 粒状調整砕石</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・ クラッシュラング ・ 粒状調整砕石</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ クラッシュラング鉄鋼スラグ ・ 粒状調整鉄鋼スラグ</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ クラッシュラング鉄鋼スラグ ・ 粒状調整鉄鋼スラグ</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 水硬性粒状調整鉄鋼スラグ</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table> <p>透水性舗装の構成及び厚さ ※ 図示</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>種類</th> <th>部位</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">表層</td> <td>・ 改質アスファルトI型</td> <td>・ 車路、駐車場</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性用開粒度アスファルト</td> <td>・ 歩行者用通路</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">敷砂層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 車路、駐車場</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 歩行者用通路</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>フィルター層</td> <td>川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量6%以下)</td> <td></td> <td>100</td> </tr> </tbody> </table> <p>アスファルト乳剤(プライムコート)の施工は行わない。</p> <p>配合 透水性アスファルト舗装 ・ ポラスアスファルト混合物(13) ・ 開粒度アスファルト混合物(13) 配合 [表9.7.6]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">ふるいの呼び名</th> <th colspan="2">ふるい通過質量百分率(%)</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>19.0mm</td> <td>100</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>13.2mm</td> <td>90 ~ 100</td> <td>95 ~ 100</td> </tr> <tr> <td>4.75mm</td> <td>11 ~ 35</td> <td>20 ~ 36</td> </tr> <tr> <td>2.36mm</td> <td>10 ~ 20</td> <td>12 ~ 25</td> </tr> <tr> <td>300μm</td> <td>—</td> <td>5 ~ 13</td> </tr> <tr> <td>75μm</td> <td>3 ~ 7</td> <td>3 ~ 6</td> </tr> <tr> <td>アスファルト量(%)</td> <td>4 ~ 6</td> <td>3.5 ~ 5.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>基準値 [表9.7.7]</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">基準値</th> </tr> <tr> <th>車路、駐車場</th> <th>歩行者用通路</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>最大粒径(mm)</td> <td>13</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>安定度(kN)</td> <td>3.43以上</td> <td>3.0以上</td> </tr> <tr> <td>フロー値(1/100cm)</td> <td>—</td> <td>20~40</td> </tr> <tr> <td>空隙率(%)</td> <td>20程度</td> <td>12以上</td> </tr> <tr> <td>動的安定度(回/mm)</td> <td>3,000以上</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>透水係数(cm/s)</td> <td>1$\times 10^{-3}$以上</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>試験 開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>不織布(ジオテキスタイル) 敷設位置 ※フィルター層と路床の間に敷設 ・ 図示</p> <p>舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>採取する部位・箇所数</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ PCB含有シーリング</td> <td>部位 ・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PCB含有シーリング</td> <td>箇所数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PCB含有シーリング</td> <td>部位 ・ 図示</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ PCB含有シーリング</td> <td>箇所数</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>詳細は現場説明書による</p>	種類	厚さ(mm)		車路、駐車場	歩行者用通路	砕石	・ クラッシュラング ・ 粒状調整砕石	50	再生材	・ クラッシュラング ・ 粒状調整砕石	30		・ クラッシュラング鉄鋼スラグ ・ 粒状調整鉄鋼スラグ	70		・ クラッシュラング鉄鋼スラグ ・ 粒状調整鉄鋼スラグ	80		・ 水硬性粒状調整鉄鋼スラグ	60	区分	種類	部位	厚さ(mm)	表層	・ 改質アスファルトI型	・ 車路、駐車場	50	・ 透水性用開粒度アスファルト	・ 歩行者用通路	30	敷砂層	・ 砂	・ 車路、駐車場	20		・ 歩行者用通路	30	フィルター層	川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)		100	ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率(%)		車路、駐車場	歩行者用通路	19.0mm	100	100	13.2mm	90 ~ 100	95 ~ 100	4.75mm	11 ~ 35	20 ~ 36	2.36mm	10 ~ 20	12 ~ 25	300 μ m	—	5 ~ 13	75 μ m	3 ~ 7	3 ~ 6	アスファルト量(%)	4 ~ 6	3.5 ~ 5.5	項目	基準値		車路、駐車場	歩行者用通路	最大粒径(mm)	13	13	安定度(kN)	3.43以上	3.0以上	フロー値(1/100cm)	—	20~40	空隙率(%)	20程度	12以上	動的安定度(回/mm)	3,000以上	—	透水係数(cm/s)	1 $\times 10^{-3}$ 以上	—	種類	採取する部位・箇所数	備考	・ PCB含有シーリング	部位 ・ 図示		・ PCB含有シーリング	箇所数		・ PCB含有シーリング	部位 ・ 図示		・ PCB含有シーリング	箇所数
種類	厚さ(mm)																																																																																																										
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																									
砕石	・ クラッシュラング ・ 粒状調整砕石	50																																																																																																									
再生材	・ クラッシュラング ・ 粒状調整砕石	30																																																																																																									
	・ クラッシュラング鉄鋼スラグ ・ 粒状調整鉄鋼スラグ	70																																																																																																									
	・ クラッシュラング鉄鋼スラグ ・ 粒状調整鉄鋼スラグ	80																																																																																																									
	・ 水硬性粒状調整鉄鋼スラグ	60																																																																																																									
区分	種類	部位	厚さ(mm)																																																																																																								
表層	・ 改質アスファルトI型	・ 車路、駐車場	50																																																																																																								
	・ 透水性用開粒度アスファルト	・ 歩行者用通路	30																																																																																																								
敷砂層	・ 砂	・ 車路、駐車場	20																																																																																																								
		・ 歩行者用通路	30																																																																																																								
フィルター層	川砂、海砂又は良質な山砂(75 μ mふるい通過量6%以下)		100																																																																																																								
ふるいの呼び名	ふるい通過質量百分率(%)																																																																																																										
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																									
19.0mm	100	100																																																																																																									
13.2mm	90 ~ 100	95 ~ 100																																																																																																									
4.75mm	11 ~ 35	20 ~ 36																																																																																																									
2.36mm	10 ~ 20	12 ~ 25																																																																																																									
300 μ m	—	5 ~ 13																																																																																																									
75 μ m	3 ~ 7	3 ~ 6																																																																																																									
アスファルト量(%)	4 ~ 6	3.5 ~ 5.5																																																																																																									
項目	基準値																																																																																																										
	車路、駐車場	歩行者用通路																																																																																																									
最大粒径(mm)	13	13																																																																																																									
安定度(kN)	3.43以上	3.0以上																																																																																																									
フロー値(1/100cm)	—	20~40																																																																																																									
空隙率(%)	20程度	12以上																																																																																																									
動的安定度(回/mm)	3,000以上	—																																																																																																									
透水係数(cm/s)	1 $\times 10^{-3}$ 以上	—																																																																																																									
種類	採取する部位・箇所数	備考																																																																																																									
・ PCB含有シーリング	部位 ・ 図示																																																																																																										
・ PCB含有シーリング	箇所数																																																																																																										
・ PCB含有シーリング	部位 ・ 図示																																																																																																										
・ PCB含有シーリング	箇所数																																																																																																										



配置図兼1階平面図 1:400

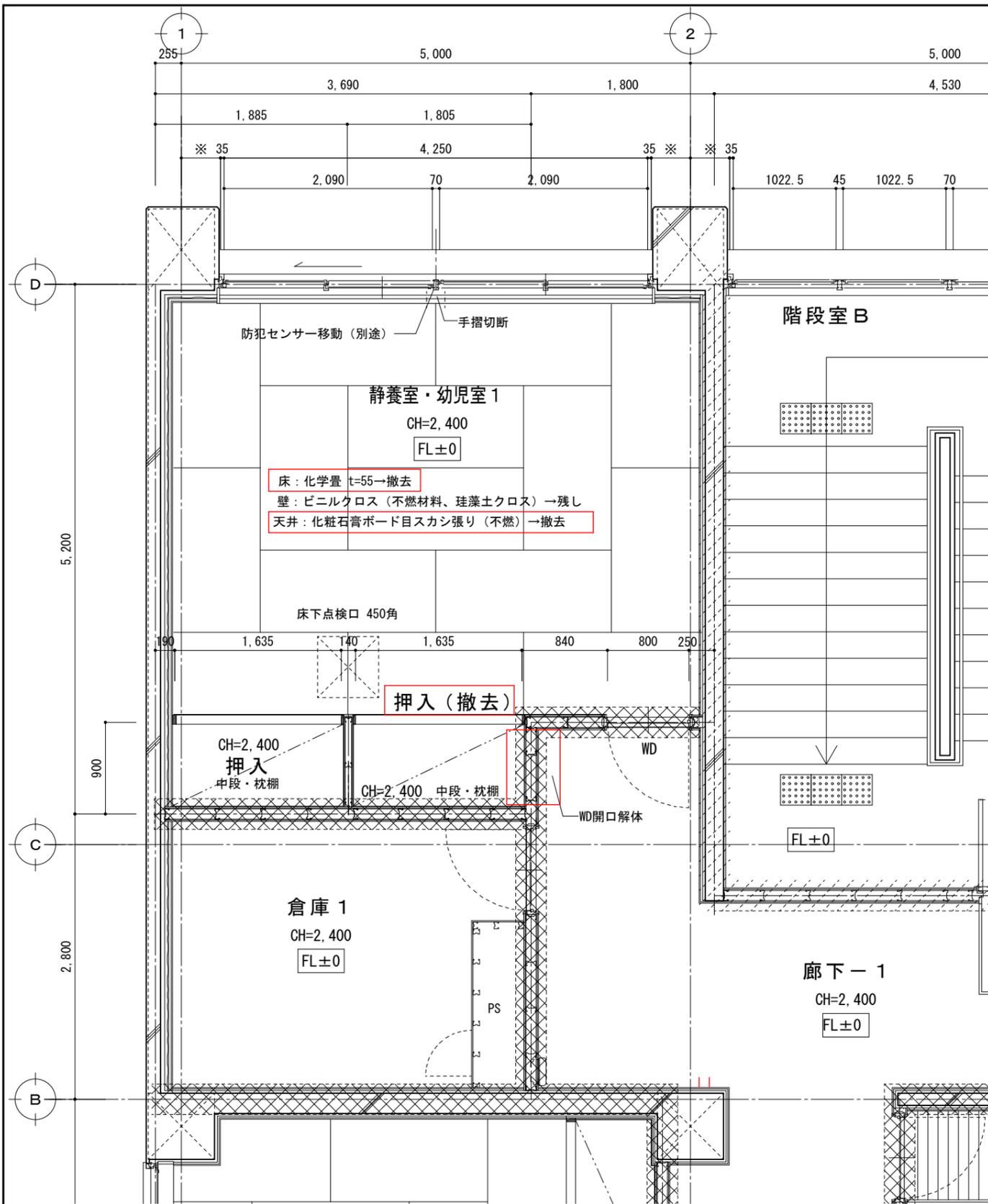


案内図

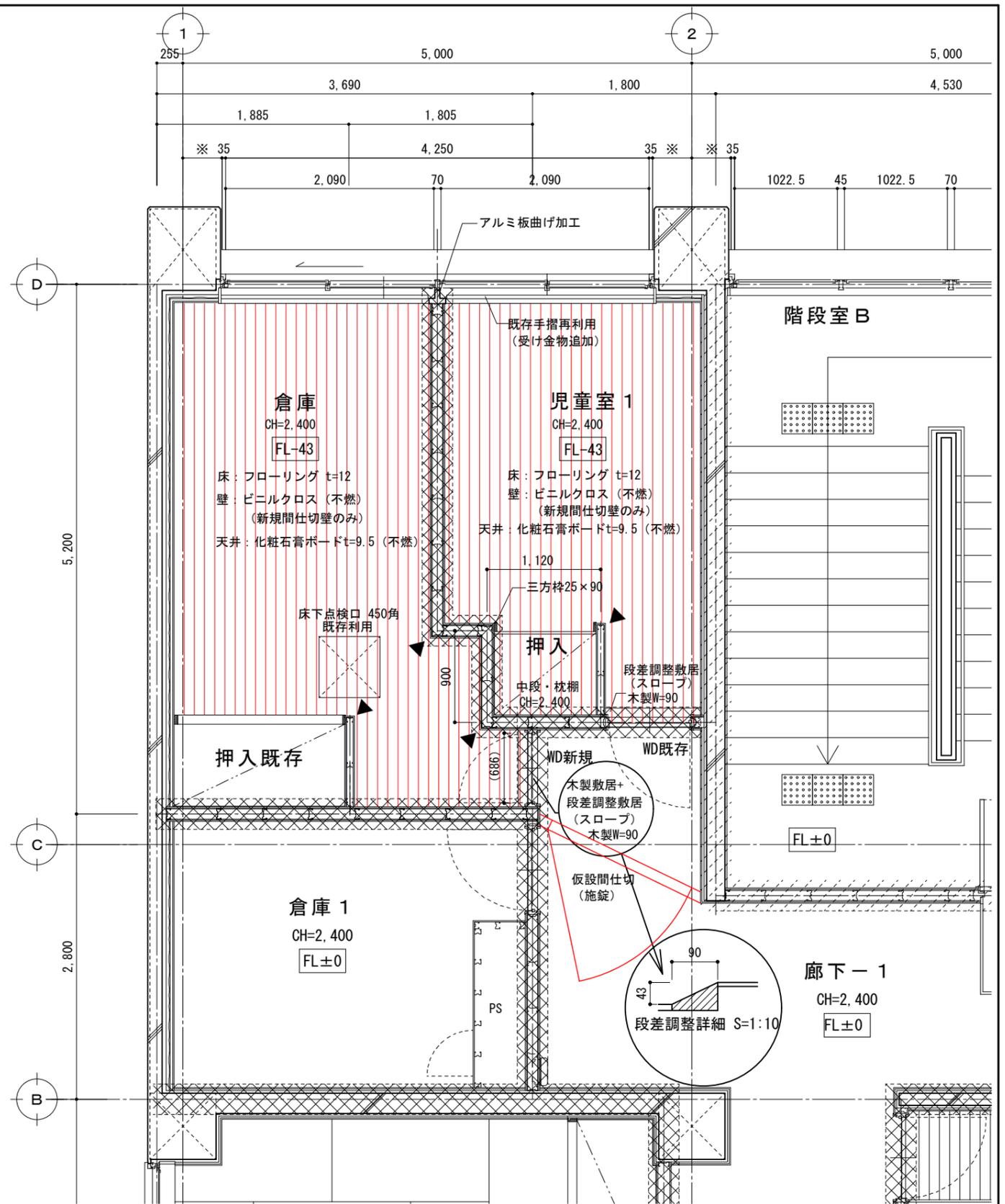


2階平面図 (現況) 1:400

- ※注意
1. 上履きエリアは土足厳禁とする
 2. 工事動線・騒音・振動等に配慮し、入所者に対する影響を最小限にする事
 3. 工事時間・作業動線について施設担当者と協議すること
 4. 土曜・日曜は作業不可とする
 5. 工事用水は、1階トイレ及び外水道を使用可とする

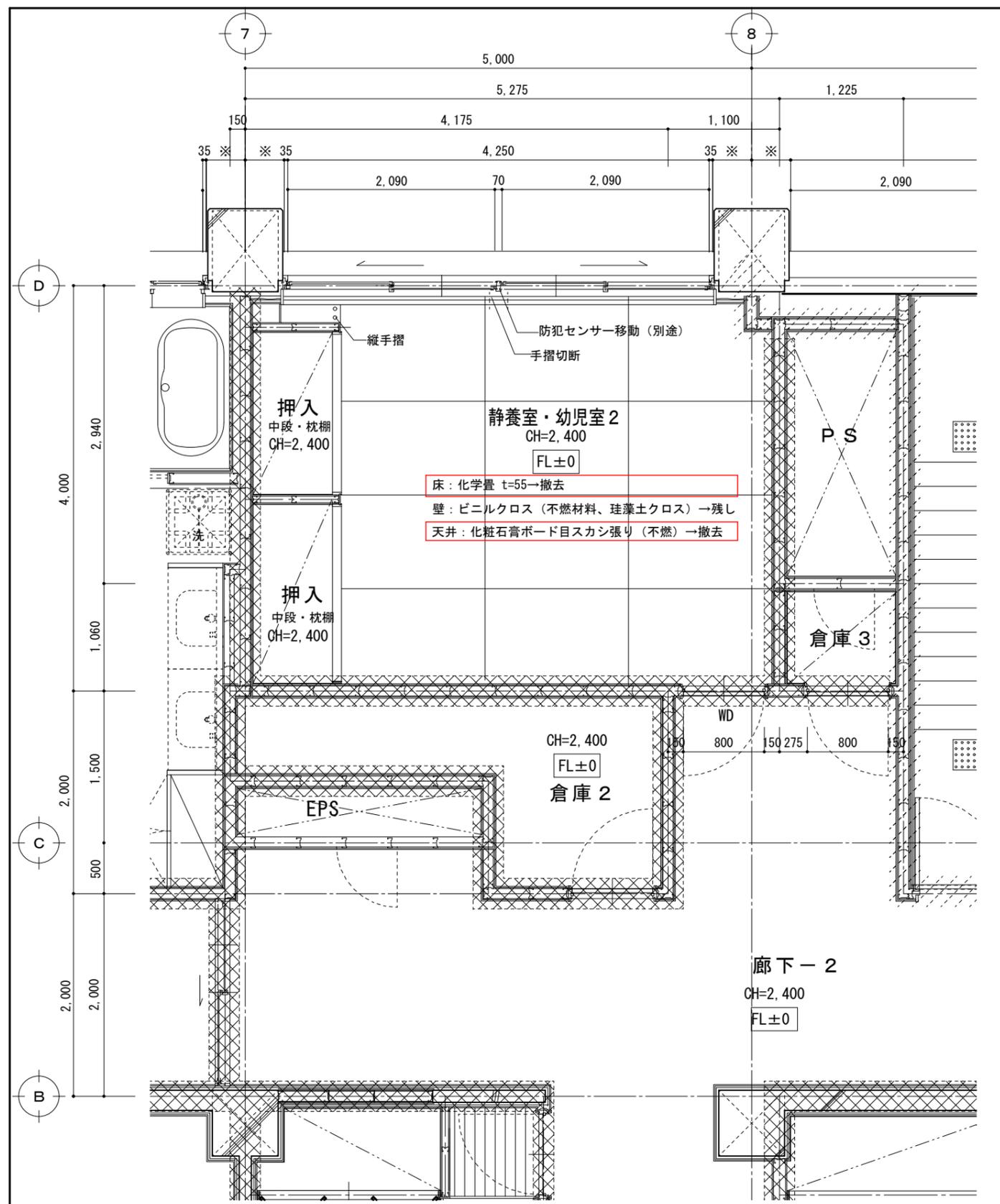


幼児室1 (改修前) 1:50 撤去部分を示す



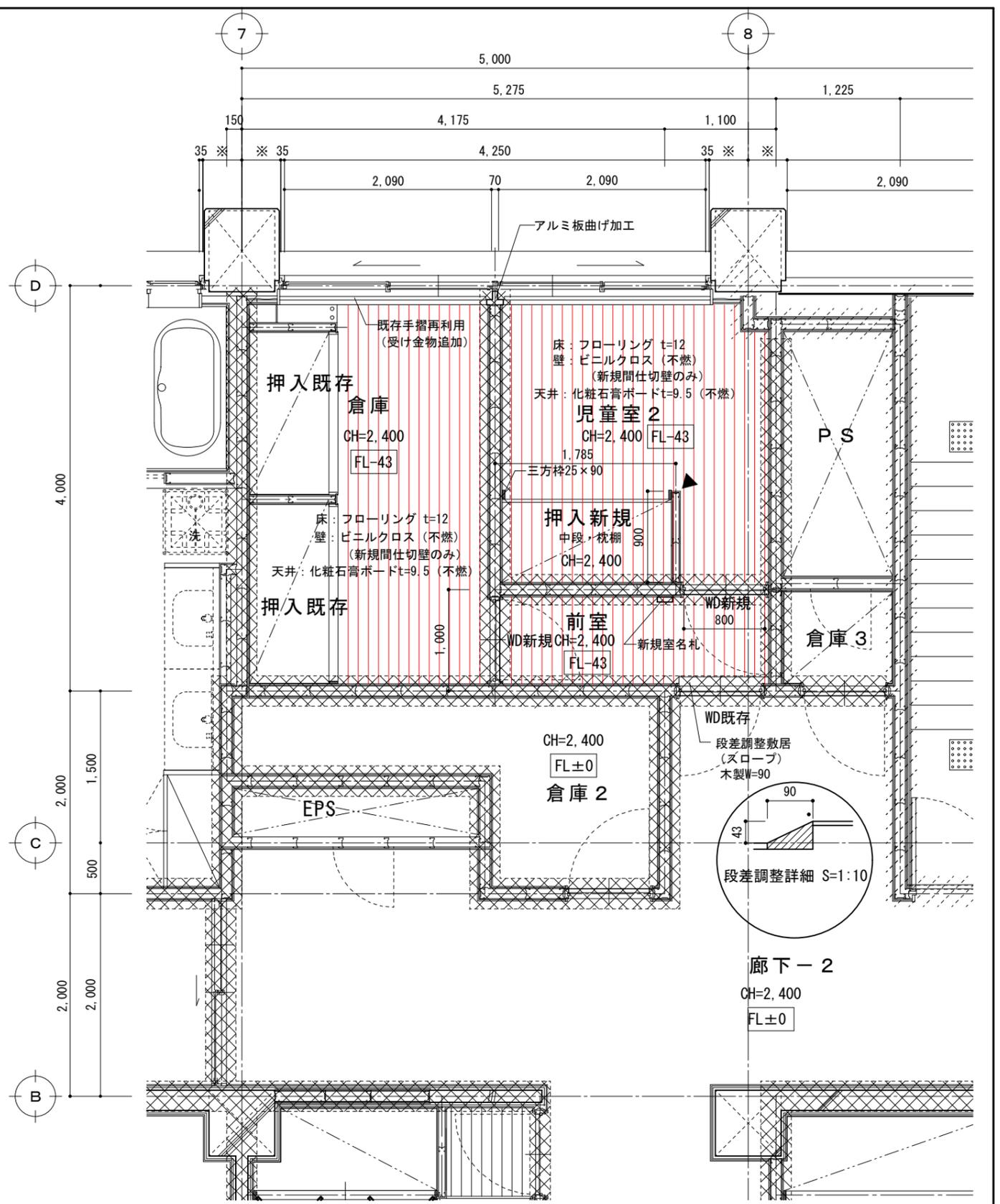
児童室1・倉庫 (改修後) 1:50

- 注記: 1. 防火上主要な間仕切壁 (PB t=12.5+9.5 両面張り) LGS100型 ※スラブ下まで設置
2. 間仕切下地は、LGS 100型、65型とする。
3. ▼部は「コーナガード」設置 (木製 特記なき限り床から天井まで)



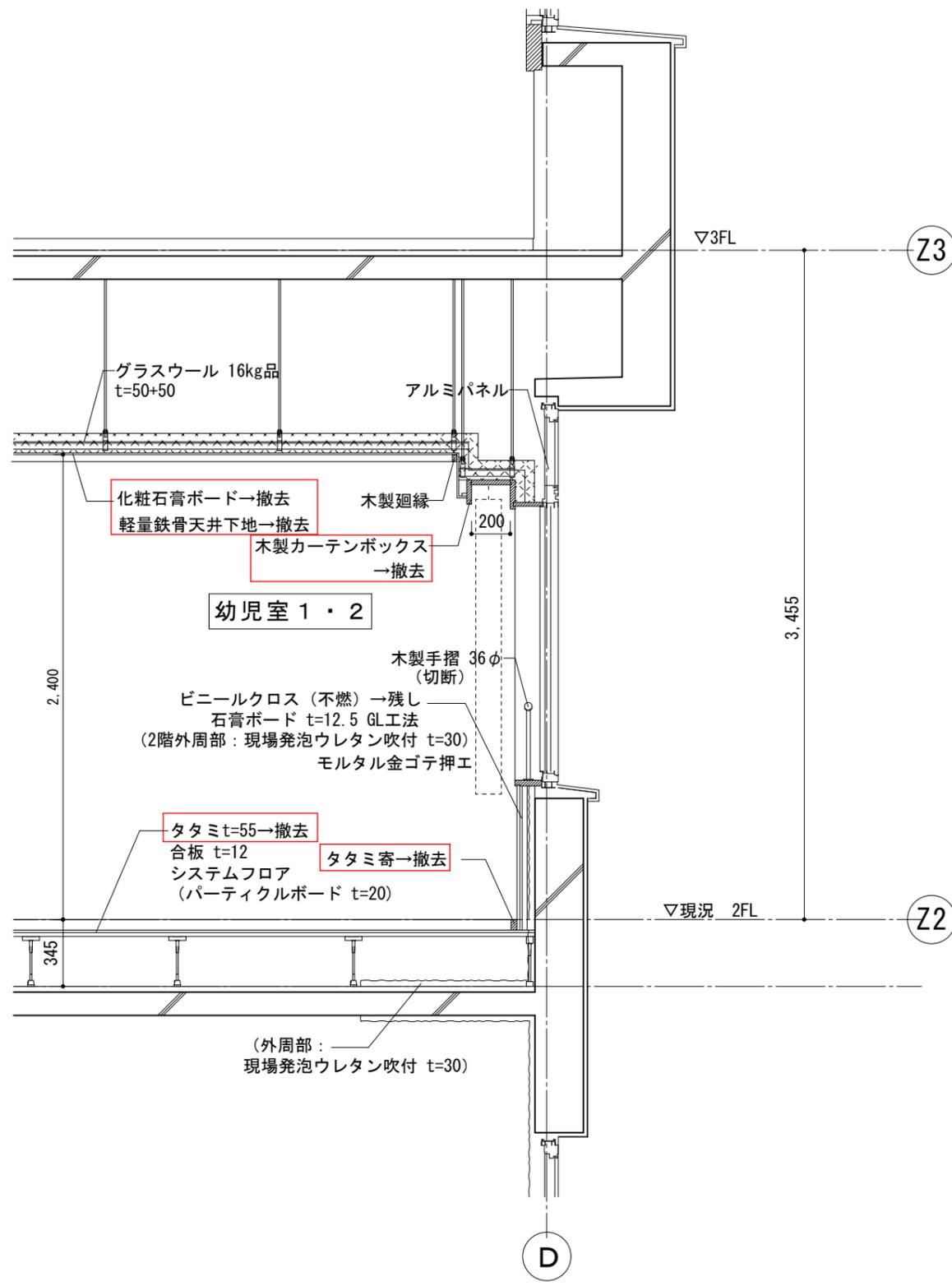
幼児室 2 (改修前) 1:50

撤去部分を示す

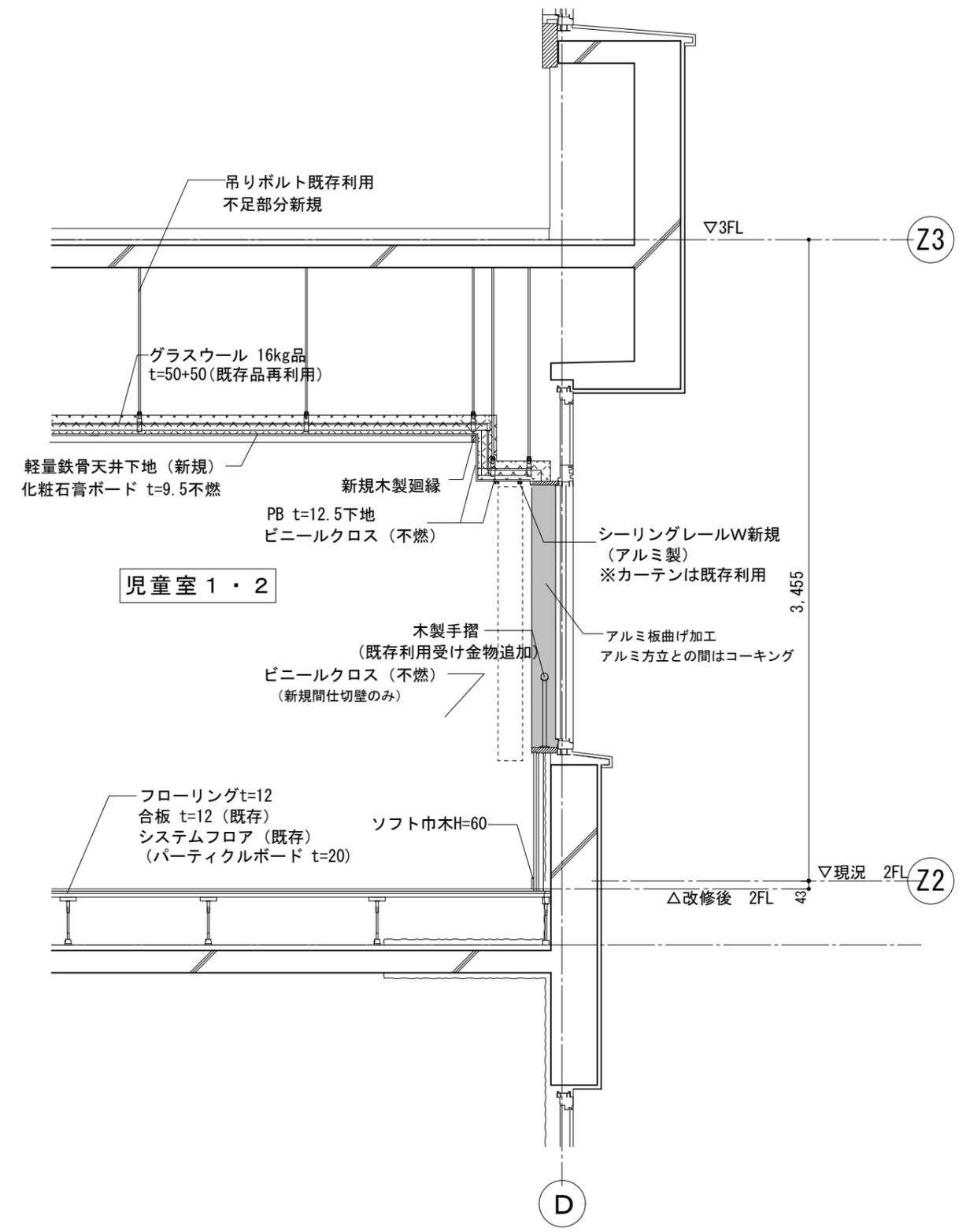


児童室 2・倉庫 (改修後) 1:50

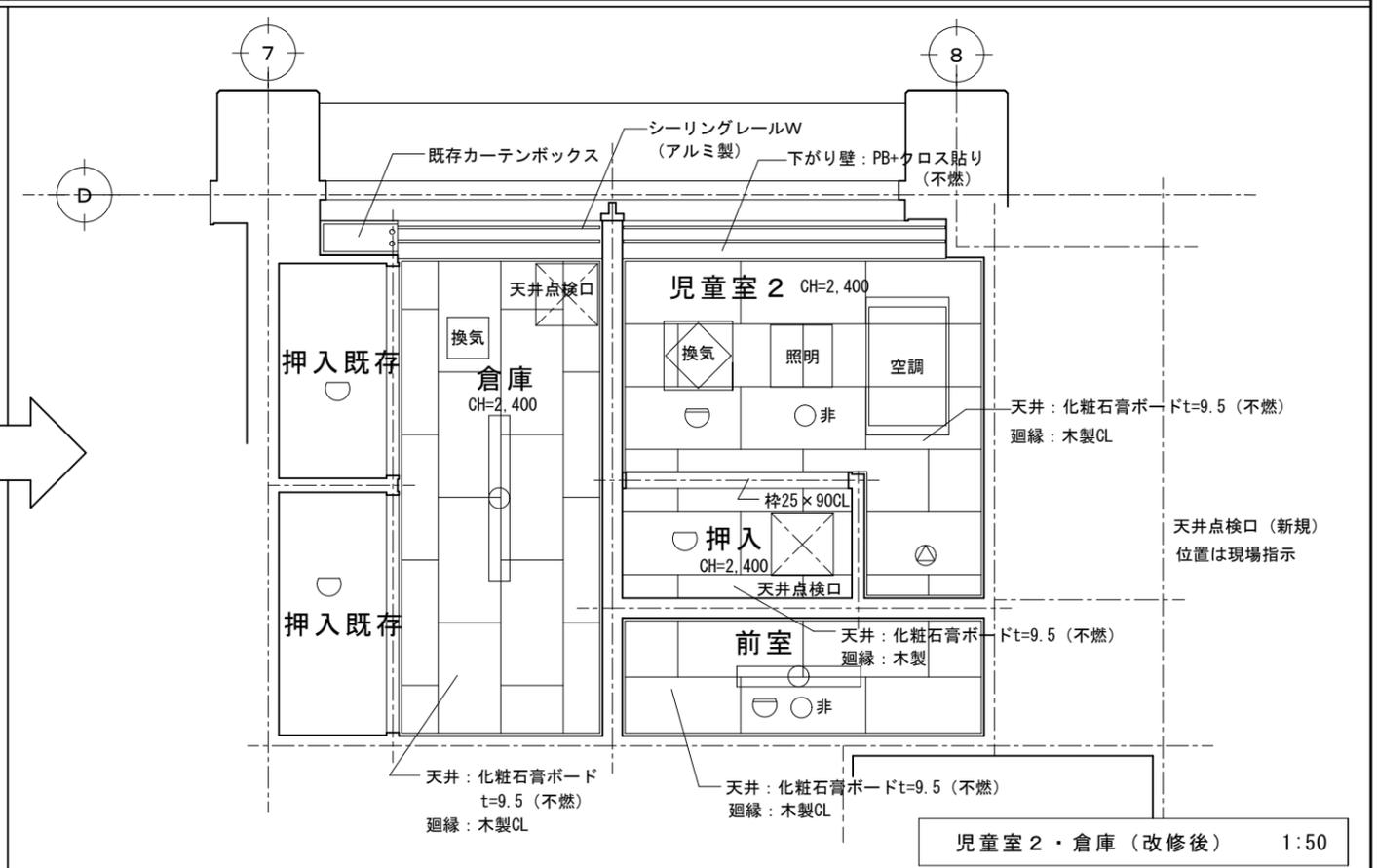
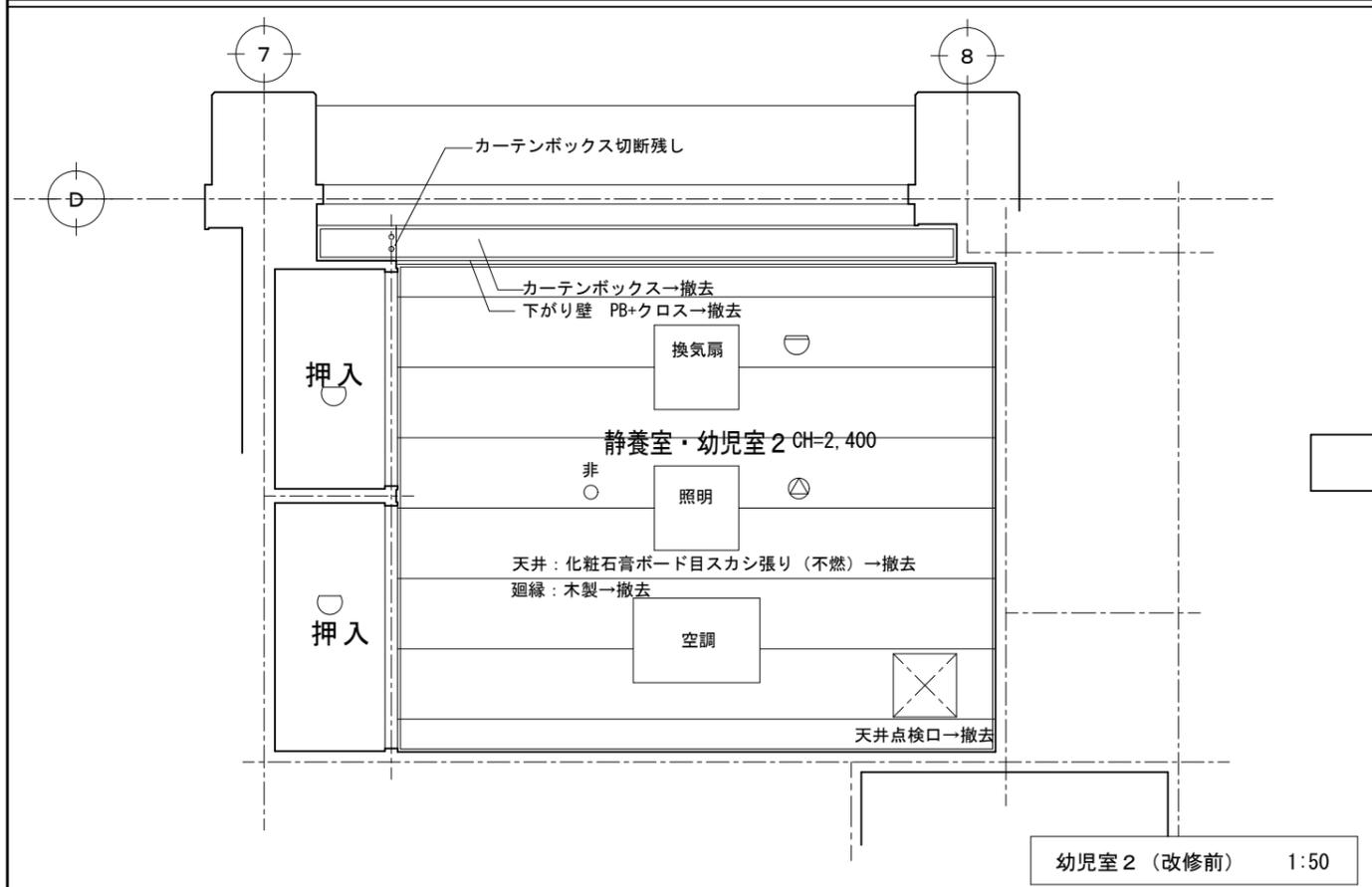
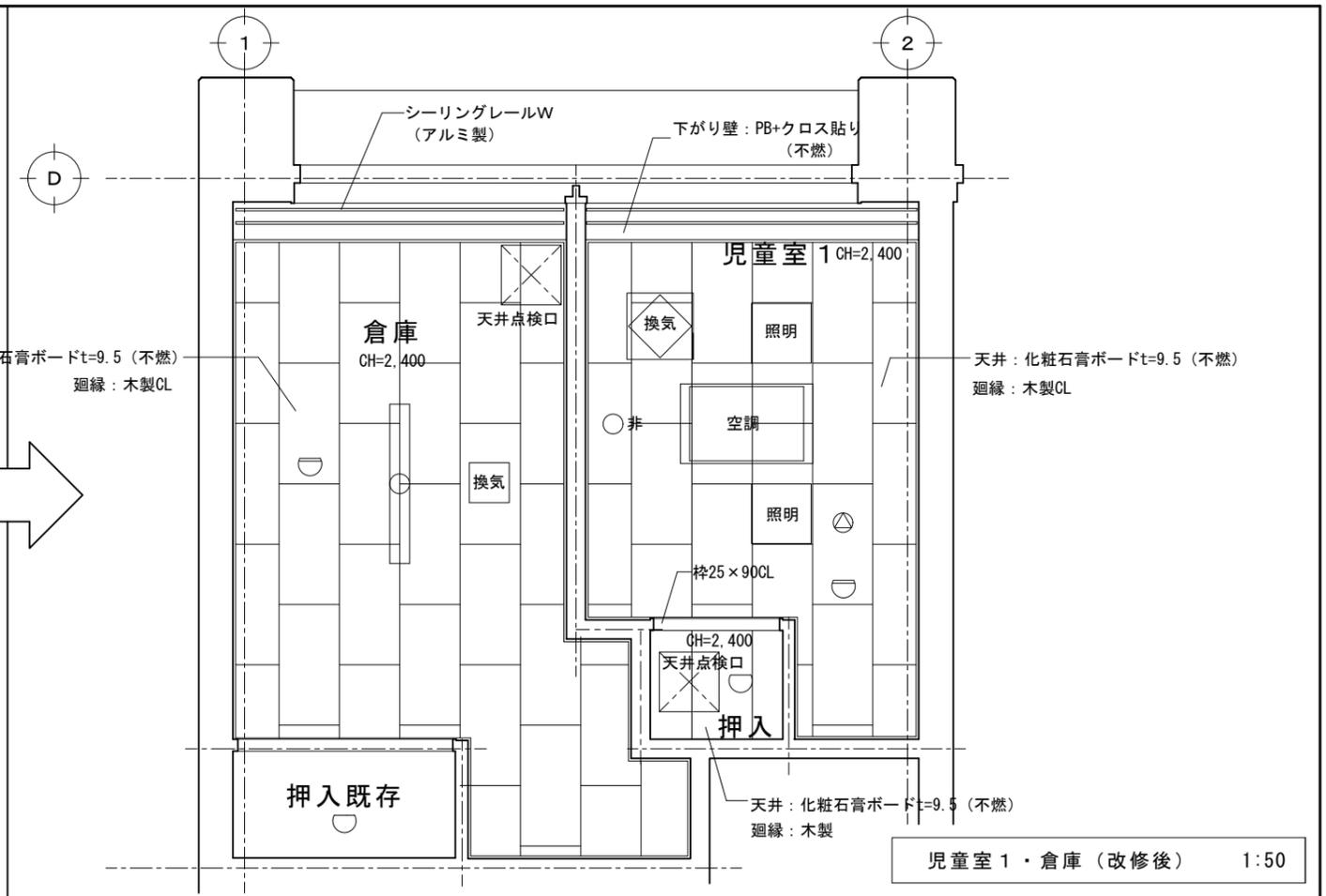
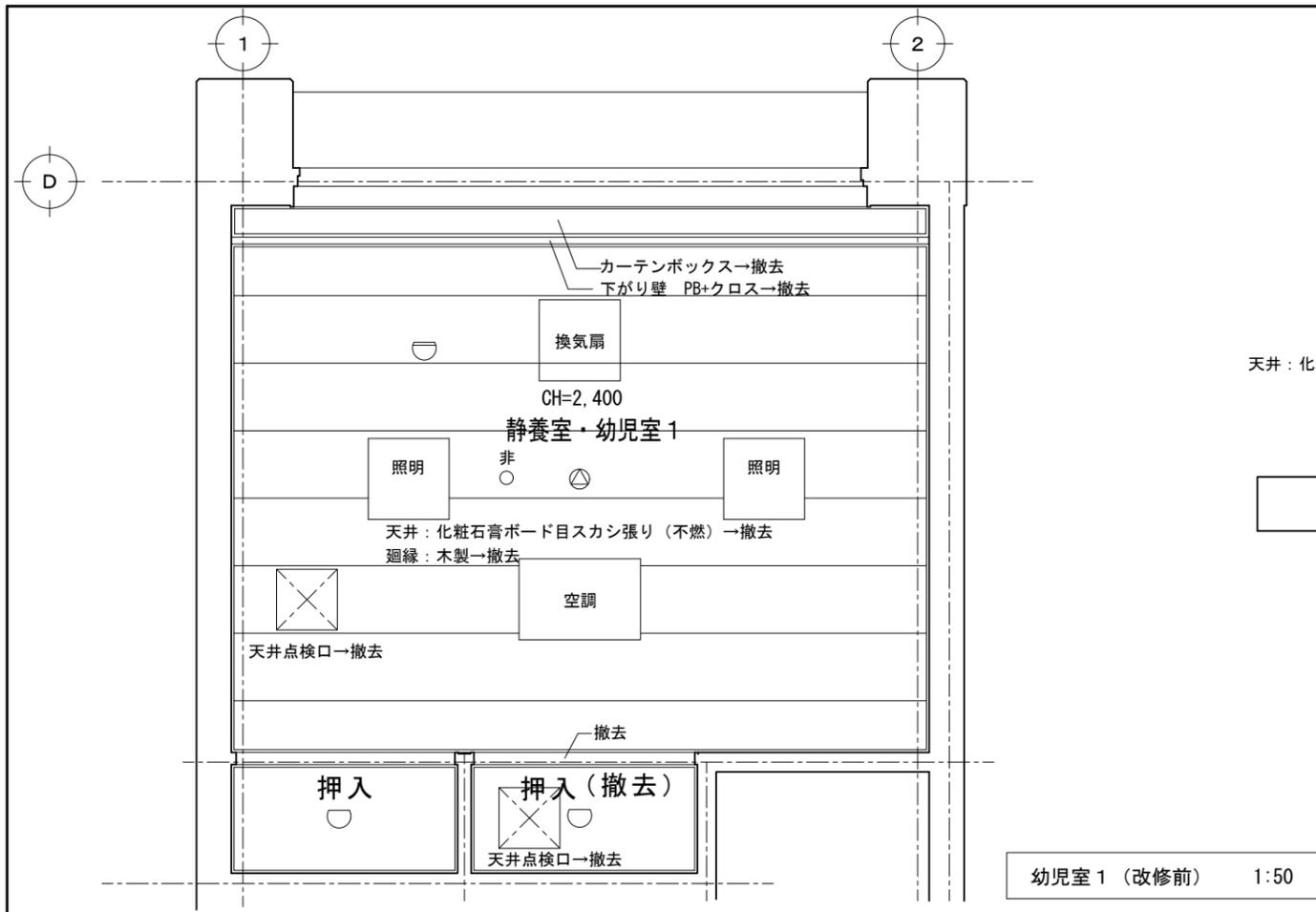
- 注記: 1. 防火上主要な間仕切壁 (PB t=12.5+9.5 両面張り) LGS100型 ※スラブ下まで設置
2. 間仕切下地は、LGS 100型、65型とする。
3. ▼部はコナガード設置 (木製 特記なき限り床から天井まで)



断面詳細図 (改修前) 1:30 撤去部分を示す

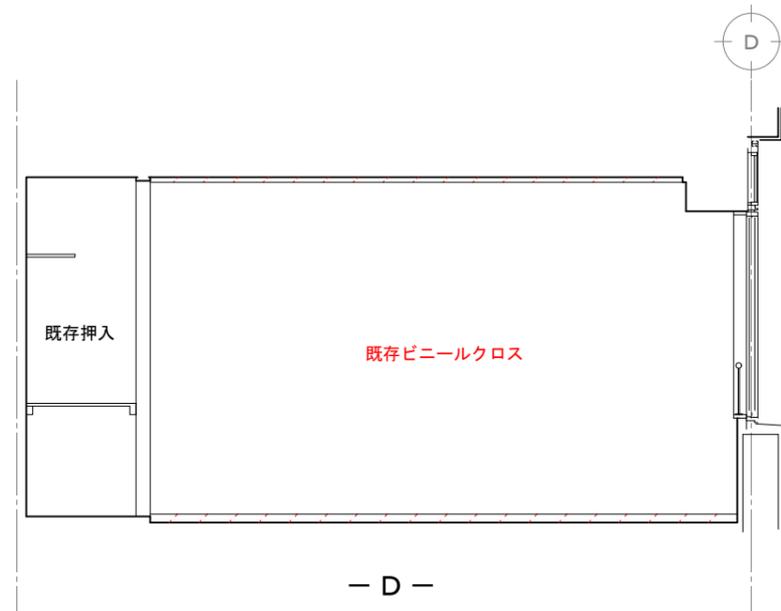
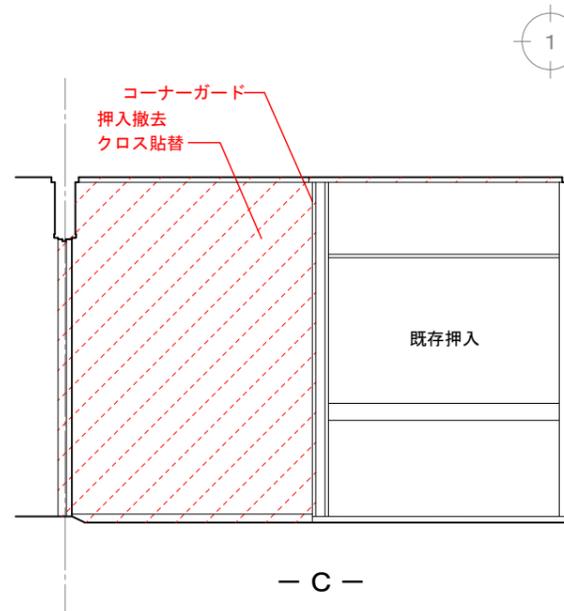
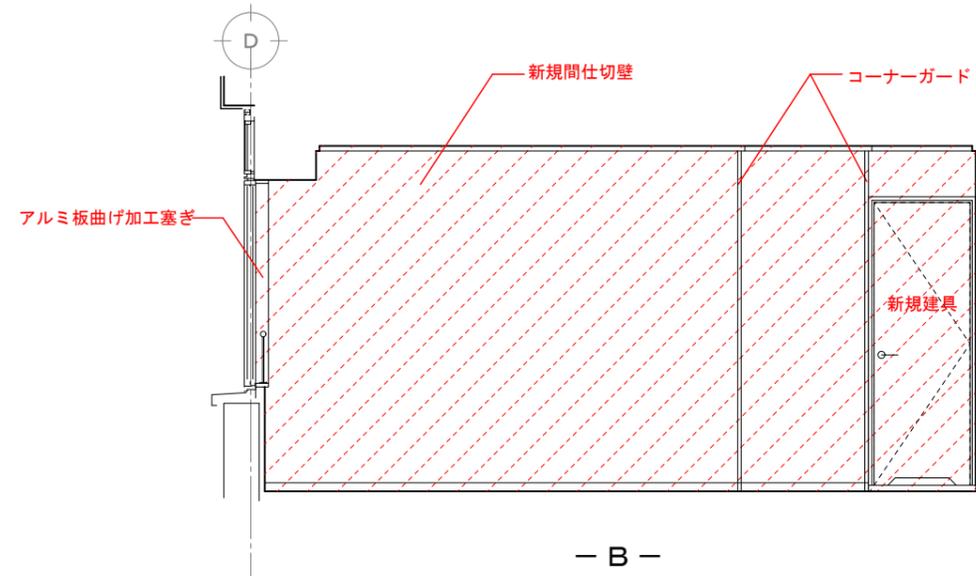
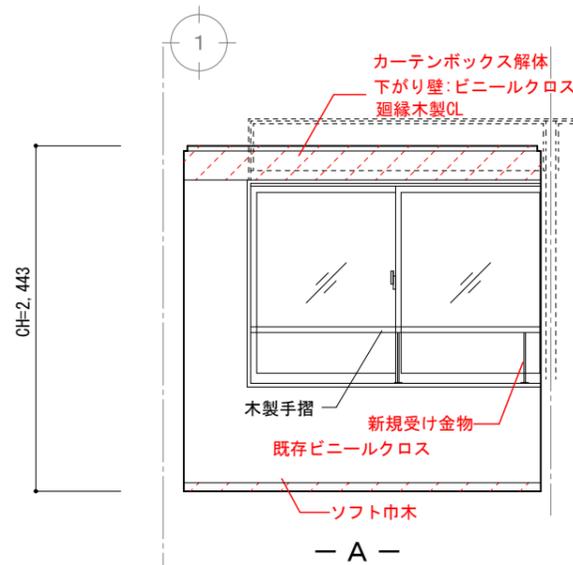


断面詳細図 (改修後) 1:30



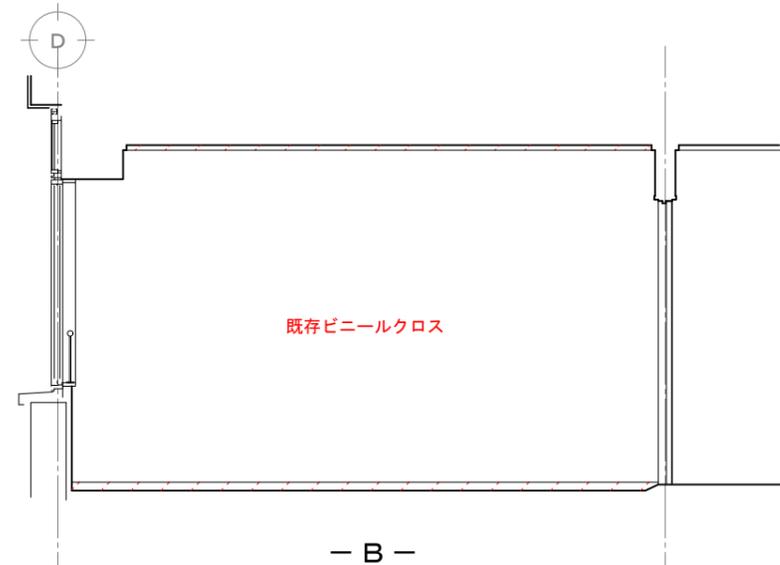
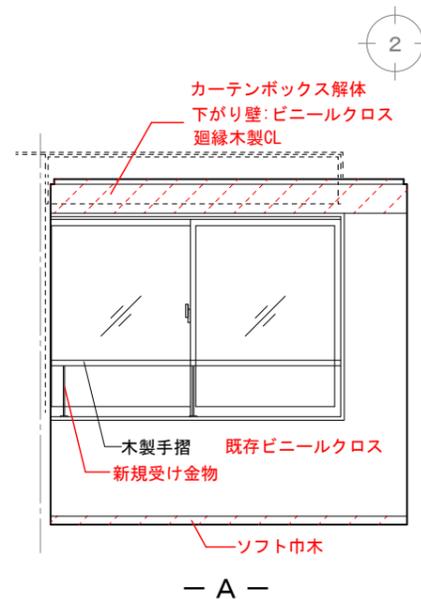
■ 仕上表

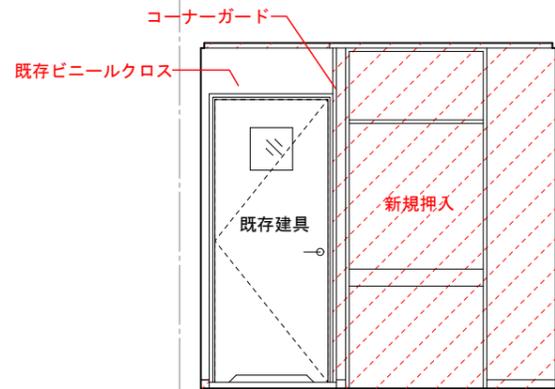
(2F) 幼児室1→倉庫			
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃材料)		
廻り縁	木製CL		
壁	ビニルクロス (不燃材料) (新規間仕切壁のみ) 下地 石膏ボード t=12.5 (不燃材料) (防火上主要な間仕切壁 石膏ボード t=12.5+9.5両面張(天井裏まで))		
腰壁	-	H	-
巾木	ソフト巾木	H	60
床	フローリングt=12 合板 t=12 (既存) システムフロア (既存)		



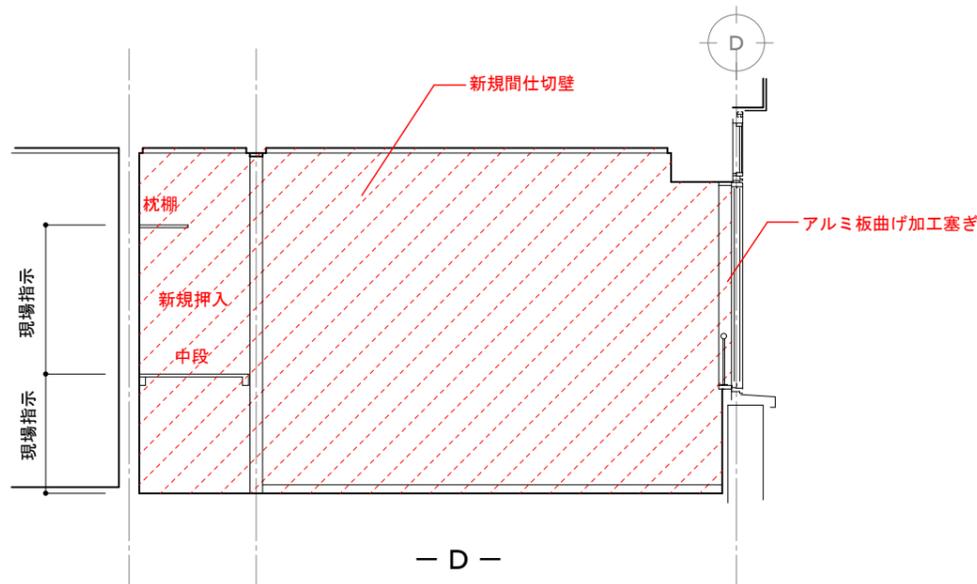
■ 仕上表

(2F) 幼児室1→児童室1			
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃材料)		
廻り縁	木製CL		
壁	ビニルクロス (不燃材料) (新規間仕切壁のみ) 下地 石膏ボード t=12.5 (不燃材料) (防火上主要な間仕切壁 石膏ボード t=12.5+9.5両面張(天井裏まで))		
腰壁	-	H	-
巾木	ソフト巾木	H	60
床	フローリングt=12 合板 t=12 (既存) システムフロア (既存)		





- C -



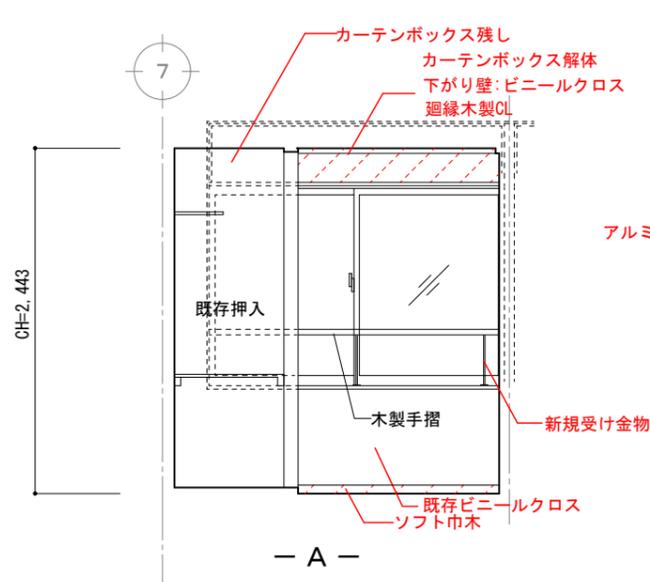
- D -

■ 仕上表

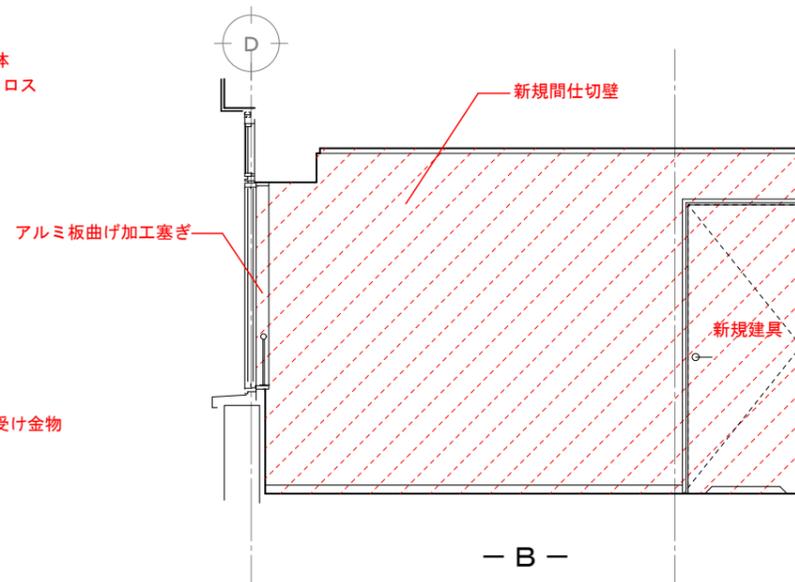
(2F) 幼児室→押入 (共通)			
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃材料)		
廻り縁	木製CL		
壁	ビニルクロス (不燃材料) 下地 石膏ボード t=12.5 (不燃材料) (防火上主要な間仕切壁 石膏ボード t=12.5+9.5両面張(天井裏まで))		
腰壁	-	H	-
巾木	雑巾摺	H	-
床	フローリング t=12 合板 t=12 (既存) システムフロア (既存)		

■ 仕上表

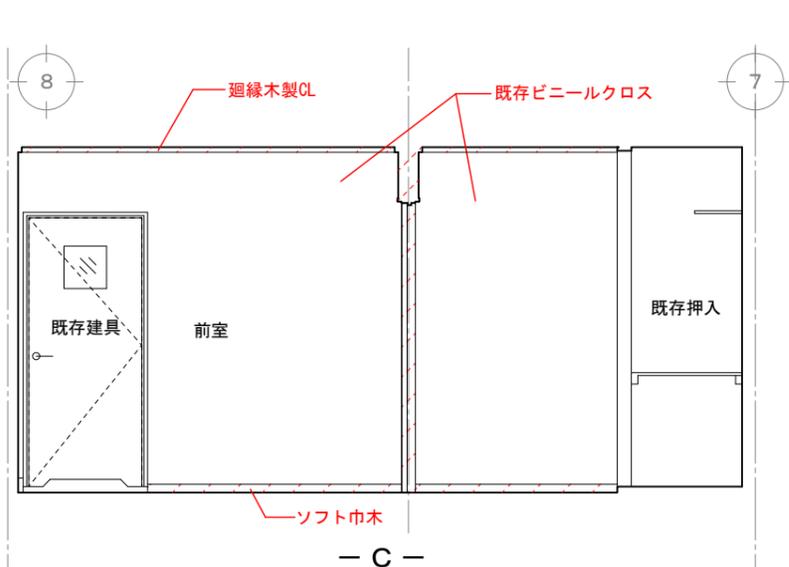
(2F) 幼児室2→倉庫			
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃材料)		
廻り縁	木製CL		
壁	ビニルクロス (不燃材料) (新規間仕切壁のみ) 下地 石膏ボード t=12.5 (不燃材料) (防火上主要な間仕切壁 石膏ボード t=12.5+9.5両面張(天井裏まで))		
腰壁	-	H	-
巾木	ソフト巾木	H	60
床	フローリング t=12 合板 t=12 (既存) システムフロア (既存)		



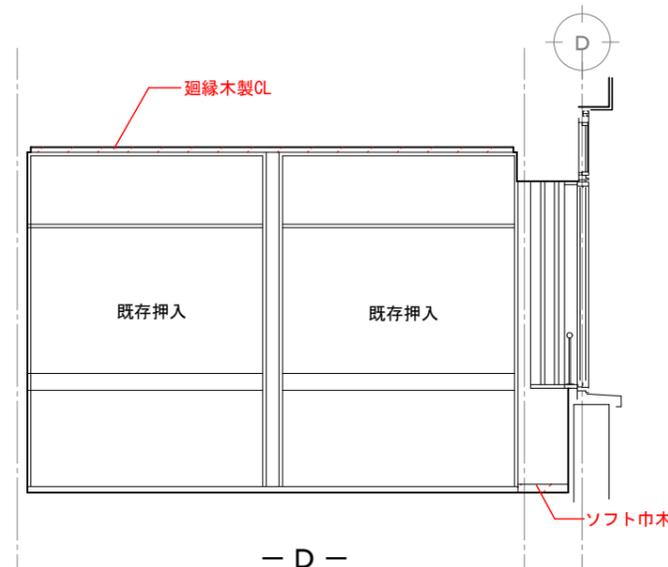
- A -



- B -



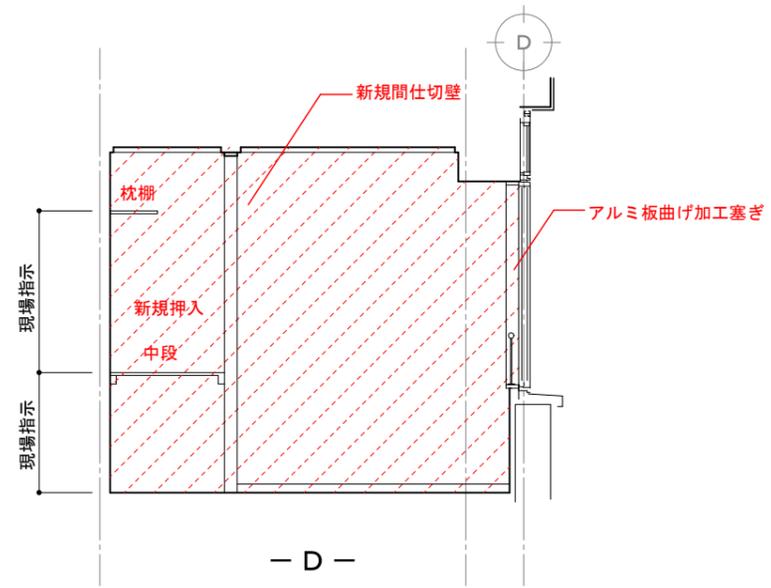
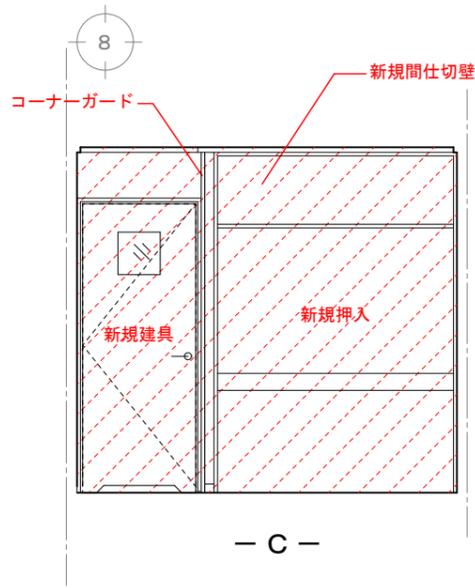
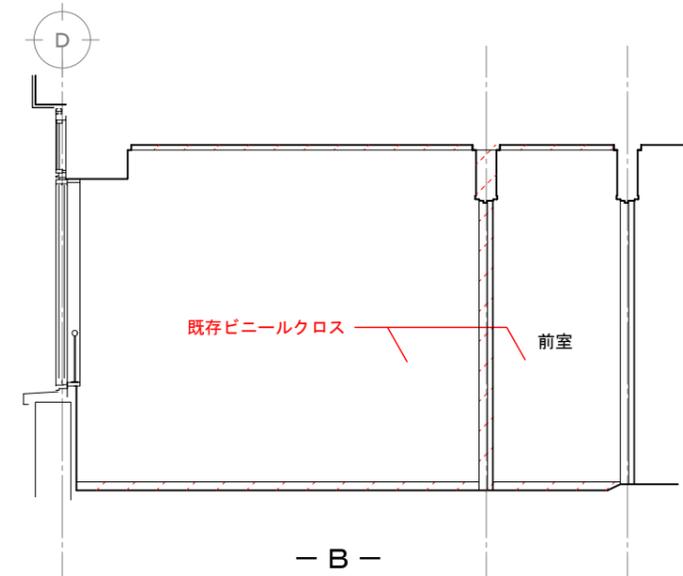
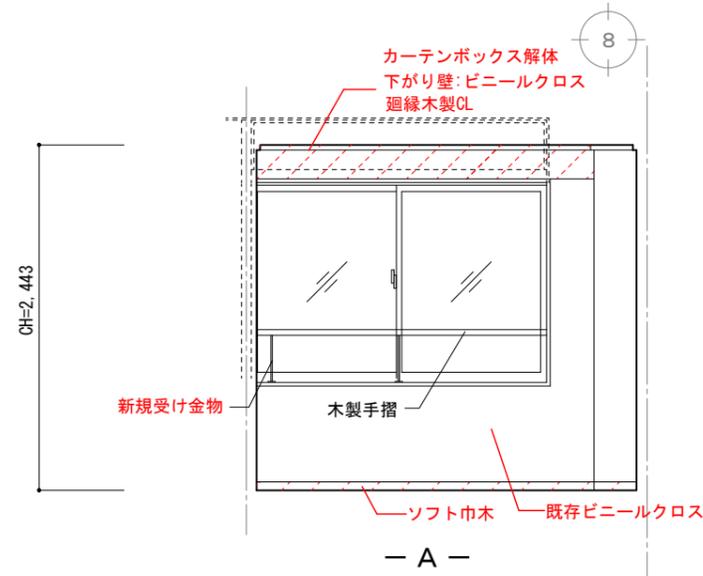
- C -



- D -

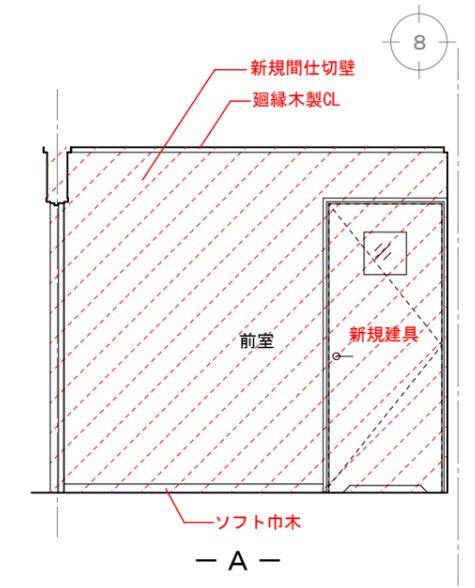
■ 仕上表

(2F) 幼児室2 → 児童室2			
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃材料)		
廻り縁	木製CL		
壁	ビニルクロス (不燃材料) (新規間仕切壁のみ) 下地 石膏ボード t=12.5 (不燃材料) (防火上主要な間仕切壁 石膏ボード t=12.5+9.5両面張(天井裏まで))		
腰壁	-	H	-
巾木	ソフト巾木	H	60
床	フローリング t=12 合板 t=12 (既存) システムフロア (既存)		



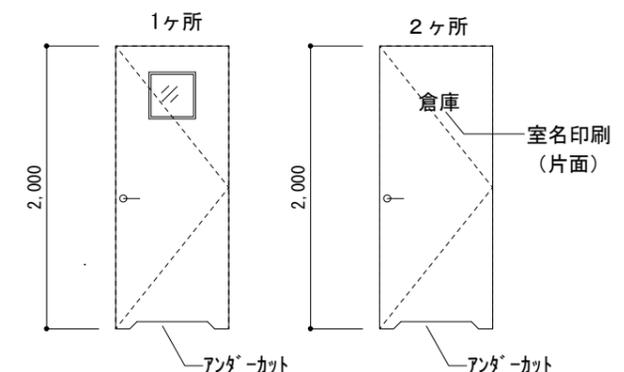
■ 仕上表

(2F) 幼児室2 → 前室			
天井	化粧石膏ボード t=9.5 (不燃材料)		
廻り縁	木製CL		
壁	ビニルクロス (不燃材料) (新規間仕切壁のみ) 下地 石膏ボード t=12.5 (不燃材料) (防火上主要な間仕切壁 石膏ボード t=12.5+9.5両面張(天井裏まで))		
腰壁	-	H	-
巾木	ソフト巾木	H	60
床	フローリング t=12 合板 t=12 (既存) システムフロア (既存)		



■ 製作建具表

位置・数量	計 3ヶ所
材種・仕上	木目調ポリ化粧板
硝子	ガラス クリア t=3
付属金物	丁番、ドアノブ、レバーハンドル、ドアストッパー
	シリンダー錠 (内サムク) 他一式 マスターキーを使用
見込	36
備考	指詰め防止処置 他 既存建具に同じ



■ 室名札 各1か所

- ① 木製CL t=5 程度 絵柄ペイント
- ② アクリル板
- (既存同等 200角程度)



中央児童相談所一時保護所個室化等改修工事 電気設備工事

I 工事概要

1 工事場所 長野市大字南長野妻科 1 4 4

2 建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一の区分	備考
中央児童相談所一時保護所	RC	2階	1,857.83	()	

3 工事種目 (○印のついたものを適用する。)

工事種目	項目	建物別及び屋外	
		本館棟	
電灯設備		○	
動力設備	幹線、分岐	○	
電熱設備			
雷保護設備			
受変電設備			
電力貯蔵設備			
静止形電源設備	直流電源装置		
発電設備			
構内情報通信網設備	LAN用配管		
構内交換設備	電話設備	○	
情報表示設備	時計設備		
映像・音響設備			
拡声設備		○	
誘導支援設備	インターホン・トイレ呼出し設備		
テレビ共同受信設備			
監視カメラ設備			
駐車場管理設備			
防火・入退室管理設備	予備配管		
自動火災報知設備		○	
自動閉鎖設備			
非常警報設備	非常放送装置		
ガス漏れ警報設備			
中央監視制御設備			
構内配電線路			
構内通信線路			
昇降機設備			

II 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
浦本建築設計	関 卓志

主任担当技術者	担当技術者
意匠担当	
浦本建築設計	関 卓志
構造担当	
積算担当	
江島積算	江島 伸二
電気設備担当	
小林電気設計事務所	小林 敬久
機械設備担当	
大須賀設計	大須賀 隆

III 工事仕様

1 共通仕様

- 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁官庁官庁の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準仕様書」という。), 「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。), 及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準図」という。), による。
- 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
(参考図書: 長野県建築工事の手引き (以下、「手引き」という。)(平成24年版) 長野県建設部施設課監修)

2 特記仕様

- 特記仕様は別紙「特記仕様書(共通事項)」によるほか次の各項目による。
- 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
 - 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項										
①機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。										
②機材の品質・性能証明	下表に示す材料・機材等(○印のもの)の製造者等は次の1)から6)のすべての事項を満たすものとし、この証明となる資料または外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承諾を受ける。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材料・機材名</th> <th>材料・機材名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○ LED照明器具</td> <td>・ 電気錠</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>○ その他、監督員の指示によるもの</td> </tr> <tr> <td>○ (一社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ol style="list-style-type: none"> 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 安定的な供給が可能であること。 法令等が定める場合は、その許可・認可・認定または免許を取得していること。 製造または施工の実績があり、その信頼性があること。 販売、保守等の営業体制が整えられていること。 	材料・機材名	材料・機材名	○ LED照明器具	・ 電気錠	・	・	・	○ その他、監督員の指示によるもの	○ (一社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材	
材料・機材名	材料・機材名										
○ LED照明器具	・ 電気錠										
・	・										
・	○ その他、監督員の指示によるもの										
○ (一社)公共建築協会による「建築材料・機材等品質性能評価事業」における評価対象となる電気設備機材											
3 化学物質を発生する建築材料等	本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。 <ol style="list-style-type: none"> 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 上記(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放射しないか、放射が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放射しないものとは放射量が規制対象外のものを、ホルムアルデヒドの放射が極めて少ないものとは放射量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJIS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放射させない塗料等使用 第三種 ①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③旧JISのE〇規格品 ④旧JASのF〇〇規格品										
④施工条件明示項目	○公共建築工事積算基準の解説(設備工事編)の「軌道並行改修」										
5 電気保安技術者	工事現場の電気工作物(電路、自動昇、自動シャッター、電動機等も含む)の保安業務を行うものとする。 契約電力500kW以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。 (1)実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 (2)工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。										
⑥使用材料発注先調書	使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承諾を受ける。										
⑦発生材の処理	使用材料名、製造者名、発注先等を記載した調書を作成し提出する。 (1)引渡しを要するもの ○無 ・有 () (2)引渡しを要するもの以外 ○構外搬出し、関係法令により適切に処理をする。 (3)特別管理産業廃棄物 ・無 ・有 (〇〇使用機器: 関係法令により適切に処理し建物管理者に引き渡す。) (4)再利用又は再資源化を図るもの ○無 ・有 (・廃蛍光管 ・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類)										
⑩監督員事務所	○設けない ・設ける(規模:) ・備品()										
⑪工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内に作ることが ○できる ・できない										
12足場・さん積機	○別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ○本工事で設置する。 ○内部仮設足場等(・架台足場 ・移動式足場 ・移動式室内足場 ・) ・外部足場 (・A種【施工箇所面に枠組足場を設ける。】 ・B種【施工箇所面に単管足場を設ける。】 ・C種【仮設ゴンドラを使用する。】 ・D種【移動式足場を使用する。】)										
⑬工事用電力・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。										

項目	特記事項																																											
⑬工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。																																											
⑭しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。																																											
⑮再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。																																											
17耐震施工	設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(監修(独)建築研究所)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員に提出し承諾を受けるものとする。 (1)設計用水平地震力 機器の重量[kgf]に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。 設計用標準水平地震度 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">設置場所</th> <th rowspan="2">機器種別</th> <th colspan="2">○特定の施設</th> <th colspan="2">・一般の施設</th> </tr> <tr> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> <th>重要機器</th> <th>一般機器</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">上層階、屋上及び塔屋</td> <td>機 器</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>防振支持の機器</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">中間階</td> <td>水槽類(※1)</td> <td>2.0</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>機 器</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">地下・1階</td> <td>防振支持の機器</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> </tr> <tr> <td>水槽類(※1)</td> <td>1.5</td> <td>1.0</td> <td>1.0</td> <td>0.6</td> </tr> </tbody> </table> (※1)水槽類にはオイルタンク等を含む。 ◎重要機器の定義は次による。 ・受変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ◎上層階の定義は次による。 2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階以上の場合は上層4階とする。 (2)設計用鉛直地震力 設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。 公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)第1編第2章第12節による。 確認試験は、・性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認試験()にて行う。電線等は、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、貫通箇所の両面から写真撮影し、工事写真として提出する。 (1)EM-EFFは雷外線による変化を抑制する性能を持たせ、「タリダ」(注)EM-EFF」と表記されたものを使用する。 (2)EM-UTPはJIS X 5150「構内情報伝送システム」に準じ、絶縁材料及びシースにJIS規格によるEMケーブルの耐燃性ポリエチレンを用いたもの。 埋込分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器4個以下の場合は(25)を1本5個以上の場合は(25)を2本、天井まで立上らせる。 長さ1m以上の入線しな電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。 下記の露出配管は塗装を行う。 ・屋外 ・屋内 () ・A種(山砂の類、水締め、機器による縛固め) ・B種【掘切り土中の良質土: 機器による縛固め】 ・C種【他現場の建設発生土中の良質土: 機器による縛固め】 ・D種【再生コンクリート砂: 水締め、機器による縛固め】 ・増外搬出処理 ・構内の指定場所に敷き均し (1)地中線路には、ケーブル埋設票をもうける。 ・鉄製 ・コンクリート製 (2)低圧地中配線にあっても地中線路設備シートを敷設する。 (3)配管埋設幅が750mmを超える場合は、地中線路設備シートは2条以上敷設する。 (1)露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン焼付塗装とする。 (2)露出するプルボックスのふたの止めねじは化粧ビスとする。 図面に特記あるもの及び特殊なものを除き ○金属製 ・樹脂製 プルボックス、ジョイントボックス及び機器を安裝しないプレートには、用途を明示した略称をつける。 タンブラスイッチは通用形とする。 壁付けコンセント(2P15A)は原則として通用形とする。ただし、2口の場合は様式を使用しても良い。また(2P15A)以外はすべてキャップ付とする。 本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。 ・測定場所: ○ 各室(測定箇所数1箇所) ・廊下 ・階段 用 途: ○ 非常用照明 ○ 一般照明 ・学校施設における室内照度測定(測定教室: 箇所、測定黒板面: 箇所) ※教室の照度は、1教室当たり机上面9か所、黒板垂直面9か所で測定する (1)分電盤等の図面ホルダーに、単線結線図・絶縁抵抗測定表・接地抵抗測定表を収納する。 (2)端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。 長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目 <資材> ・照明制御システム ・変圧器 ・ () <建設機器> ・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器 工事区分表(令和 年版)による。ただしこれにより難しい場合は監督職員と協議する。 保険等の各種措置及び電子納品については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。(長野県公式ホームページ「電子入札システム」に掲載される、当該入札公告の添付図書) ・施工制約条件	設置場所	機器種別	○特定の施設		・一般の施設		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5	中間階	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6	地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
設置場所	機器種別			○特定の施設		・一般の施設																																						
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																							
上層階、屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0																																							
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5																																							
中間階	水槽類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0																																							
	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6																																							
地下・1階	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0																																							
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6																																							
18あと施工アンカー																																												
19防火区画等の貫通処理																																												
⑳電線・ケーブル																																												
21予備配管																																												
22呼び線																																												
23金属製電線管の塗装																																												
24埋め戻し土																																												
25建設発生土の処理																																												
26ケーブル埋設票																																												
27プルボックス																																												
⑳フラッシュプレート																																												
29プレートの用途表示																																												
⑩配線器具																																												
31機器への接続																																												
⑮照度測定																																												
33盤類																																												
34グリーン購入の推進																																												
35他工事又は他工種との取り合い																																												
36その他及び電子納品																																												
37その他																																												

(別表) しゅん工時提出物 (・に○印のついたものを提出する。)

個 別 提 出 物	一 括 提 出 物
1 完成図 ○ 原図(A1版 ケース入り) ○ 隔面(A1版 2つ折り製本 1部) ○ CADデータ(jww及びpdf形式)	5 機器完成図 6 工事写真 7 完成写真 8 工事記録 (打合せ簿、工事日誌、協議書) 9 機材の試験成績書 10 施工の試験成績書 11 社内試験成績書 12 発生材処理報告書 (廃棄物処理実施書、運搬及び処理の委託契約書の写し、マニフェストの写し、フロー図)
2 設計図 ○ CADデータ	13 納入品一覧表 14 官公署手続、検査書(管理者用正本、写し) 15 保全に関する資料(取扱説明書も含む)
3 引渡書	
4 納入品 ○ 予備品 ○ 盤類の鍵 ○ ハンドホールフック、ジャッキ	

3 ハンドホール

- 下記による。(機材は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)
 ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)
 ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。
 ・ブロックの仕様は国土交通省仕様基準に準ずるものとする。
 ・ハンドホールにノックアウト部分を設けてはならない。
 ・配管貫通部は、原則として根巻きコクリト(F=18N/mm以上)とし、差し筋D10xテコ#200で補強する。
 ・補強方法については、あらかじめ監督職員にハンドホール製作図を提出して承諾を受けて施工する。

・	ハンドホール No.○	1,500×1,500×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.○	1,200×1,200×1,500D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.○	1,000×1,000×1,400D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.○	1,000×1,000×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.○	1,000×1,000×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.○	900×900×1,100D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
・	ハンドホール No.○	900×900×900D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	底部 GL-1,060以上 (既製足場付)
・	ハンドホール No.○	600×600×680D 蓋 WPM-60A (Eマーク入)	(既製足場付)
・	ハンドホール No.○	450×450×680D 蓋 WPM-45B (Eマーク入)	※補強等同等面の通行の恐れがない場所、収容ケーブルが少ない場所に限る

4 接地極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督職員との協議による。

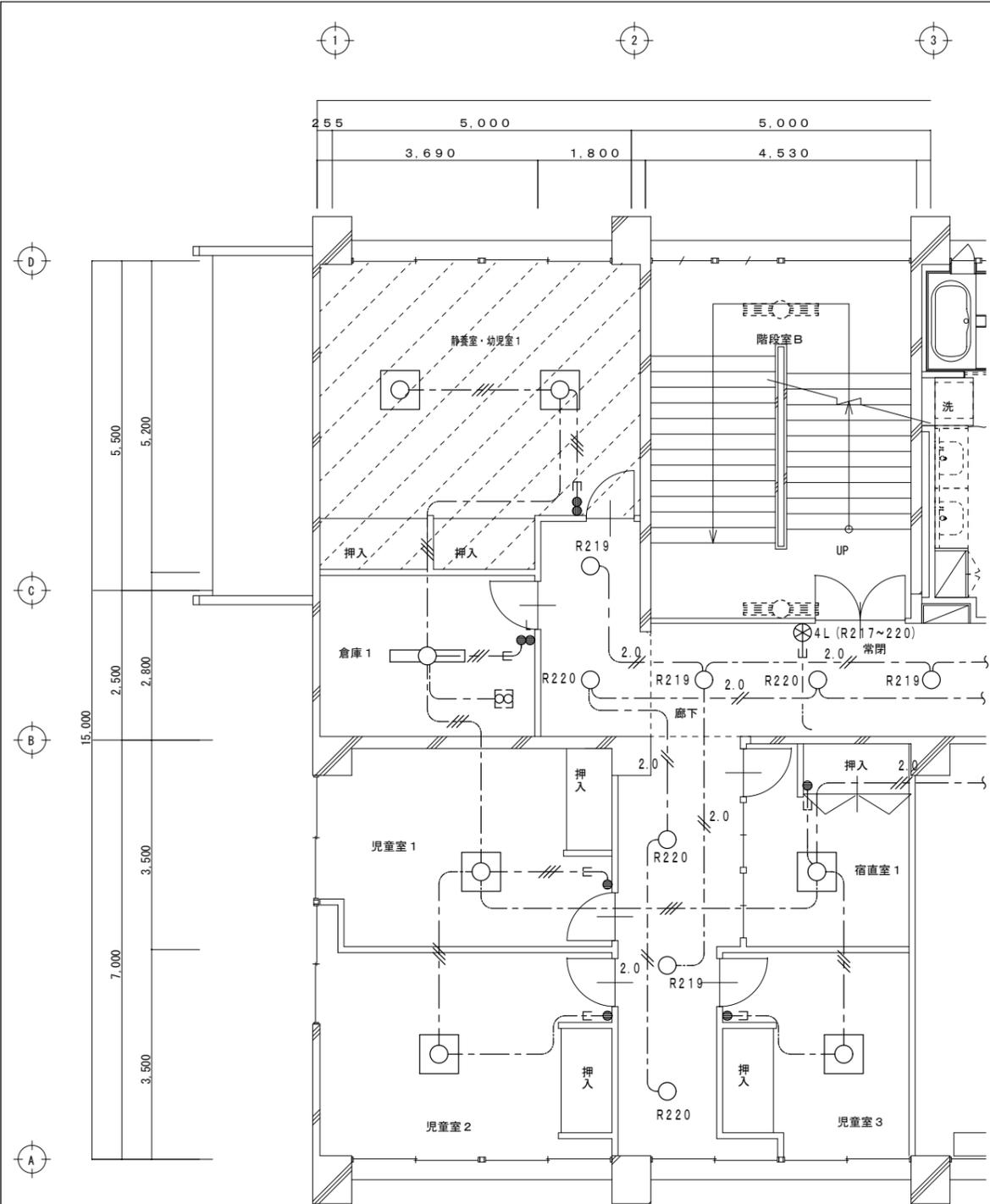
・	A 種 接 地	鋼板1.5t×900×900 リード端子付 埋埋戻戻中心深さ 2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋埋戻戻中心深さ 2m 埋設機(貴鋼製又はステンレス製)
・	B 種 接 地	鋼板1.5t×600×600 リード端子付 埋埋戻戻中心深さ 2m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋埋戻戻中心深さ 2m 埋設機(貴鋼製又はステンレス製)
・	C 種 接 地	鋼板1.5t×300×300 リード端子付 埋埋戻戻中心深さ 1.5m	補助接地棒(連結式10φ×1,500) 埋埋戻戻中心深さ 1.5m 埋設機(貴鋼製又はステンレス製)
・	D 種 接 地	接地棒(10φ×1,500)	リード端子付 打ち込み式埋設機(貴鋼製又はステンレス製)

5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合は監督職員との協議による。

名 称	測 点	取付高(mm)	名 称	測 点	取付高(mm)
取 引 用 計 器	地上~上端	2,000	壁 掛 形 観 時 計	床上~中心	1,500
引 込 閉 閉 器	床上~上端	1,800	子 時 計	〃	(上層1,900以下)
警 報 器	床上~中心	1,500	壁 掛 形 スピーカー	〃	(天井高)×0.9
			アッテナーホーン	〃	1,300
分 電 盤	床上~中心	1,500	表 示 盤	床上~中心	(天井高)×0.9
	(上層1,900以下)		壁 付 発 信 器	〃	1,300
タンブラスイッチ	〃	1,300	ベ ル ー	〃	(天井高)×0.9
〃(身障者用)	〃	1,100	プ ッ タ ン	〃	(天井高)×0.9
コンセント(一般)	〃	300	押 ボ タ ン	〃	1,300
〃(和室)	〃	150	〃(身障者用押ボタン)	〃	900
〃(便所等)	〃	500	身 障 者 用 表 示 灯	〃	2,000
〃(台上)	台上~中心	150	夜 拂 ボ タ ン	〃	1,800
ブラケット(一般)	床上~中心	2,100			
〃(踊場)	〃	2,500			
〃(鏡上)	鏡上~中心	150			
避難口誘導灯	床上~下端	1,500以上	壁 付 イ ン タ ー ホ ン	床上~中心	1,500
廊下通路誘導灯	床上~上端	1,000以下	〃(身障者用)	〃	1,100
			壁 付 位 置 付 付 付		
			(壁付インターホンを除く)		
壁掛形制御盤	床上~中心	1,500	ホ ン	〃	300
	(上層1,900以下)		〃(和室)	〃	150
手元開閉器	〃	1,500			
操作スイッチ・押ボタン	〃	1,300	機 器 収 容 箱	床上~中心	(天井高)×0.9
			ア ウ ト レ ッ ト	〃	300
			〃(一般)	〃	150
			〃(和室)	〃	
室内端子盤	床上~下端	300	火 災		
中間端子盤	床上~中心	1,500	受 信 機	床上~操作部	800~1,500
			副 受 信 機	〃	800~1,500
			機 器 収 容 箱	床上~中心	800~1,500
			発 信 器	〃	800~1,500
			ベ ル ー	〃	(天井高)×0.9
			消 火 栓 表 示 灯	〃	(天井高)×0.8

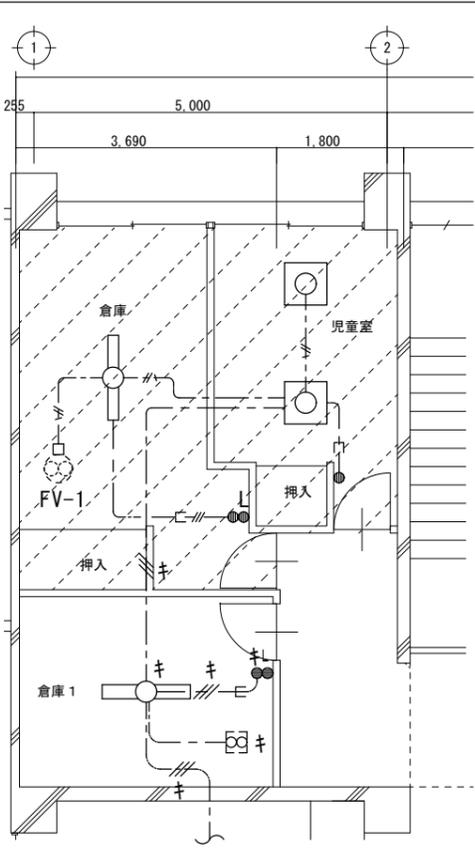
6 定期報告



2階 現況配線図 1:100

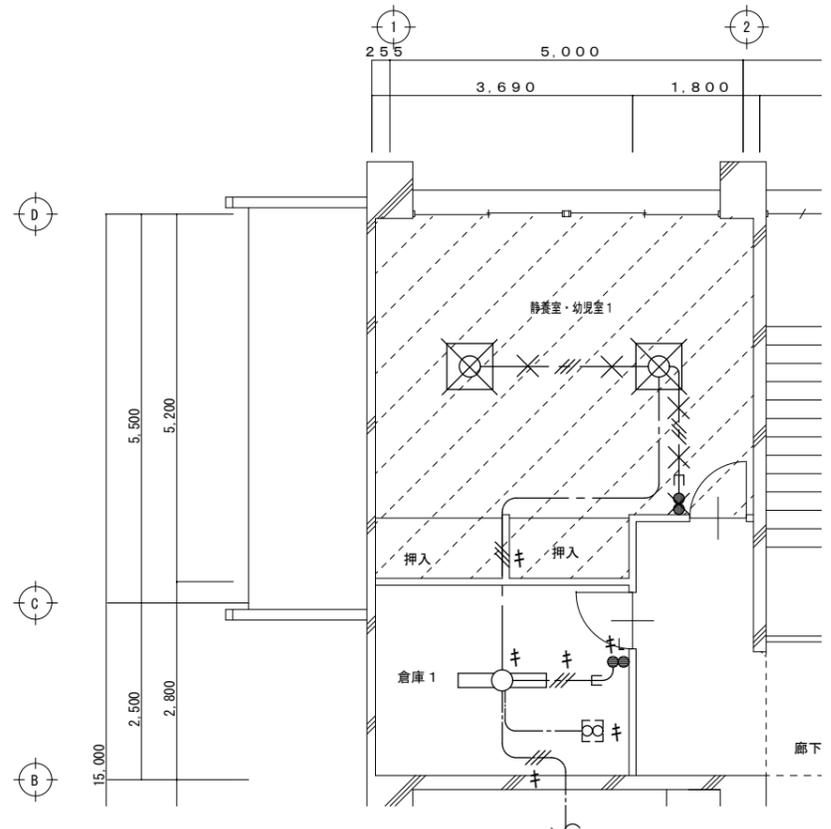
SP-1 LEDシーリングライト

昼光色 (6500K), Ra83/電球色 (2700K), Ra83
器具光束4500lm, 消費電力35.2W, 電圧100V
パナソニック LGBZ2808 参考型番



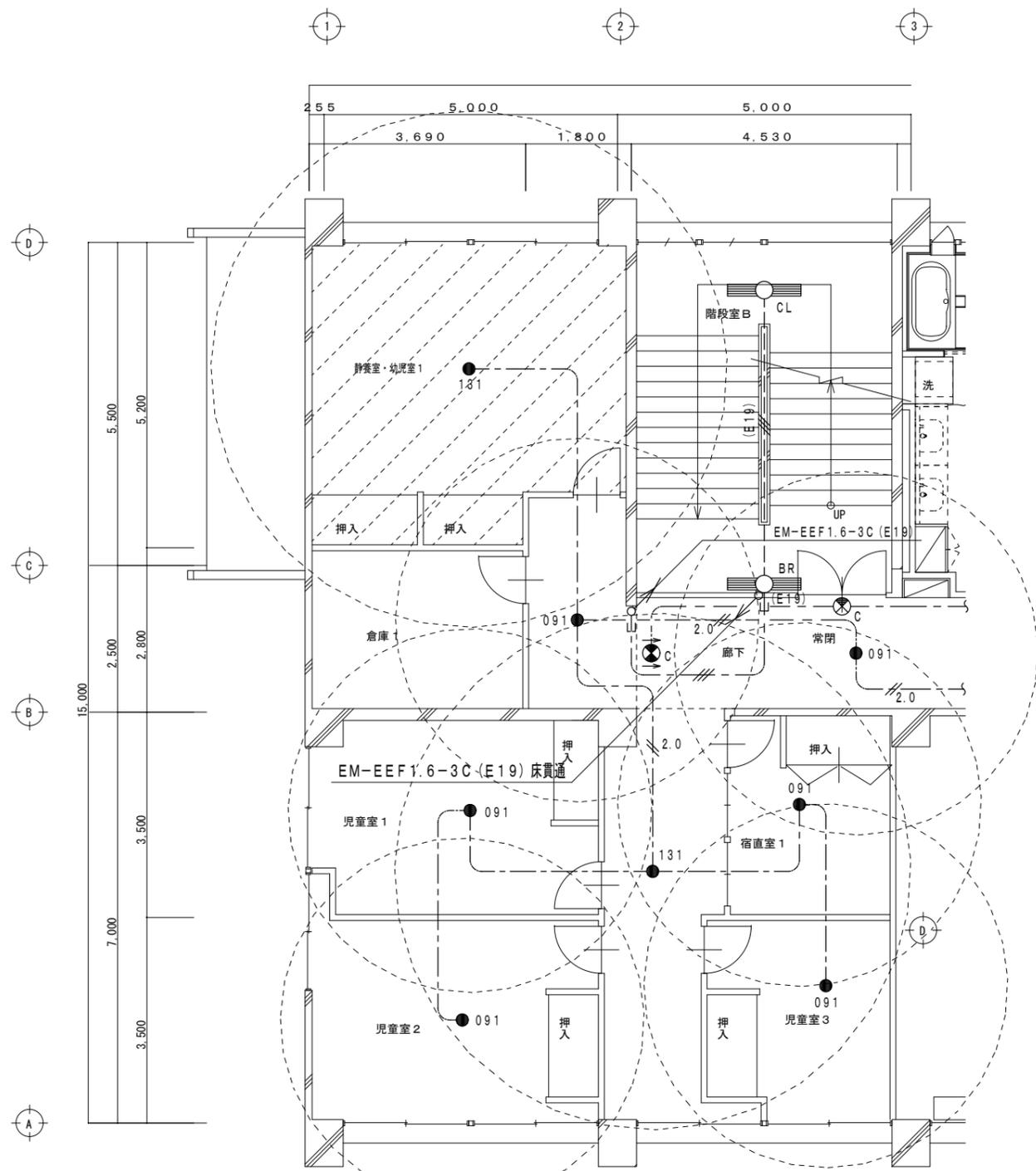
2階 改修後配線図 1:100

記号	名称及び仕様
---	EM-EEF 1.6 - 2C 天井内配線
-#-	EM-EEF 1.6 - 3C 天井内配線
-#-	EM-EEF 1.6 - 3C 1線アース 天井内配線
-#-	EM-EEF 2.0 - 3C 1線アース 天井内配線
-キ	キ印配線は現状のまま使用する
-ヨ	引下部 (PF) 管にてケーブル保護を示す。
○	LED照明器具 公共型番 LSS9-4-23
○	LED照明器具 SP-1
●	埋込スイッチ 1P15A 金属プレート
●L	埋込スイッチ 1P4A 金属プレート
□FV-1	天井換気扇 100V 22.5W (別途機械設備工事)
キ	キ印機器類は、現状のまま使用する

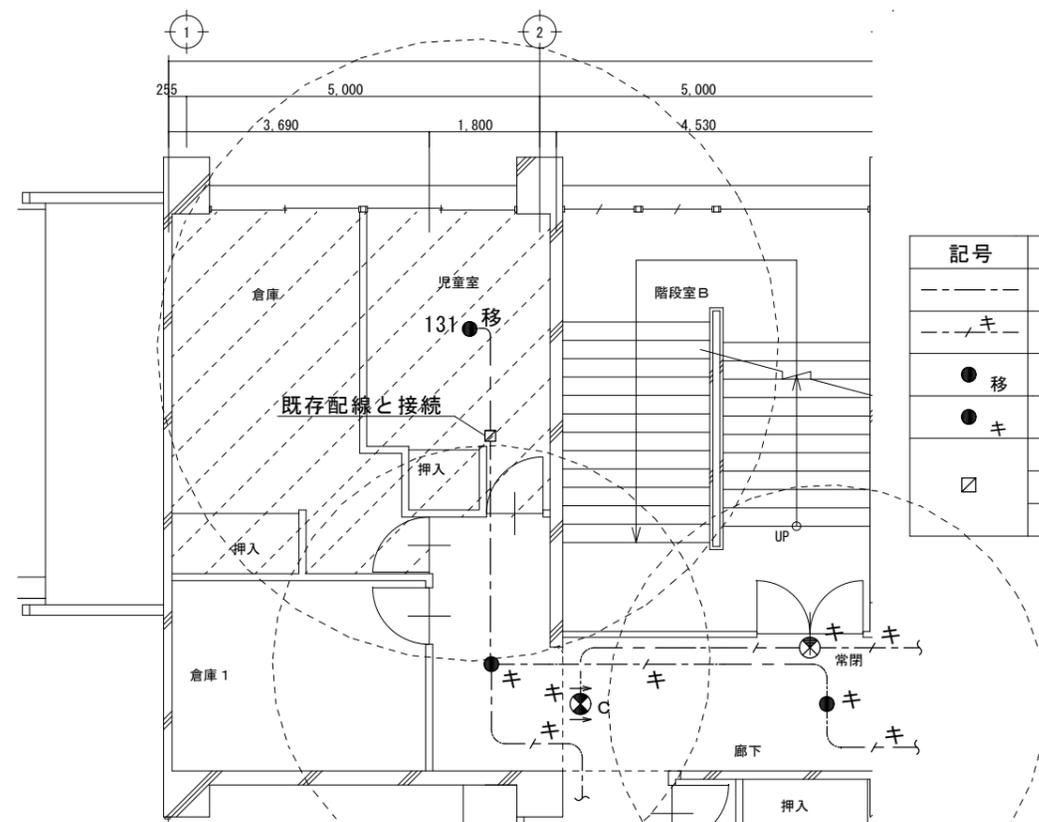


2階 撤去配線図 1:100

記号	名称及び仕様
X//X	EM-EEF 1.6 - 3C 天井内配線 撤去を示す
-キ	キ印配線は現状のまま使用する
X	LED照明器具 J851 FHD85W x 1 シーリングライト (6~10帖) 撤去を示す
X	埋込スイッチ 1P15P x 2 金属プレート 撤去を示す
●キ	キ印機器類は、現状のまま使用する

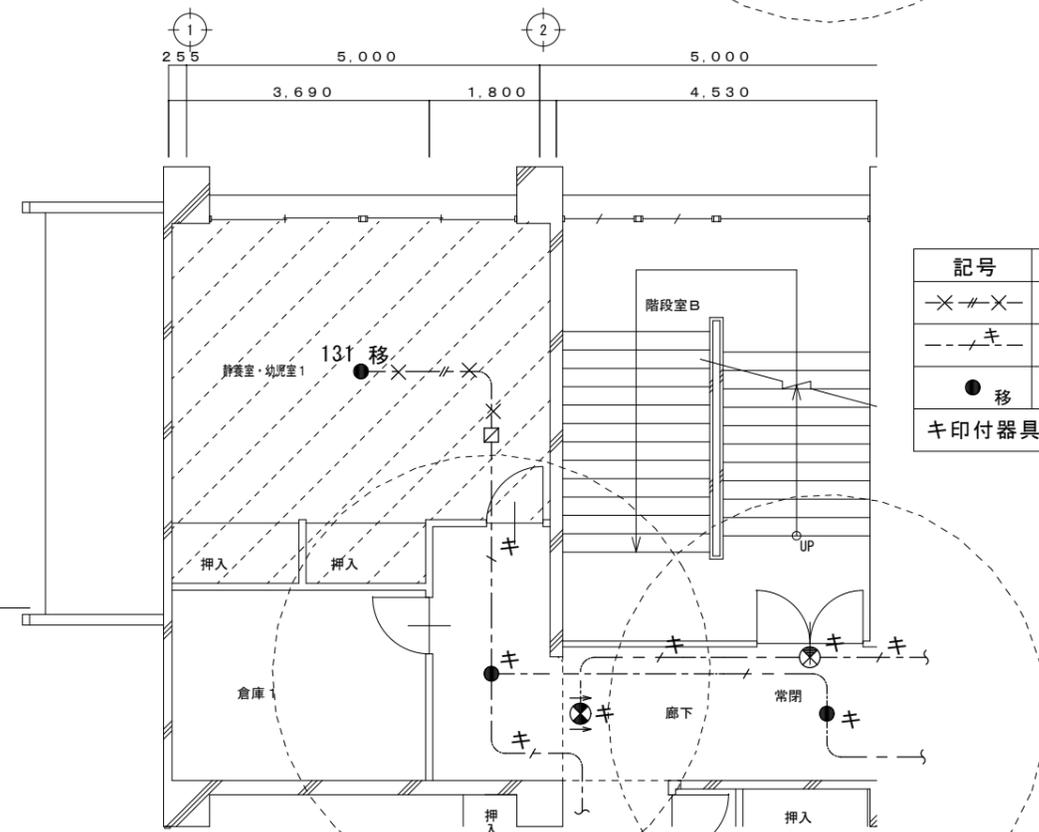


2階 現況配線図 1:100



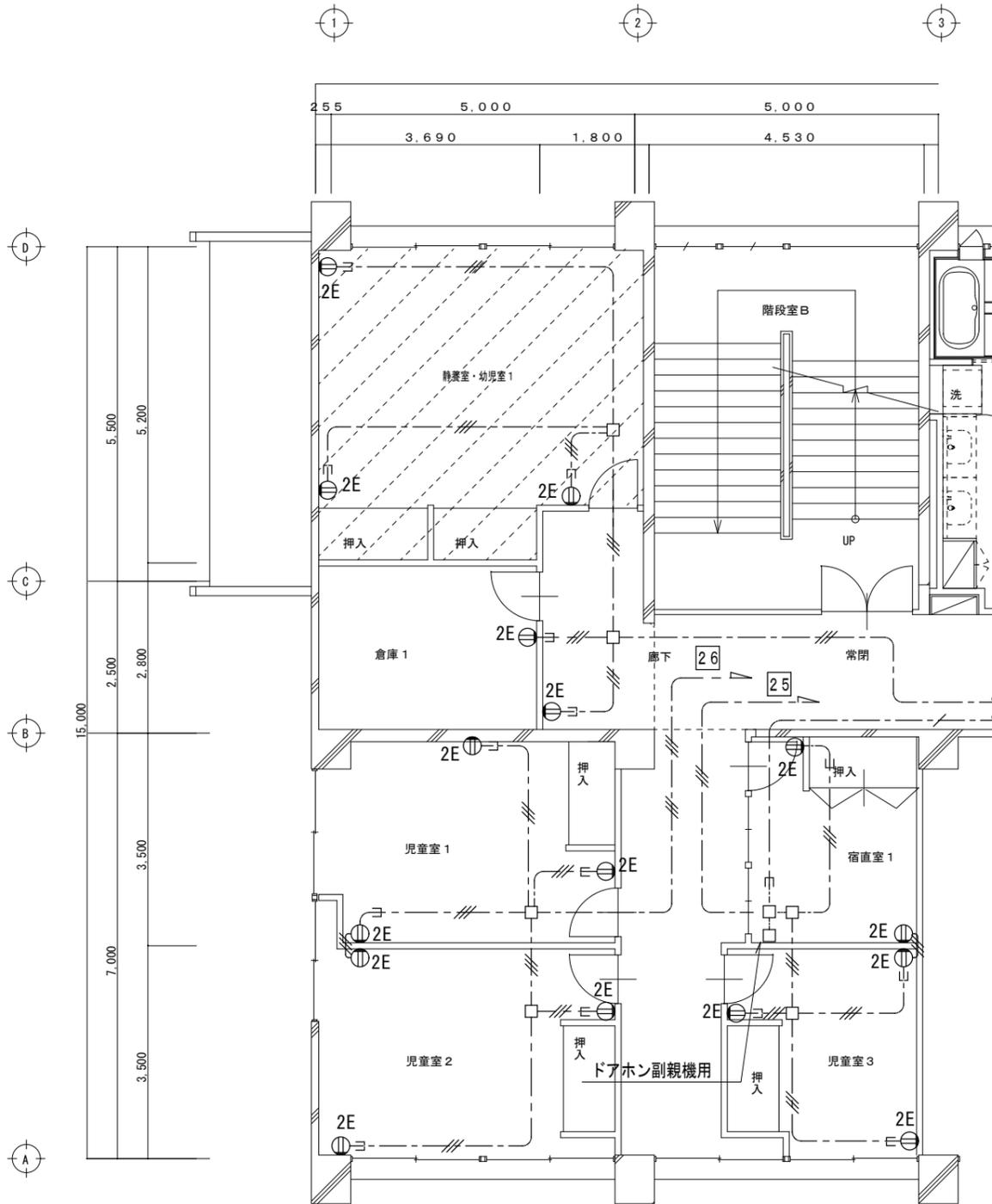
2階 改修後配線図 1:100

記号	名称及び仕様
--- EM-EEF 2.0 - 2C	天井内配線
--- キ ---	既存配線 現状のまま使用
● 移	既存非常灯 JE13W 移設再取付
● キ	既存非常灯 現状のまま使用
□	ジョイントボックス
	VE 四角中深 カバー付
	既存配線と接続用

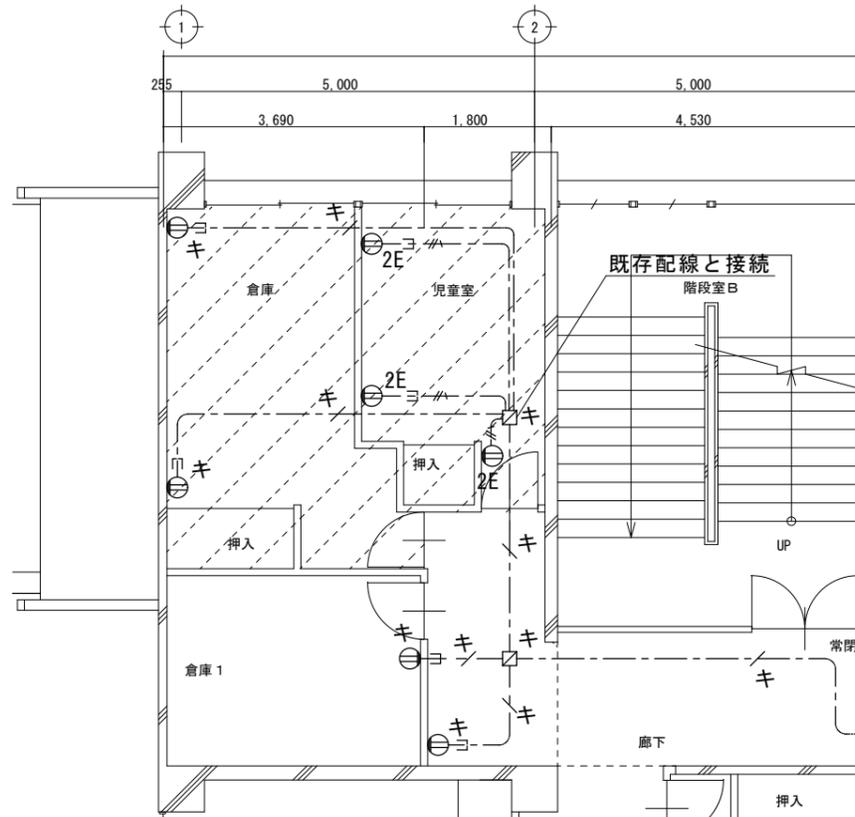


2階 撤去配線図 1:100

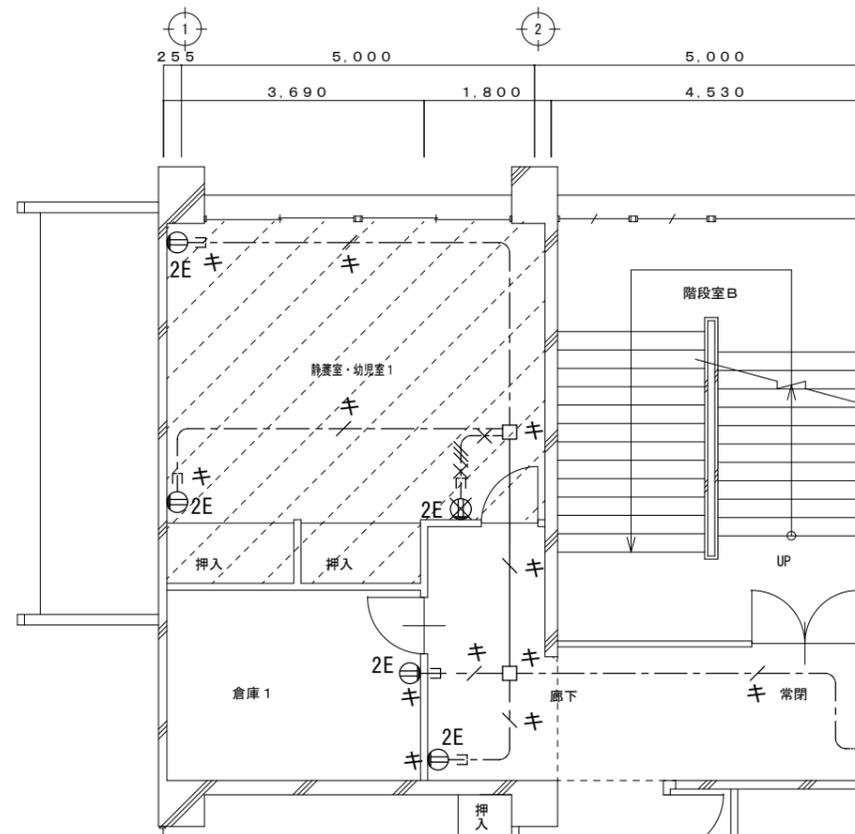
記号	名称及び仕様
--- X/X ---	EM-EEF 2.0 - 2C 撤去
--- キ ---	既存配線 現状のまま使用
● 移	既存非常灯 JE13W 移設再取付
キ印付器具 配線は現状のまま使用	



2階 現況配線図 1:100



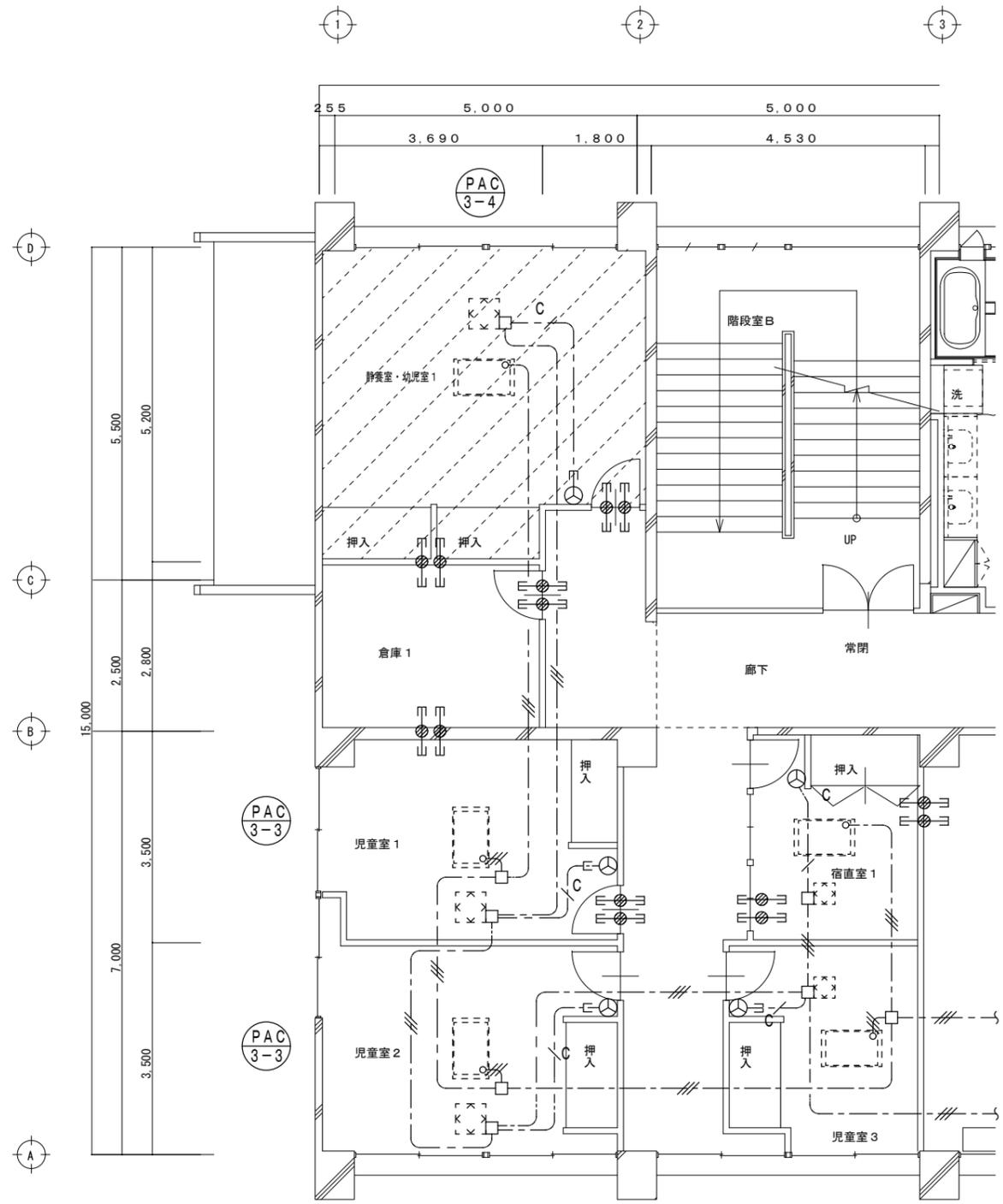
2階 改修後配線図 1:100



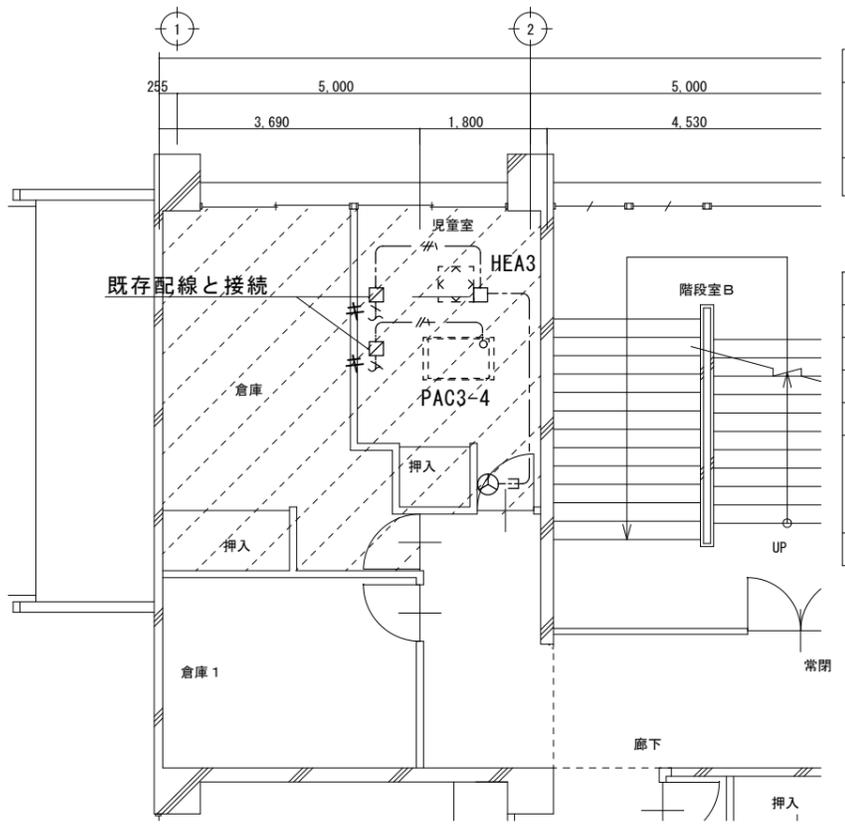
2階 撤去配線図 1:100

記号	名称及び仕様
---#---	EM-EEF 2.0 - 3C 1線アース 天井内配線
---キ---	既存配線 現状のまま使用
---ヨ---	引下部 (PF) 管にてケーブル保護を示す。
⊖ 2E	埋込コンセント 接地2P15A×2 金属プレート
⊖ キ	既存コンセント 現状のまま使用
☒	既存ジョイントボックス現状のまま使用

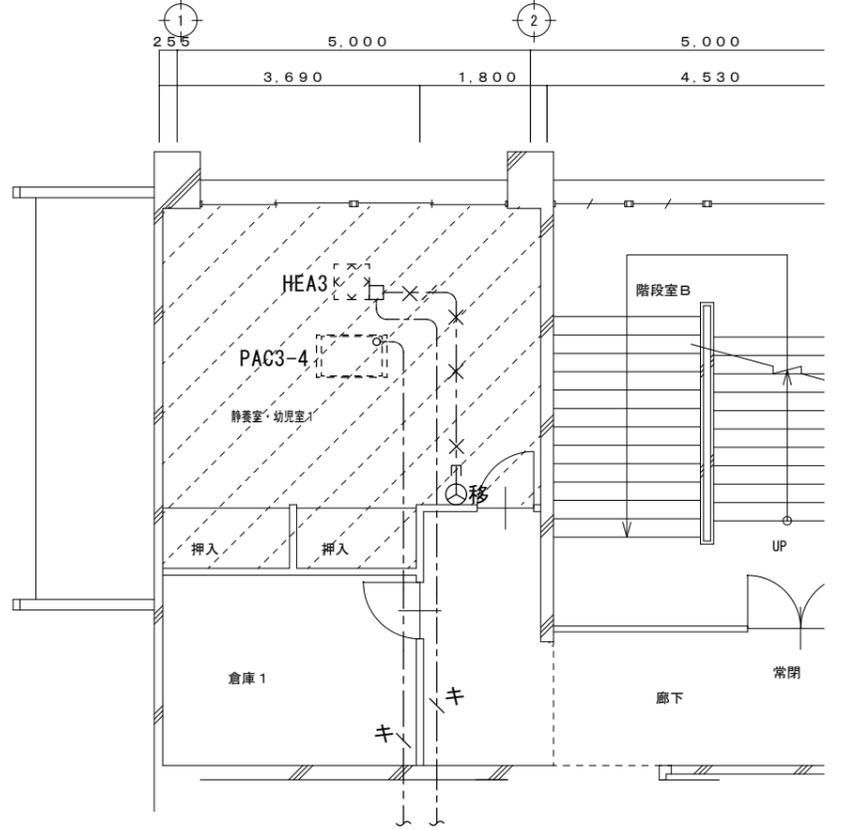
記号	名称及び仕様
×#×	EM-EEF 2.0 - 3C 撤去
---キ---	既存配線 現状のまま使用
⊖ 2E	コンセント 撤去 接地2P15A×2 金属プレート



2階 現況配線図 1:100



2階 改修後配線図 1:100



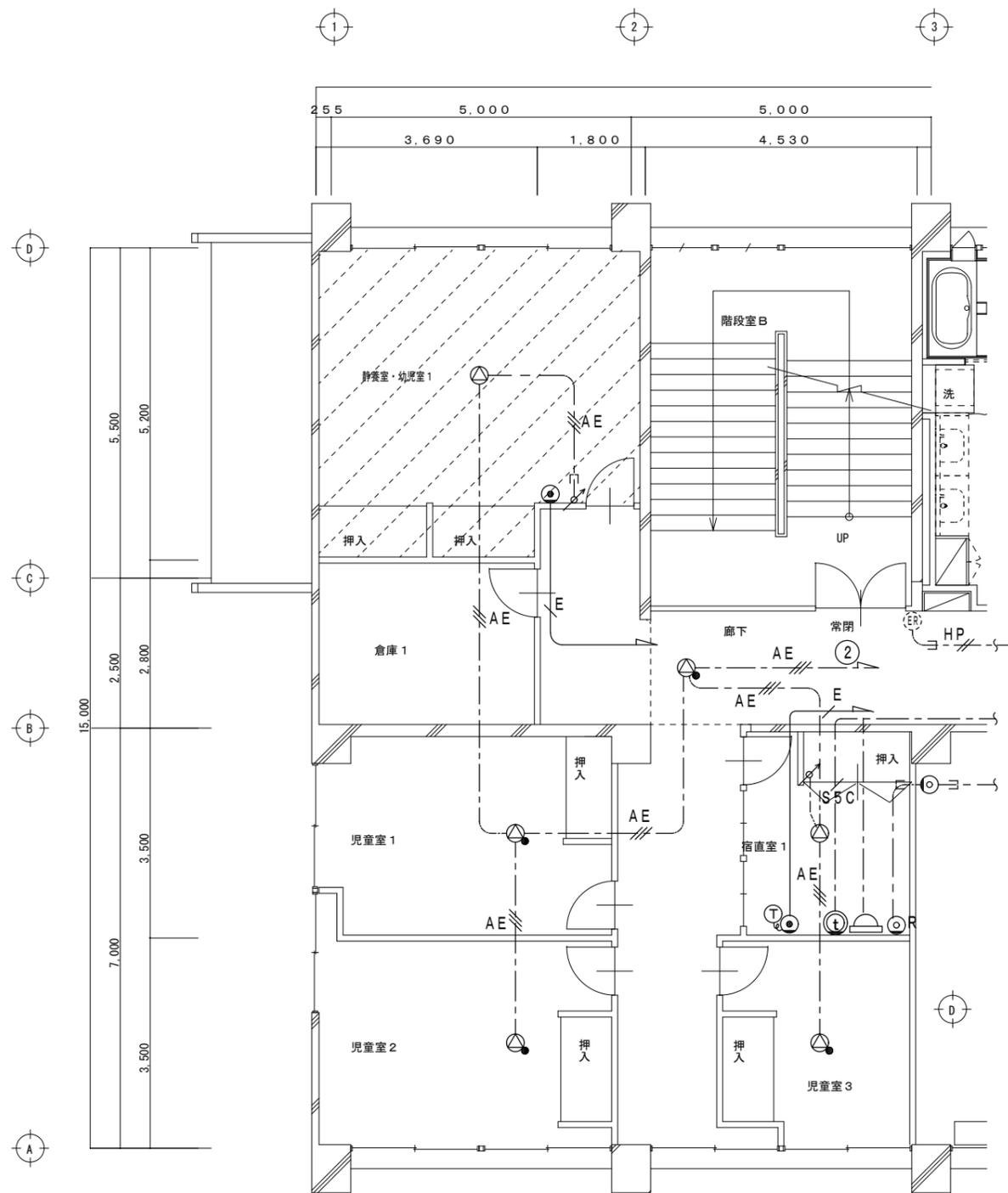
2階 撤去配線図 1:100

記号	機器名称	消費電力
PAC3-4	マルチパッケージ形 空気調和機	1φ200V 80W
HEA3	空調換気扇	1φ100V 195W

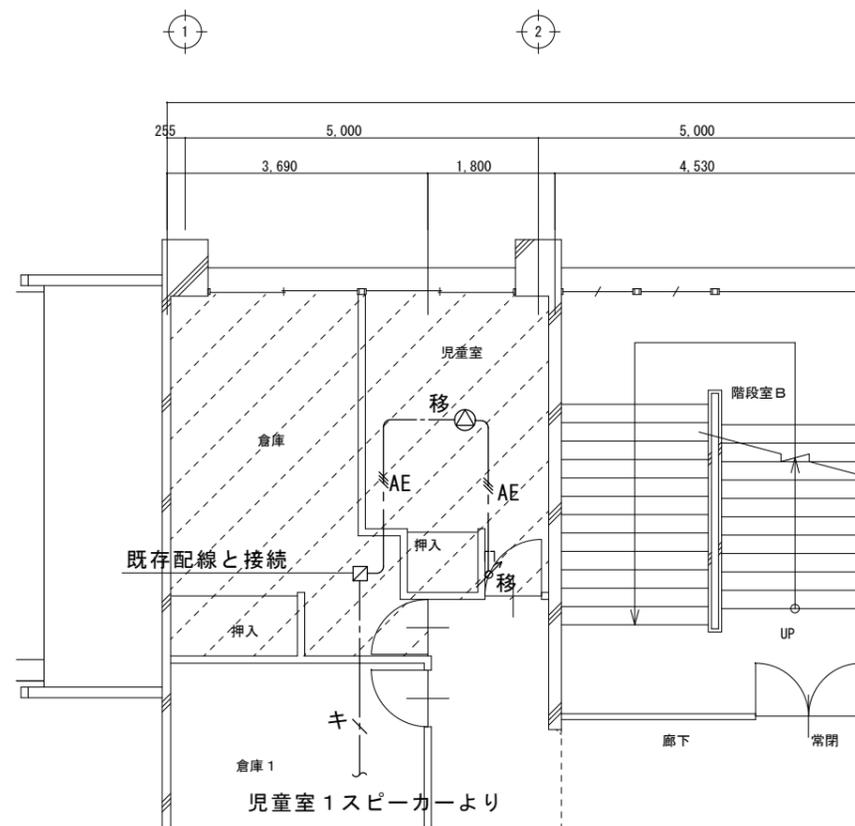
機器類機械設備工事 電源接続本工事

記号	名称及び仕様
---	EM-EEF 1.6 - 2C 天井内配線
—/—	EM-EEF 1.6 - 3C 1線アース 天井内配線
—ヨ—	引下部 (PF) 管にてケーブル保護を示す。
—キ	既存配線現状のまま使用を示す。
☐	ジョイントボックス VE 四角中深 カバー付 既存配線と接続用
⊙移	空調換気扇用スイッチ 移設再取付

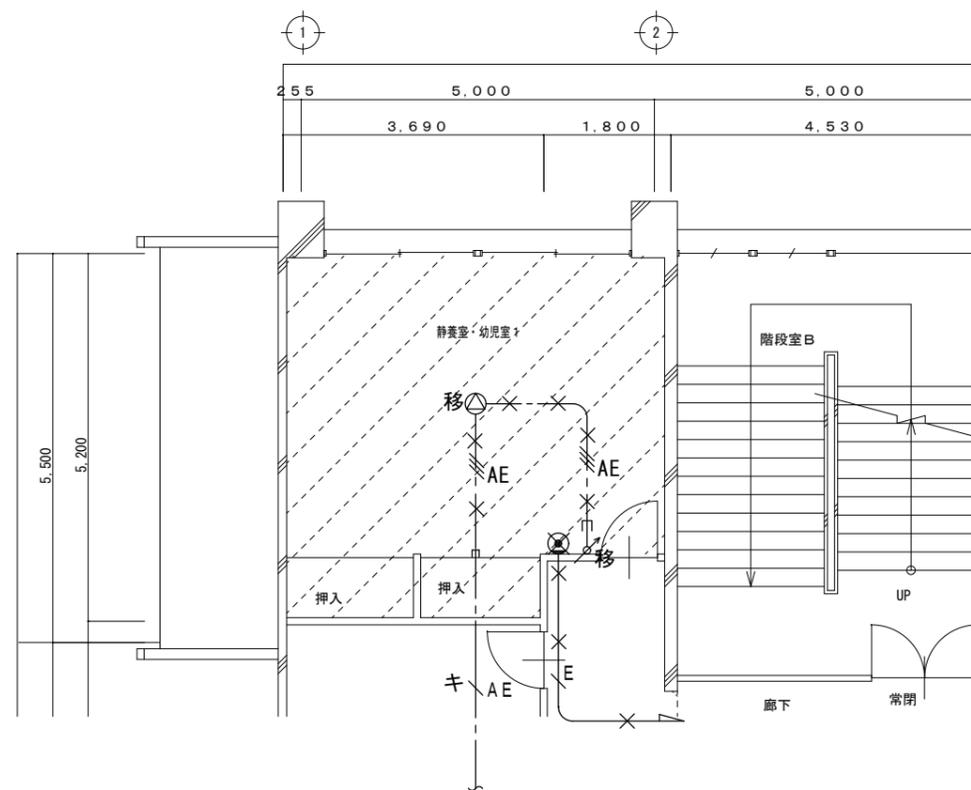
記号	名称及び仕様
X-X	VV-F 1.6 -2C 撤去 天井内配線
—キ	既存配線現状のまま使用を示す。
⊙移	空調換気扇用スイッチ 移設



2階 現況配線図 1:100



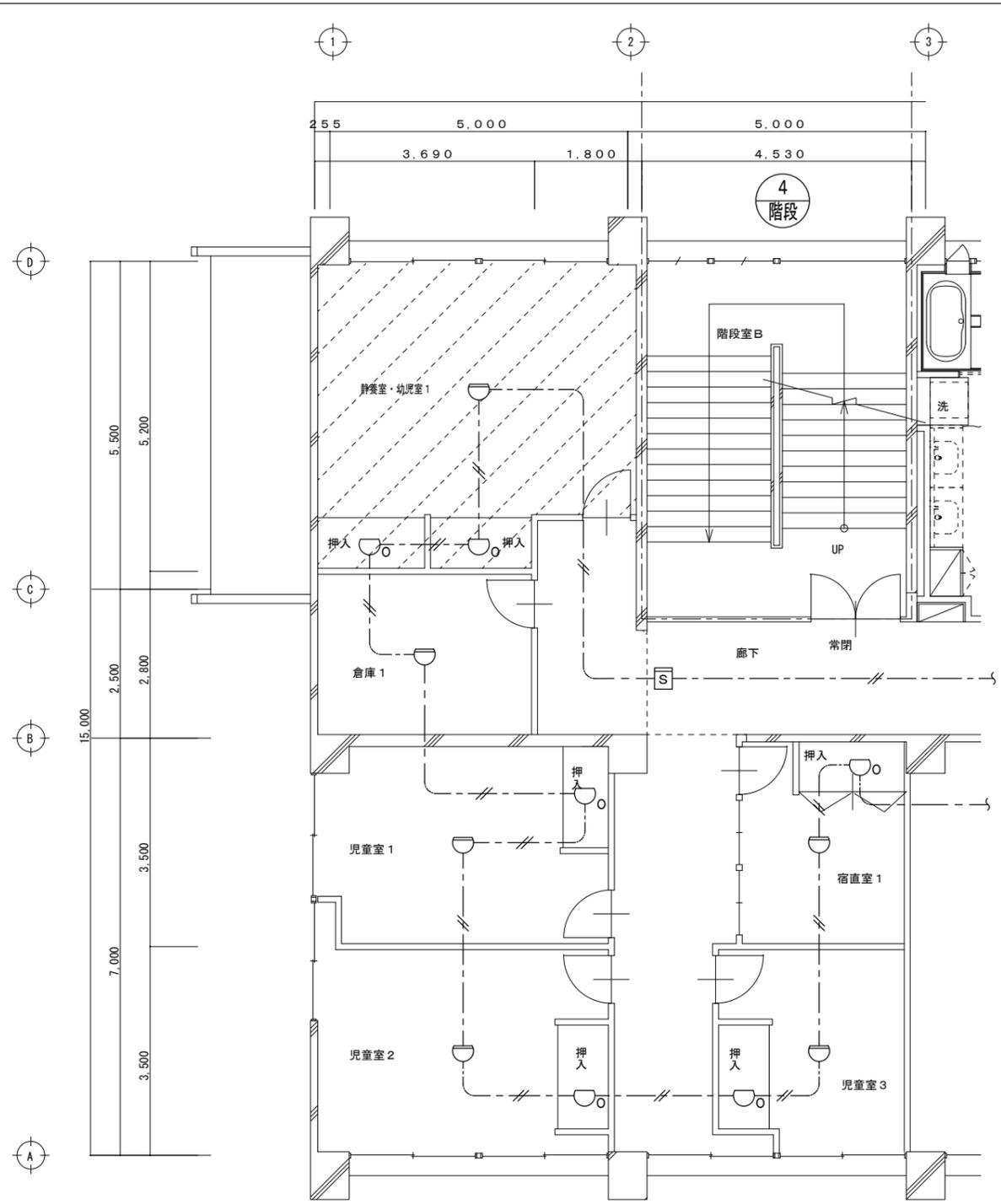
2階 改修後配線図 1:100



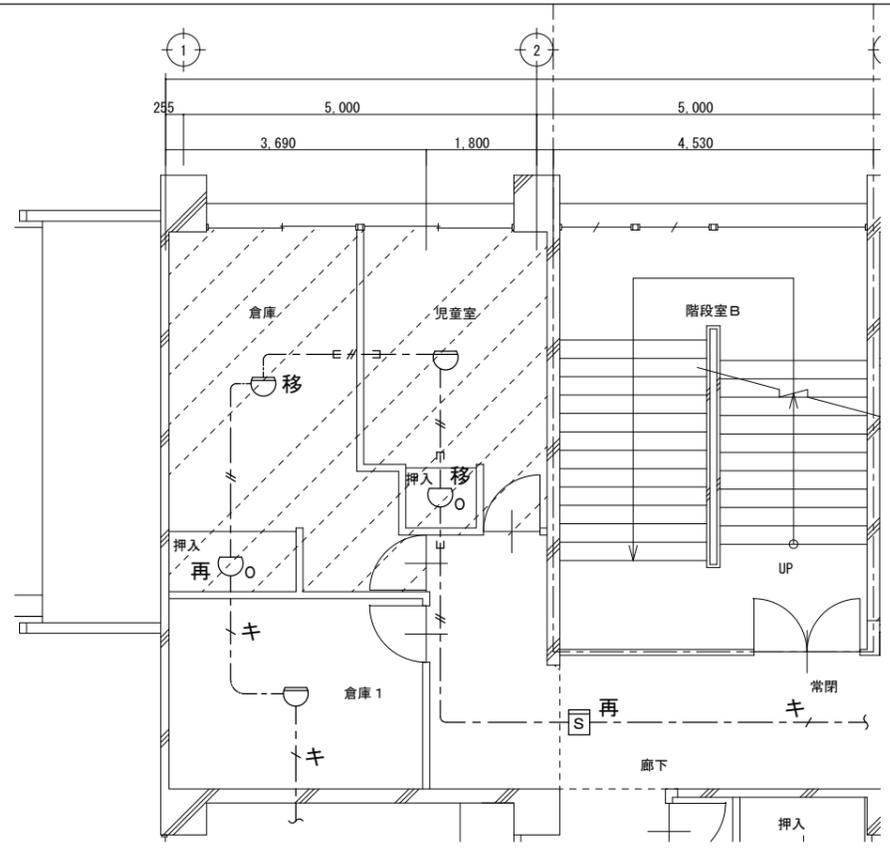
2階 撤去配線図 1:100

記号	名称及び仕様
AE	EM-AE 1.2 - 3C 天井内配線
キ	既存配線 現状のまま使用
移	天井埋込スピーカー 既存移設再取付
移	アッテネーター 既存移設再取付
□	ジョイントボックス VE 四角中深 カバー付 既存配線と接続用

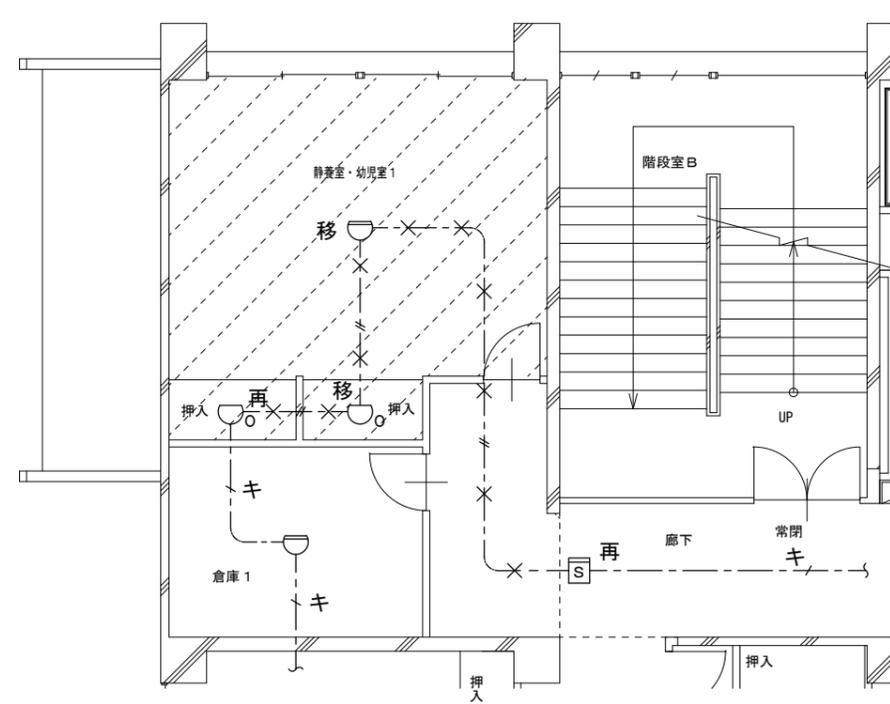
記号	名称及び仕様
× E ×	EM-EBT 0.4 - 2P 撤去
× AE ×	EM-AE 1.2 - 3C 撤去
●	電話用アウトレット 撤去
移	天井埋込スピーカー 移設
移	アッテネーター 移設



2階 現況配線図 1:100



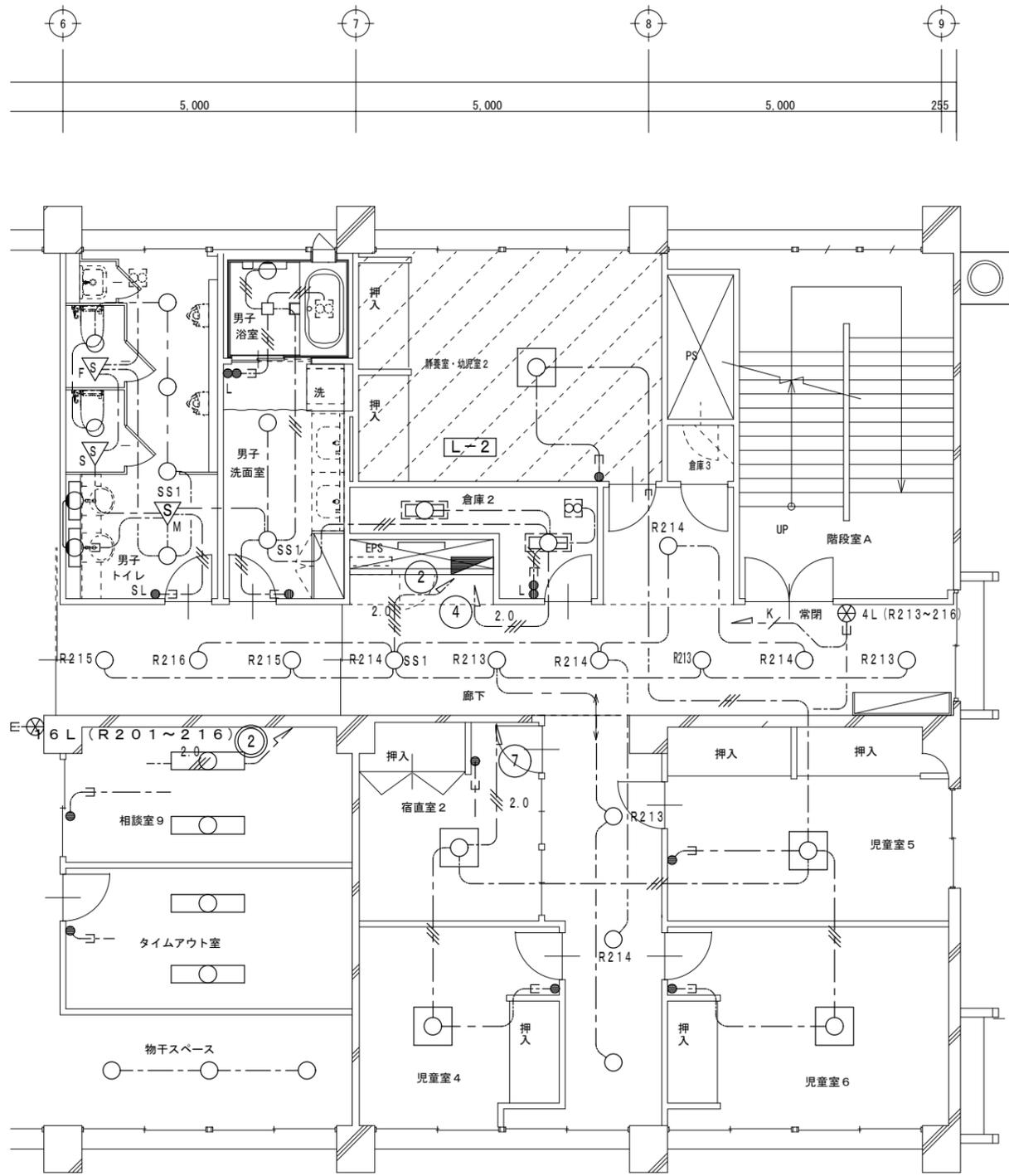
2階 改修後配線図 1:100



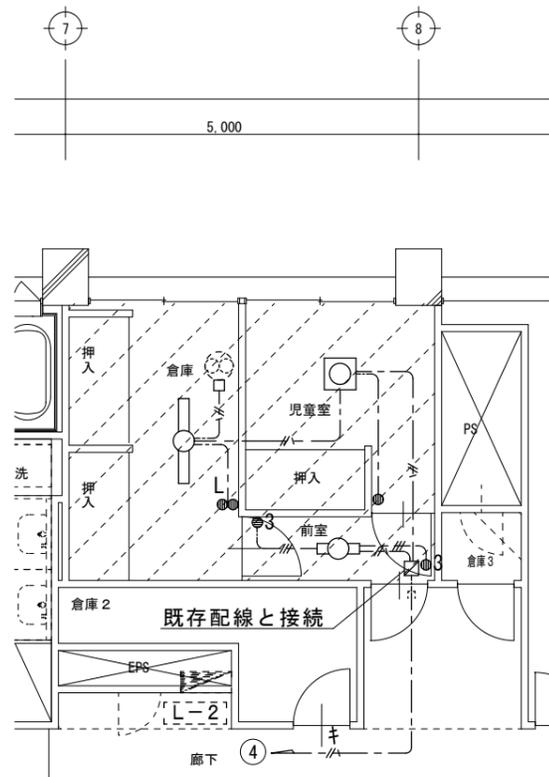
2階 撤去配線図 1:100

記号	名称及び仕様
EM-AE 0.9 - 2C	天井内配線
---キ---	既存配線 現状のまま使用
---	引下部 (PF) 管にてケーブル保護を示す。
○	差動式スポット感知器 2種露出 新設
○ 移	差動式スポット感知器 既存移設再取付
○ 移	定温式スポット感知器 特種 既存移設再取付
○ 再	定温式スポット感知器 特種 取外・取付
□ 再	光電式煙感知器 取外・取付

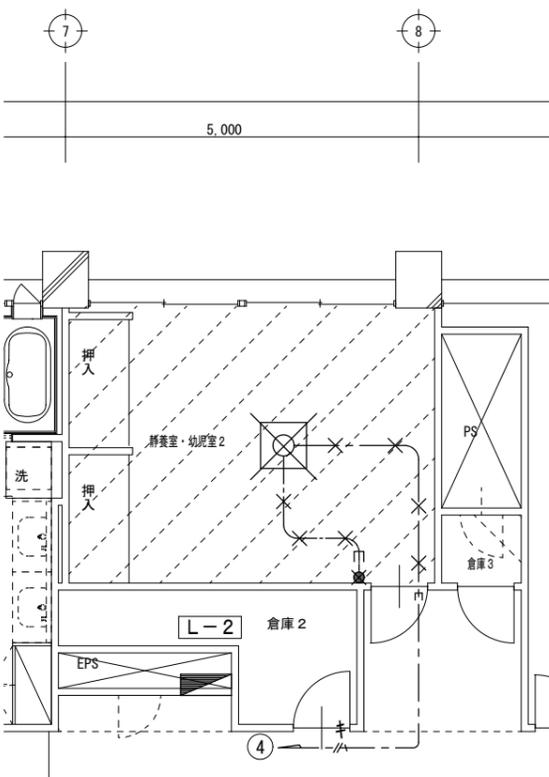
記号	名称及び仕様
×---×	EM-AE 0.9 - 2C 撤去
---キ---	既存配線 現状のまま使用
○ 移	差動式スポット感知器 現状のまま使用
○ 移	定温式スポット感知器 特種 現状のまま使用
○ 再	定温式スポット感知器 特種 現状のまま使用
□ 再	光電式煙感知器 現状のまま使用



2階 現況配線図 1:100



2階 改修後配線図 1:100



2階 撤去配線図 1:100

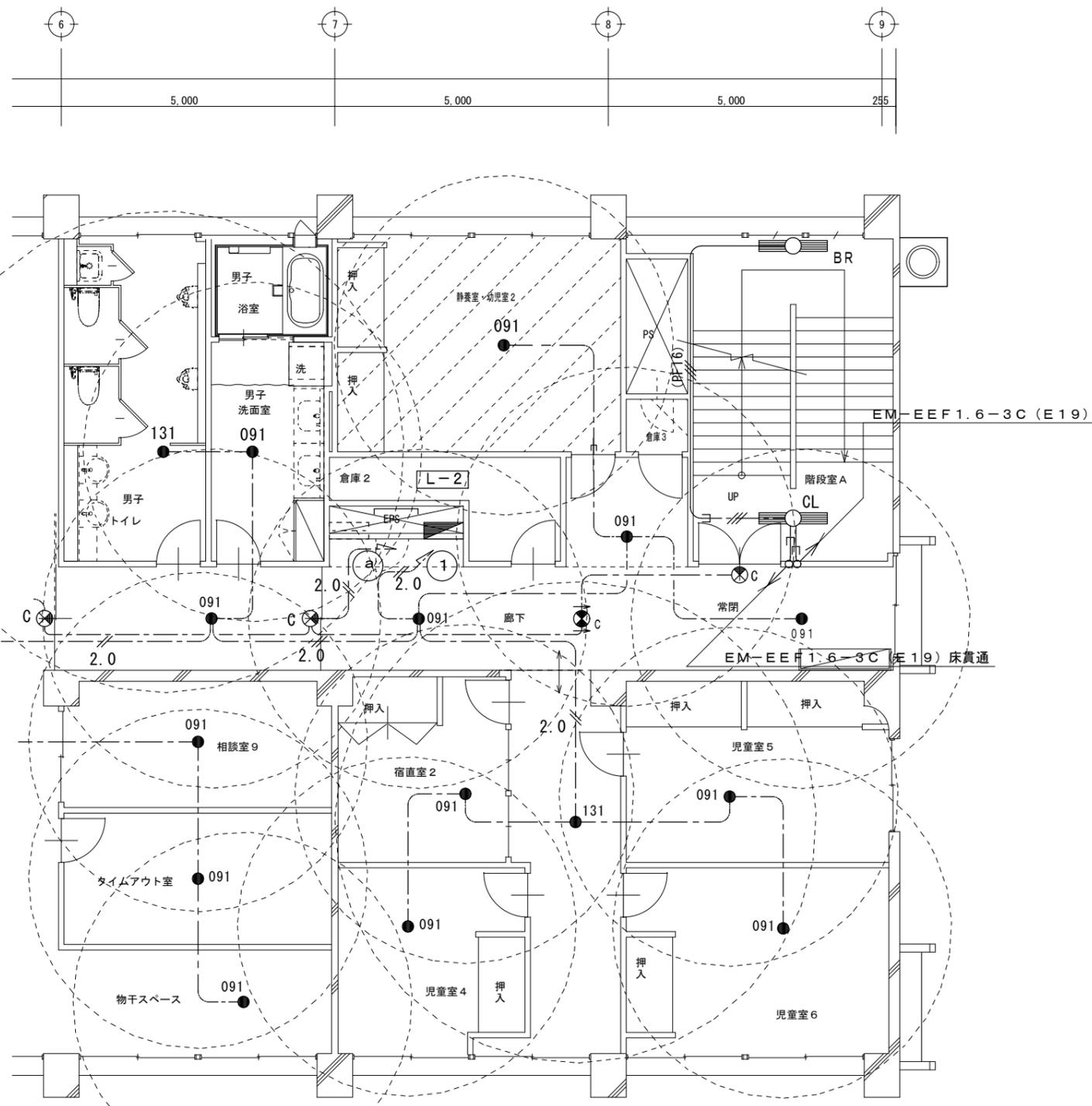
記号	名称及び仕様
---	EM-EEF 1.6 - 2C 天井内配線
-#-	EM-EEF 1.6 - 3C 天井内配線
-/-	EM-EEF 1.6 - 3C 1線アース 天井内配線
-/-	EM-EEF 2.0 - 3C 1線アース 天井内配線
-キ-	キ印配線は現状のまま使用する
○	LED照明器具 公共型番 LSS9-4-23
○	LED照明器具 公共型番 LSS10-2-15
○	LED照明器具 SP-1
●	埋込スイッチ 1P15A 金属プレート
●L	埋込スイッチ 1P4A 金属プレート
●3	埋込スイッチ 3W15A 金属プレート
□	アウトレットボックス 四角中浅カバー付
○FV-1	天井換気扇 100V 22.5W (別途機械設備工事)
□	ジョイントボックス
□	VE 四角中深 カバー付
	既存配線と接続用

SP-1 LEDシーリングライト

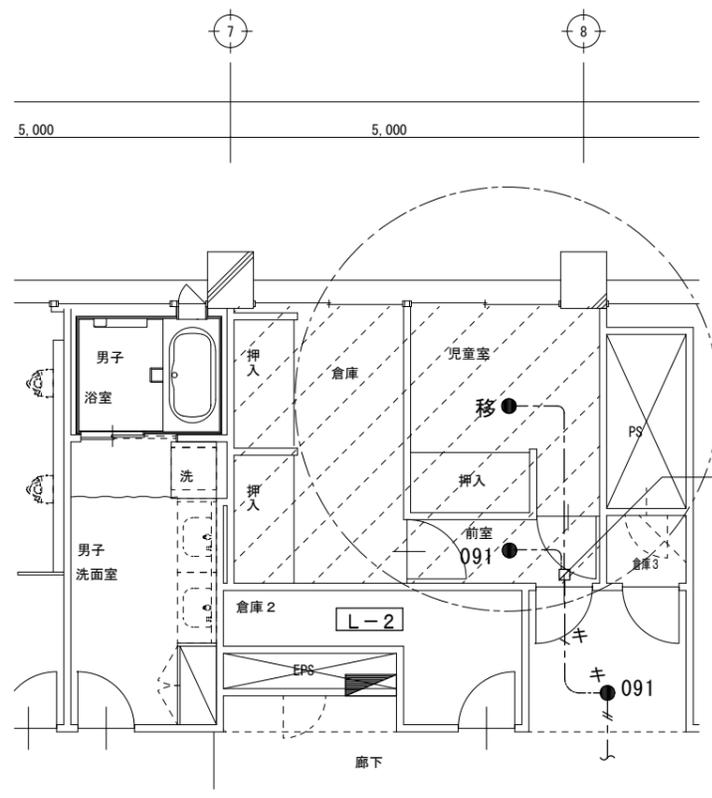
昼光色 (6500K), Ra83/電球色 (2700K), Ra83
器具光束4500lm, 消費電力35.2W, 電圧100V

パナソニック LGBZ2808 参考型番

記号	名称及び仕様
×-×	EM-EEF 1.6 - 2C 天井内配線 撤去を示す
×/-×	EM-EEF 1.6 - 3C 天井内配線 撤去を示す
-キ-	キ印配線は現状のまま使用する
⊗	LED照明器具 J851 FHD85W×1 シーリングライト (6~10帖) 撤去を示す
⊗	埋込スイッチ 1P15P×2 金属プレート 撤去を示す

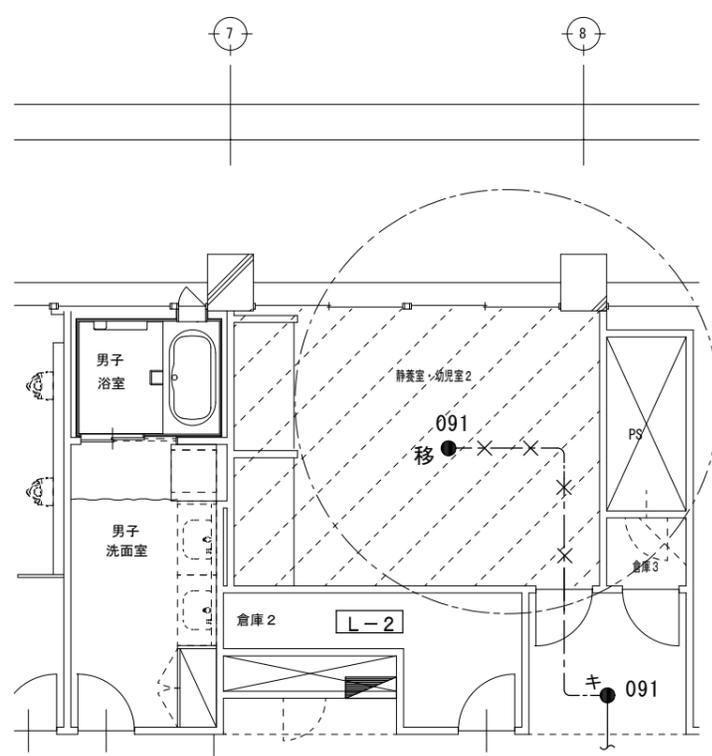


2階 現況配線図 1:100



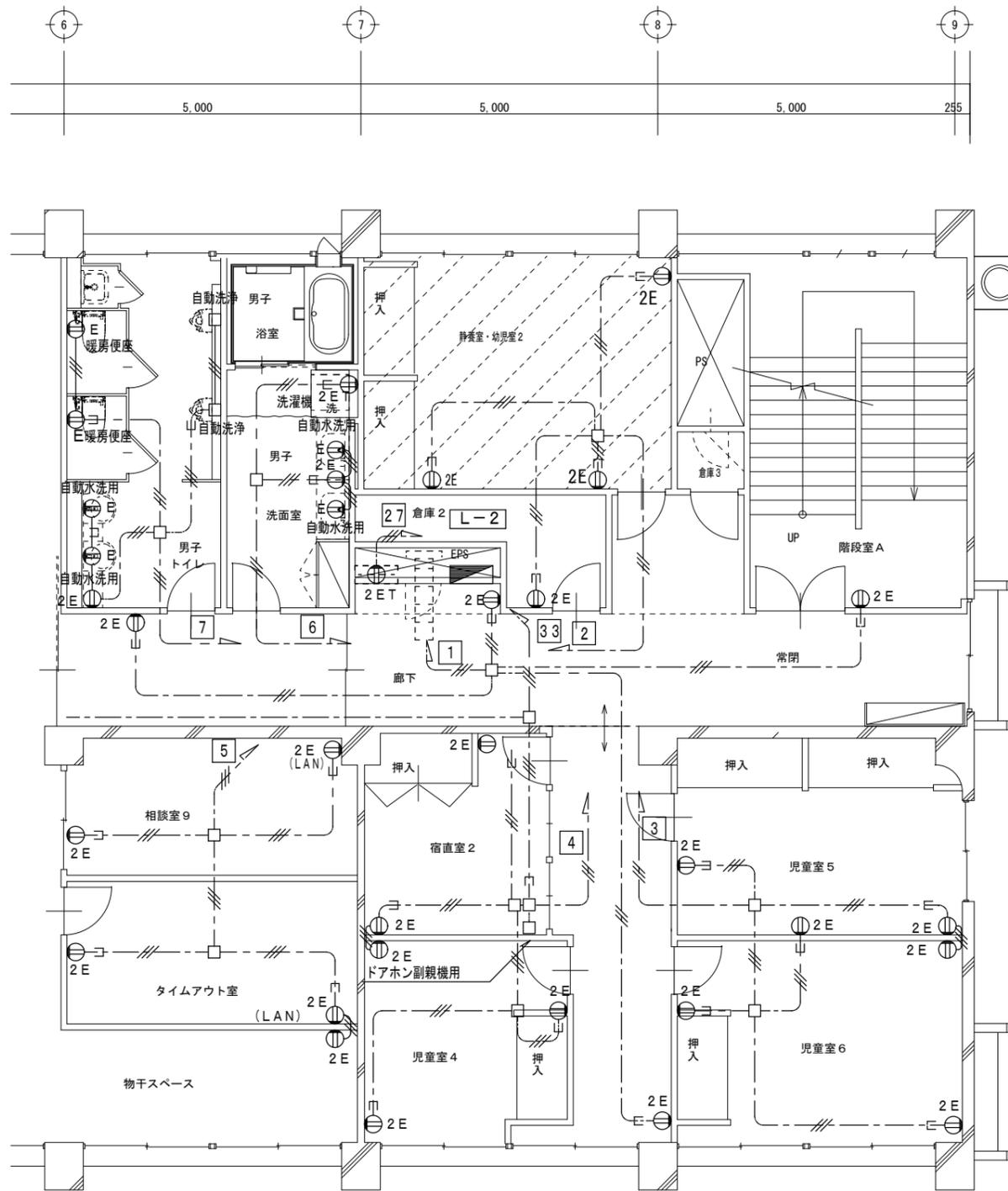
2階 改修後配線図 1:100

記号	名称及び仕様
---	EM-EEF 2.0 - 2C 天井内配線
---	既存配線 現状のまま使用
●091	新設非常灯 K1-LRS11-1
●移	既存非常灯 JE13W 移設再取付
●キ	既存非常灯 現状のまま使用
□	ジョイントボックス VE 四角中深 カバー付 既存配線と接続用

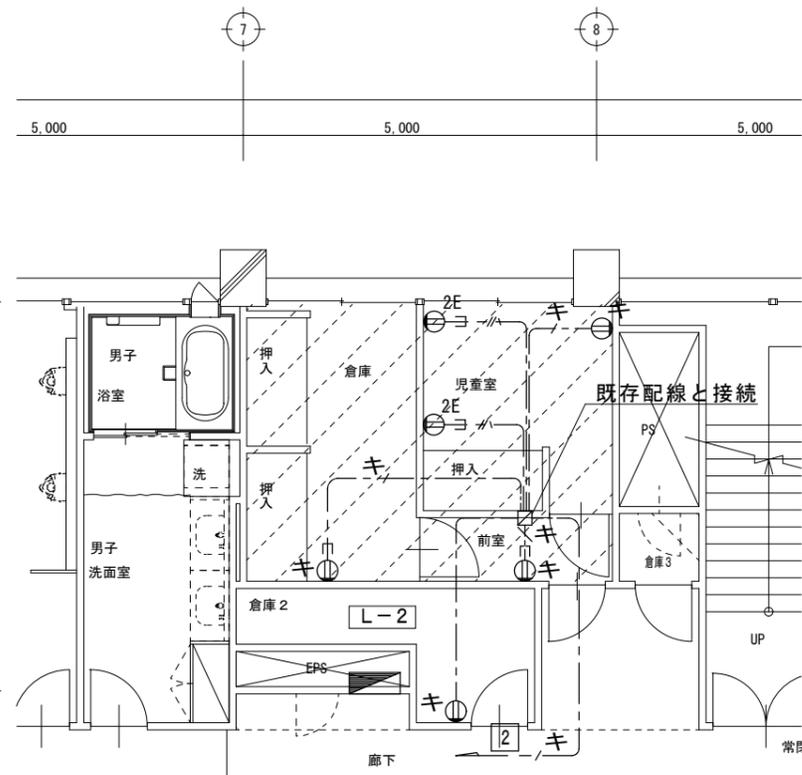


2階 撤去配線図 1:100

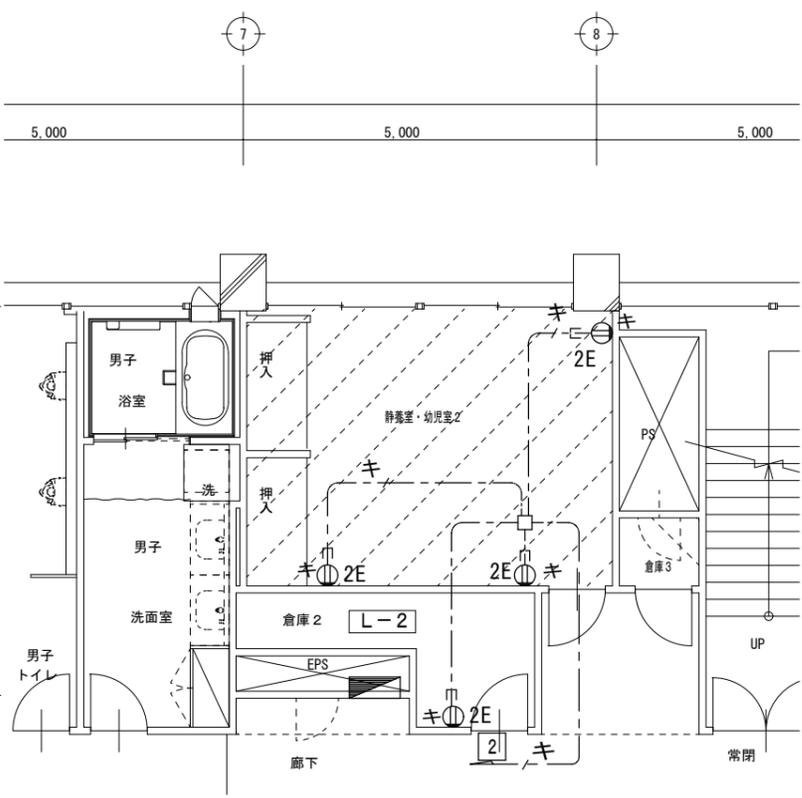
記号	名称及び仕様
×/×/×	EM-EEF 2.0 - 2C 天井内配線 撤去
---	既存配線 現状のまま使用
●移	既存非常灯 JE13W 移設再取付
●キ	既存非常灯 現状のまま使用



2階 現況配線図 1:100



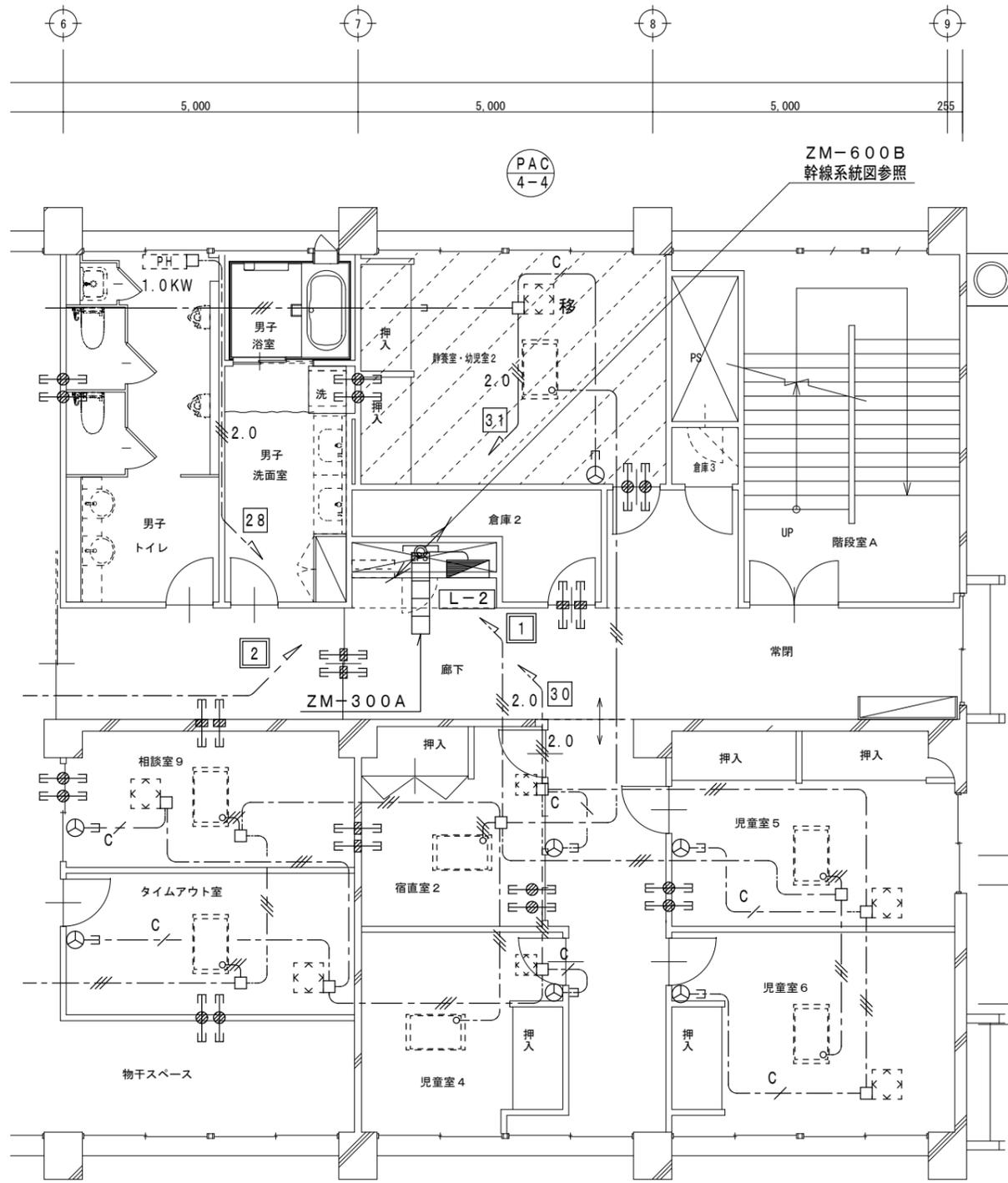
2階 改修後配線図 1:100



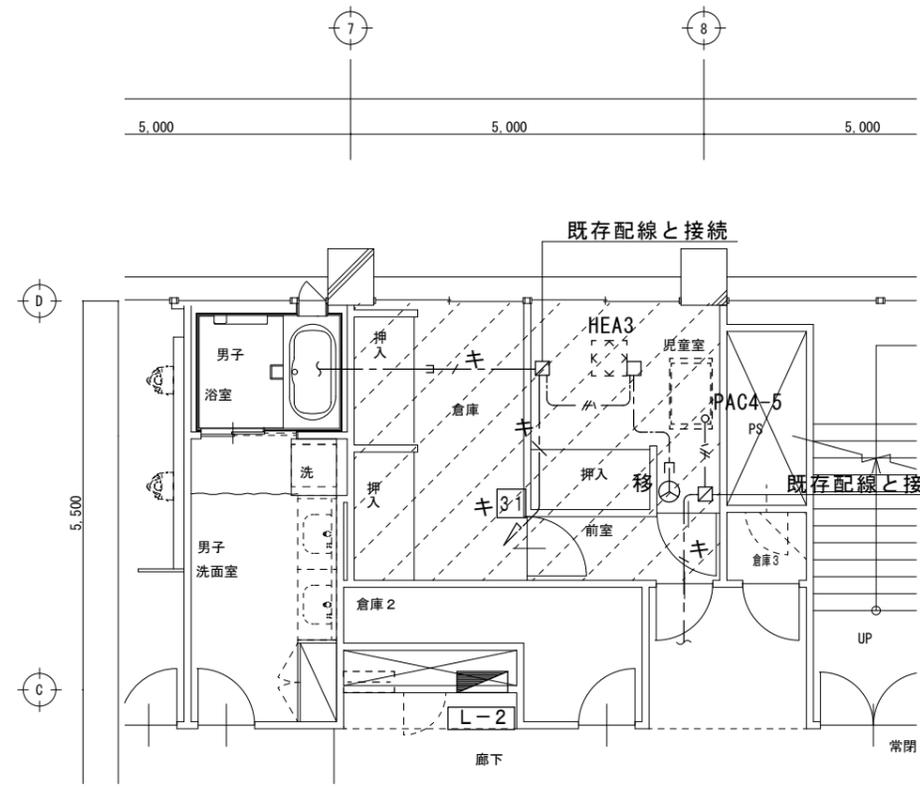
2階 撤去配線図 1:100

記号	名称及び仕様
---	EM-EEF 2.0 - 3C 1線アース 天井内配線
---	既存配線 現状のまま使用
⊖ 2E	埋込コンセント 接地2P15A×2 金属プレート
⊖ キ	既存コンセント 現状のまま使用
□	既存ジョイントボックス現状のまま使用

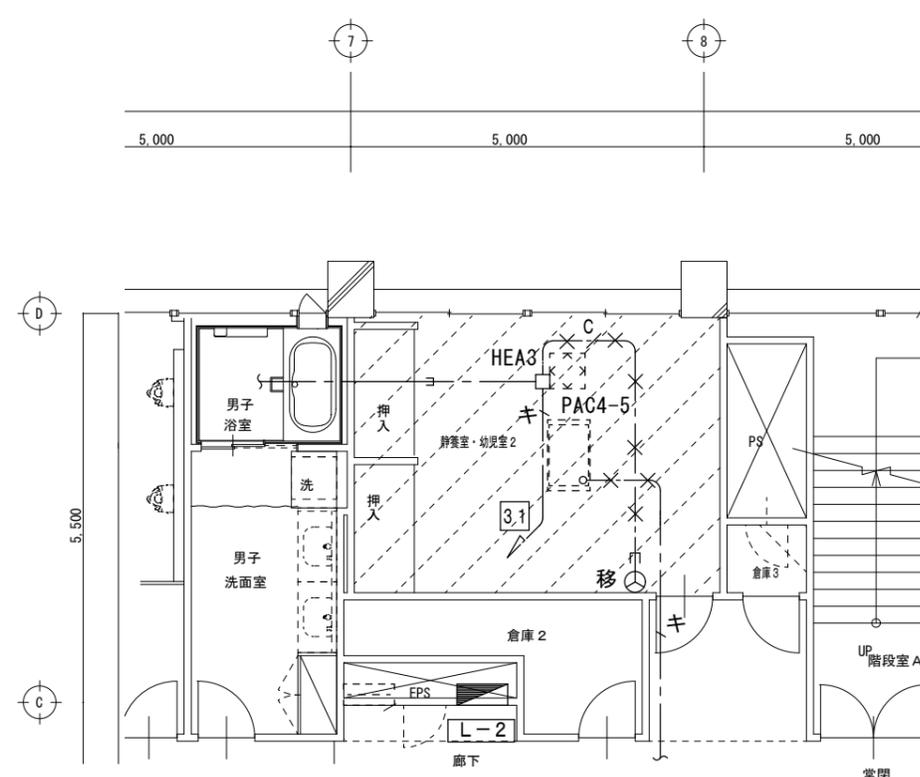
記号	名称及び仕様
---	既存配線 現状のまま使用
⊖ 2E	既存コンセント 現状のまま使用



2階 現況配線図 1:100



2階 改修後配線図 1:100



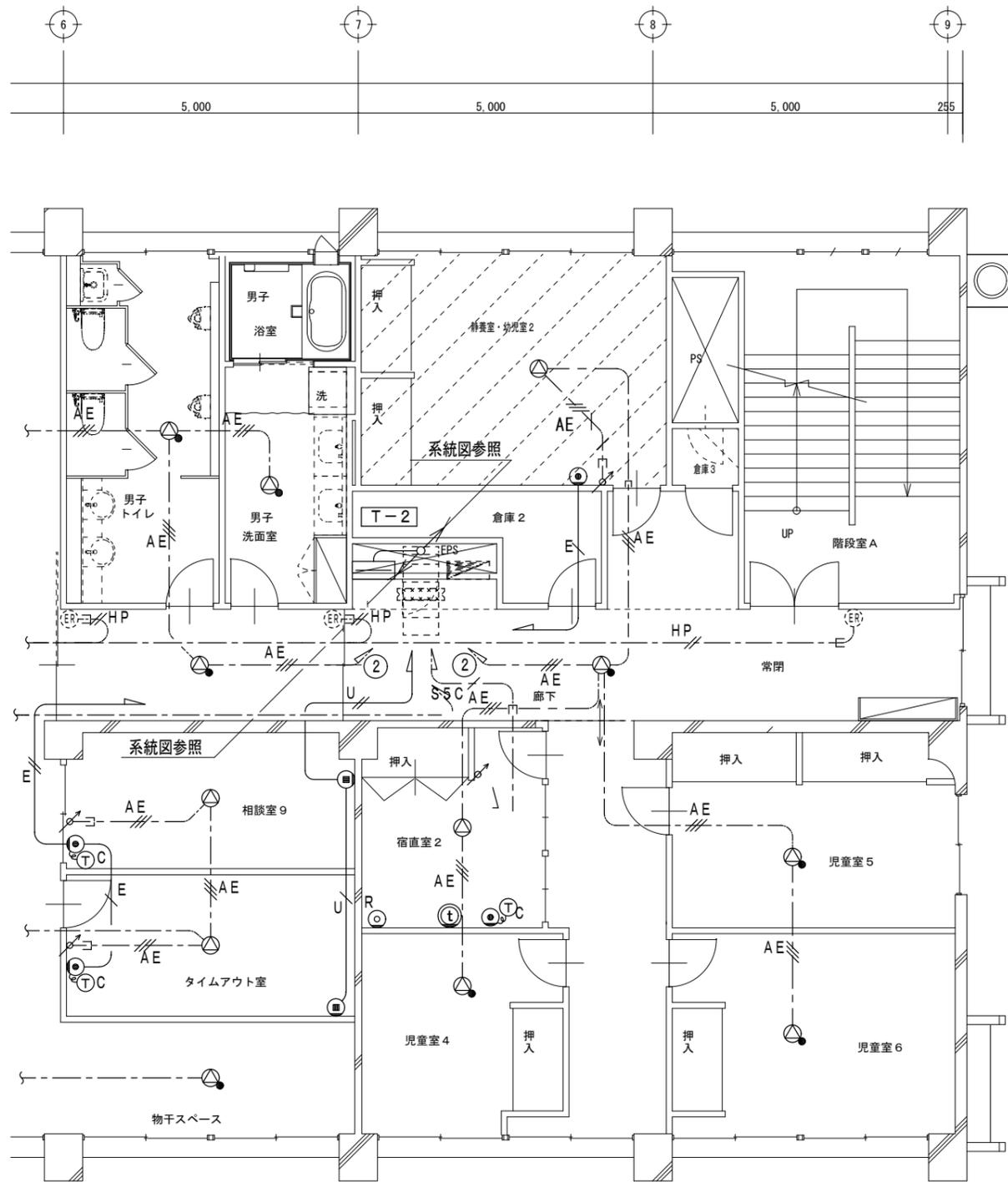
2階 撤去配線図 1:100

記号	機器名称	消費電力
PAC4-5	マルチパッケージ形 空調和機	1φ200V 70W
HEA3	空調換気扇	1φ100V 195W

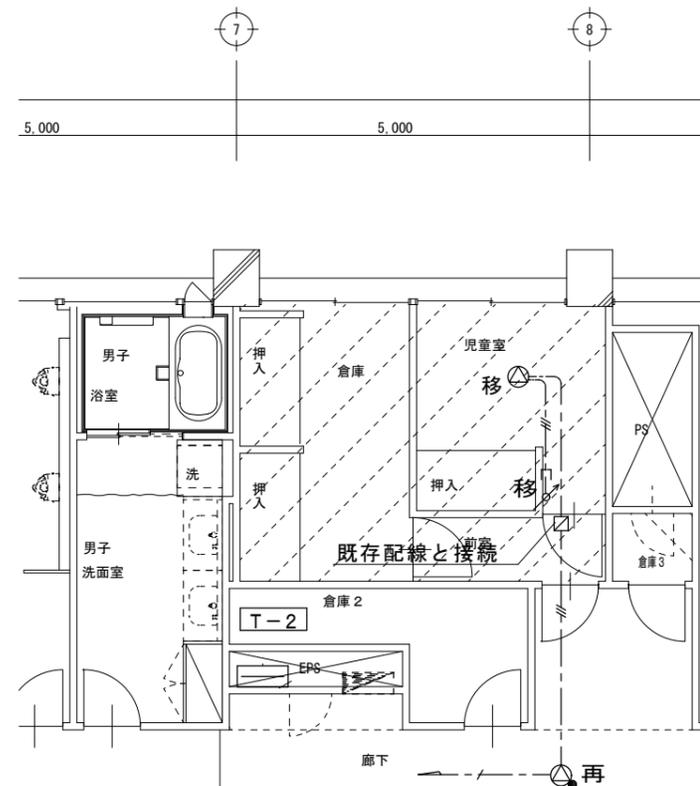
機器類機械設備工事 電源接続本工事

記号	名称及び仕様
---	EM-EEF 1.6 - 2C 天井内配線
-/-	EM-EEF 1.6 - 3C 1線アース 天井内配線
-ヨ-	引下部 (PF) 管にてケーブル保護を示す。
-キ	既存配線現状のまま使用を示す。
☐	ジョイントボックス 新設
☐	VE 四角中深 カバー付 既存配線と接続用
⊙移	空調換気扇用スイッチ 移設再取付

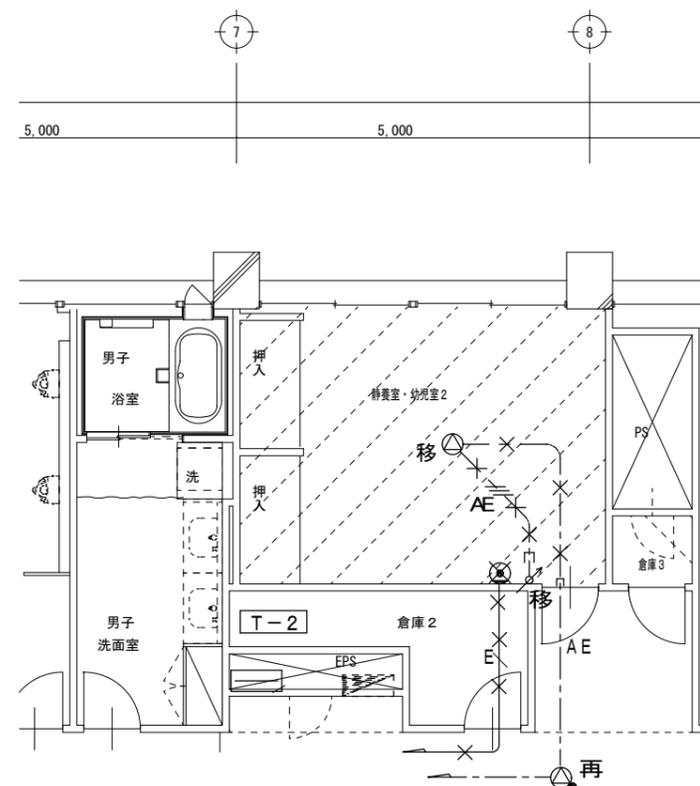
記号	名称及び仕様
×/×	VV-F 1.6 - 2C 撤去 天井内配線
-キ	既存配線現状のまま使用を示す。
⊙移	空調換気扇用スイッチ 移設
☐	中継用ジョイントボックス



2階 現況配線図 1:100



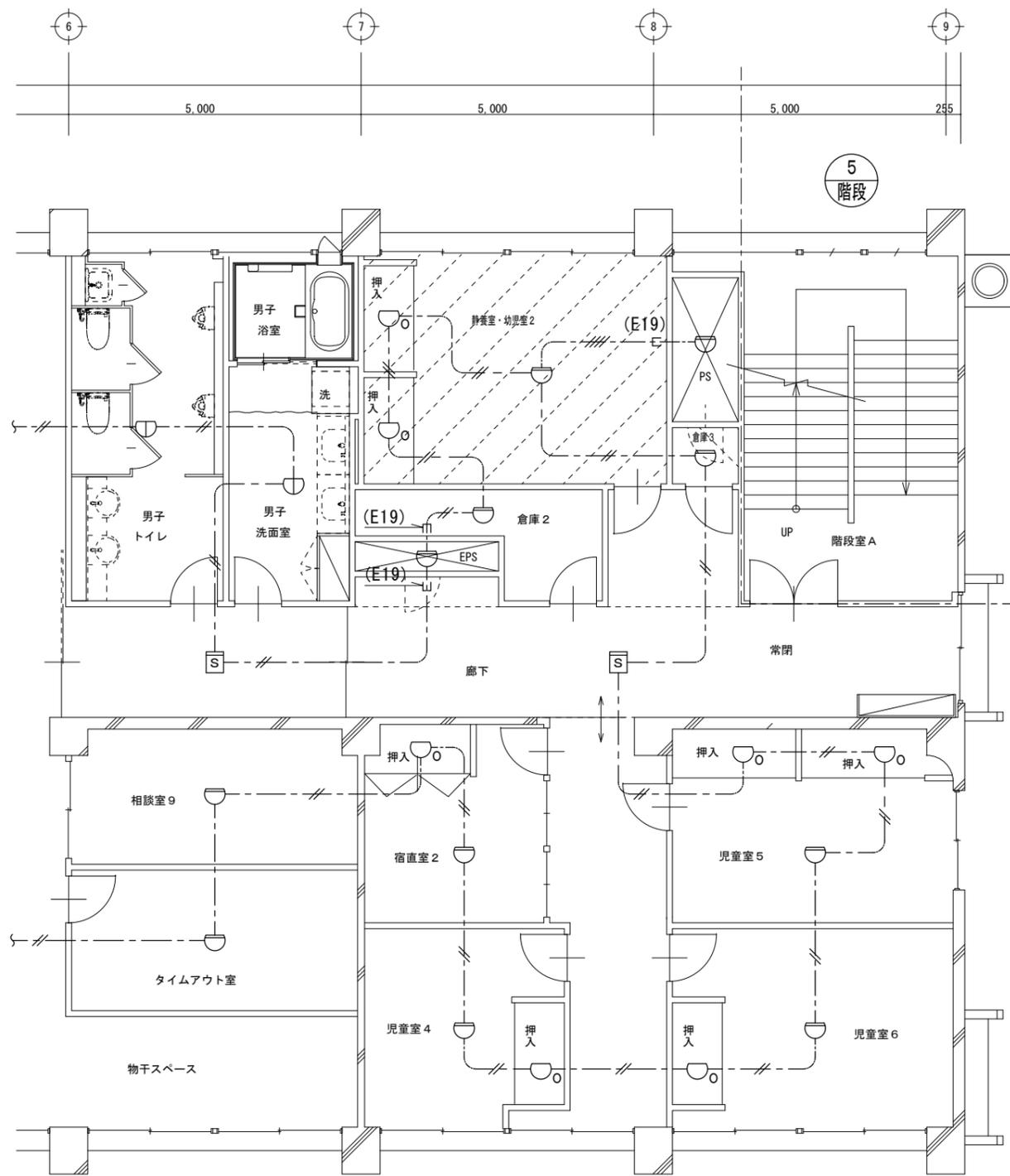
2階 改修後配線図 1:100



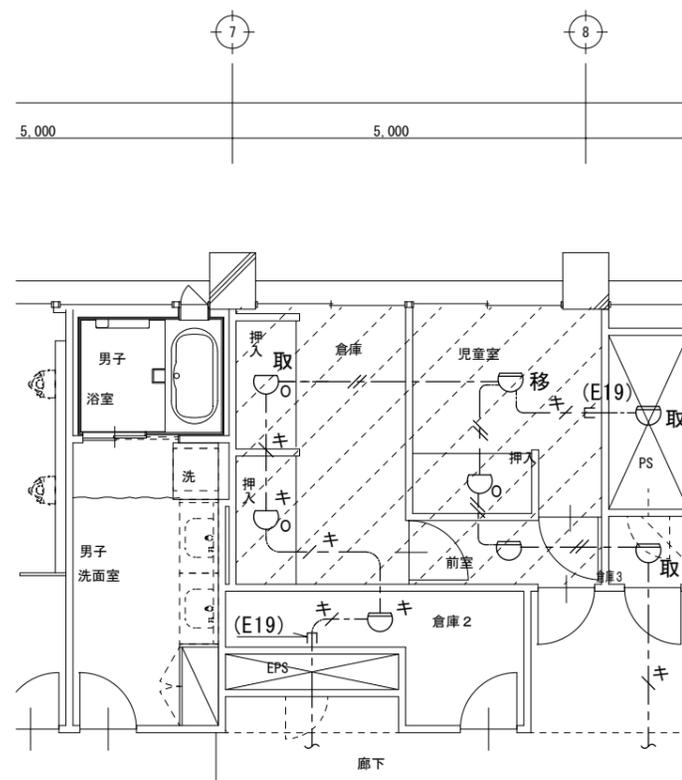
2階 撤去配線図 1:100

記号	名称及び仕様
AE	EM-AE 1.2 - 3C 天井内配線
キ	既存配線 現状のまま使用
移	天井埋込スピーカー 既存移設再取付
移	アッテネーター 既存移設再取付
再	ジョイントボックス VE 四角中深 カバー付 既存配線と接続用

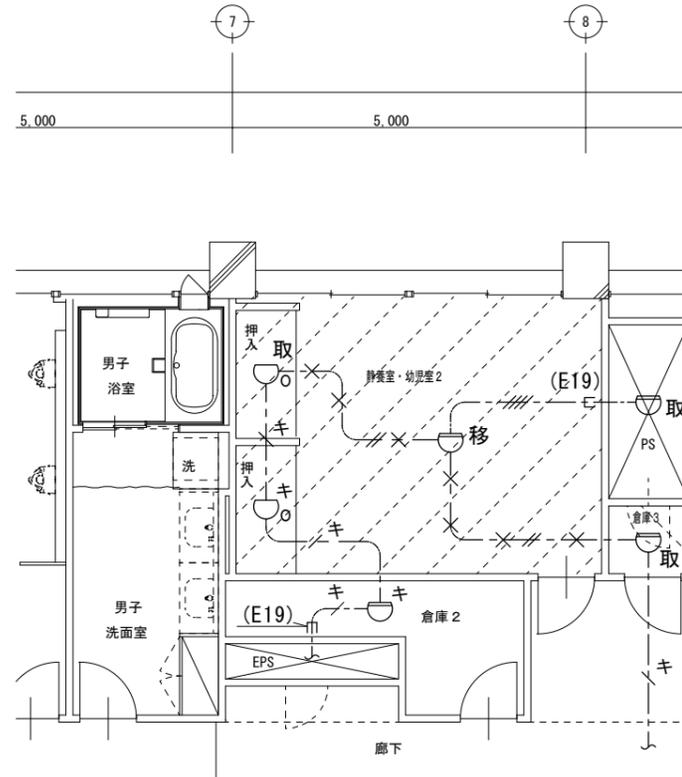
記号	名称及び仕様
× AE ×	EM-EBT 0.4 - 2P 撤去
× AE ×	EM-AE 1.2 - 3C 撤去
●	電話用アウトレット 撤去
移	天井埋込スピーカー 移設
移	アッテネーター 移設



2階 現況配線図 1:100



2階 改修後配線図 1:100



2階 撤去配線図 1:100

記号	名称及び仕様
---#---	EM-AE 0.9 - 2C 天井内配線
---	既存配線 現状のまま使用
---	引下部 (PF) 管にてケーブル保護を示す。
○	差動式スポット感知器 2種露出 新設
○ 移	差動式スポット感知器 既存移設再取付
○ 取	差動式スポット感知器 既存取外・再取付
○	定温式スポット感知器 特種 新設
○ 取	定温式スポット感知器 特種 取外・再取付
キ印付	感知器は現状のまま使用

記号	名称及び仕様
---X---	EM-AE 0.9 - 2C 撤去
---	既存配線 現状のまま使用
○ 移	差動式スポット感知器 移設再使用
○ 取	差動式スポット感知器 取外・再取付
○ 取	定温式スポット感知器 特種 取外・再取付
キ印付	感知器は現状のまま使用

中央児童相談所一時保護所個室化等改修工事 機械設備工事

I. 工事概要

1. 工事場所 長野市大字南長野妻科 144

建物名称	工事種別	構造	階数	延床面積(m ²)	消防法施行令別表第1号	耐震分類	備考
中央児童相談所	改修	RC+S	4	1857.83	(6)口		

3. 工事種目(●印を付けたものを適用する)

工事種目	建物別				
	中央児童相談所	工 事 内 容			
●空気調和設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○冷暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○暖房設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●換気設備	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排煙設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○自動制御設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○衛生器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○排水設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給湯設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○消火設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○ガス設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○給油設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○厨房機器設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○実験実習器具設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
○浄化槽設備	○一式	○一式	○一式	○一式	○一式
●撤去工事	●一式	○一式	○一式	○一式	○一式

4. 設備概要(○印を付けたものを適用する)

方法及び種別	設 備 概 要
空調方式	●射形・射形空気調和機移動
冷暖房方式	
暖房方式	・温風暖房 温水暖房 F F暖房
換気方式	●射形換気
給水方式	・水道直結式 ・加圧式 ・高圧タンク式(・上水 ・井水)
排水方式	・建物内汚水、雑排水(・分流 ・合流) ・建物外汚水、雑排水(・分流 ・合流) 浄化槽(・合併 ・単独) 放流先 ・公共下水
消火設備の種別	・屋内消火栓設備 ・消火器
ガスの種別	・都市ガス(発熱量 KJ/Nm ³ 、供給事業者名:) ・液化石油ガス(発熱量 100,000 KJ/Nm ³)

5. 指定部分 ○無 ・有(指定部分しゅん工期限 平成 年 月 日)

II. 管理技術者等

設計事務所名	管理技術者
湯本建築設計	湯本建築設計
主任担当技術者	担当技術者
意匠担当	
湯本建築設計 氏名 関卓志	湯本建築設計 氏名 関卓志

電気設備担当	小林電気設計事務所 氏名 小林敏久
機械設備担当	大須賀設計 氏名 大須賀隆

III. 工事仕様

1. 共通仕様
(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁官庁管理課の「公共建築工事標準仕様書(機械設備工書編)(平成28年版)」(以下、「標準仕様書」という。)、公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工書編)(平成28年版)」(以下、「改修標準仕様書」という。))及び「公共建築設備工事標準図(機械設備工書編)(平成28年版)」(以下、「標準図」という。)による。
(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。
参考図書
●長野県建築工事の手引き(以下、「手引き」という。)(平成24年版)長野県建設部施設課監修
2. 特記仕様
(1) ●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。

章 項 目	特 記 事 項
●機 材 等	(1) 本工事に使用する材料・機材等は、設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。ただし、製造業者等が記載されている場合は同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承認を受ける。 (2) 別表-1に示す材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(4)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出し監督職員の承認を受ける。 1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること。 2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること。 3) 安定的な供給が可能であること。 4) 法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。 5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること。なお、システムとして機能するものについては、システムの構築能力があり、現場での施工体制が整えられていること。

② 使用材料発注先調査

③ 施工条件明示項目

④ 化学物質を発生する建築材料等

使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承認を受ける。
公共建築工事標準仕様書の解説(設備工書編)の「執務並行改修」
本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジエーテル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
5) 上記(1)、(3)、(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量	該当する建築材料
規制対象外	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第4項による国土交通大臣認定品 ③下記表示のあるJAS規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用
第三種	①JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品 ②建築基準法施行令第20条の第3項による国土交通大臣認定品

⑤ ベーストシール剤
飲料水管系に使用されているベーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用していないこと。
ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラヒドロカン、クロロピリオス、フェノプロパルブ、ダイアジノン、フタル酸ジエーテル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル

電気保安技術者
⑥ 技能士の適用
⑦ 監督員事務所
⑧ 工事用電力・用水等
⑨ 足場・さん橋機

⑩ 資材の保管
12 建設発生土
13 埋め戻し土・盛土
14 山留養生
⑪ 発生材処理

(1) 引渡しを要するもの ・無 ・有()
(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出に適用法令により適切に処理すること。
(3) 特別管理産業廃棄物 ・無 ・有()
(4) 再利用又は再生資源化を図るもの (2)9(リットル、737)砂、木くず、金属くず、塩ビ管、標準仕様書第1編1.7.4によるほか、バルブ類等には必要に応じて合成樹脂製名札をステンレス線等で取付ける。
機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を書いた取扱説明板(アクリル樹脂製、文字形込み程度)を設ける。大きさは、約 ㎡とする。
●風量調整 ・水量調整 ・室内外空気の温湿度測定 ・騒音測定
●飲料水の品質の測定(・水質基準検査11項目(一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、亜硝酸態窒素、塩化物イオン、有機物等(TOC)、pH、臭気、色度、濁度) ・トルエン)
飲料水の品質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。
(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。
(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。
機器、配管、風道等は耐震性を考慮し堅固に支え付け、取付又は支持を行う。
耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」(国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修)による。
(1) 設計用水平地震力は、機器の重量(自由表面を有する水櫃その他の貯槽)にあっては有効重量)に、次に示す地域係数及び設計用標準水平地震力を乗じたものとする。地域係数は1.0とする。

16 文字入札等
17 取扱説明板
18 総合調整

⑬ 容量等の表示
⑭ 耐震措置

設置場所	耐 震 安 全 性 の 分 類			
	・特定の施設(・甲種・乙種)	・一般の施設(乙種)		・一般の施設(乙種)
上層階、屋上及び塔屋	2.0	1.5	1.5	1.0
	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)
中間階	1.5	1.0	1.0	0.6
	(1.5)	(1.5)	(1.5)	(1.0)
地下階、一階	1.0	0.6	0.6	0.4
	(1.0)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)

(注) 1. () 内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。
2. () 内の数値は水櫃類に適用する。
3. 上層階の定義は次による。
2～6階建以下の場合には最上階、7～9階建の場合は上層2階
重要機器とは下記に示すものをいう。
・給水装置・排水装置・換気機器・空調機器・防災設備・監視制御設備・危険物貯蔵装置
・火を使用する設備・遊樂路路上に設置する機器
(2) 設計用標準地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
設計用標準仕様書第2編第5章による。
確認試験は、性能確認試験(本)・施工後確認試験(本)を確認強度()NIにて行う。
・施工士の適用(第1種、第2種)あと施工アンカー施工による。④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

① あと施工アンカー
② 吊金物
③ 配管勾配
④ 排水の保護
25 管の埋設
使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承認を受ける。
公共建築工事標準仕様書の解説(設備工書編)の「執務並行改修」
本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の(1)から(5)を満たすものとする。
1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
3) 接着剤はフタル酸ジエーテル及びフタル酸-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑性剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
5) 上記(1)、(3)、(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散量が極めて少ないものとする。
なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

26 管の埋設表示

27 溶接部の非破壊検査

28 塗装

29 機器の基礎及び振動絶縁効率

機 器	基 礎	振 動 絶 縁 効 率
透 心 送 風 機	・標準基礎 ・防振基礎	・%以上
空 調 用 ポンプ 及び ポイラー給水用ポンプ	・標準基礎 ・防振基礎	・80%以上
給 水 用 ポンプ 及び 小形給水ポンプユニット	・標準基礎 ・防振基礎	・80%以上

⑬ 電 線 類
⑭ ほ っ り
⑮ 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製構柱を埋め込む。構築部分は埋設構柱とする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。
排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
検査対象 ・配管 ・機軸 ・換気機 ・標準仕様書による
検査の種類 ・RT ・PT又はMT
下記の金属電線管は塗装を行う。
・屋外露出 () の屋外露出
下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。
・倉庫

電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
標準仕様書第2編によるほか下記による。
給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ(グラッド部を含む)、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共通する。なお、保温部はシーリング処理を行う。
各配管の保温厚で標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。
●換気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ●外壁から1m
●外気取入れダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ●全て保温
●排気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ●全て保温
●送りダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
●廊下タンクよりポイラーへの給水管の保温は断熱管による。
・建物内の空気抜き管の保温は断熱管の項による。
・空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。
・全熱交換器用ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
保温種別は下記による

ダクト	イ(・1号・2号)	ロ
冷水管、冷水、温水、蒸気管	・イ	・ロ
機器	・イ	・ロ
給水管	・イ	・ロ(凍結防止帯巻部分)
排水管	・イ	・ロ
給湯管	・イ	・ロ

・排水管でピット内、共同溝内及び最下層の床下の下配の部分は保温する。
なお仕様はd(ハ)とする。
(・排水トラップ ・鉛管 ・鋼管類 ・ビニール管 ・ドレーン管 ・) 消火管に必要な工事用電力、用水、諸手続きなどの費用は請負者の負担とする。
●別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担する。
・改修工事標準仕様書第1編2.2.1によるほか下記による。
・内部仮設足場等(・種 ・種) ・外部仮設足場等(・種 ・種)
資材の保管は必ず屋根をかけた上30cm以上の架台に乗せる。
・監督員が指示する構内の場所に散らさず ・構内指定場所にたい塊 ・構外搬出適切処理
・根切中の良質土(ただし管の周囲は山砂又は川砂) ・山砂の類
根切中の山留め ・有() ・無()
工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工期には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。

ダクトの保温区分は下表による。	保 温 外 装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス
機械室	・アルミガラスクロス
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板

配管の保温区分は下表による。(配管には、冷媒管は除く。)	保 温 外 装
倉庫・書庫	・アルミガラスクロス
機械室	・アルミガラスクロス
居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板

冷媒管の保温の外装は下表による。なお保温化製ケースの材質は図示による。	保 温 外 装
屋 外 露 出	・保温化粧ケース
屋 外 露 出	・ステンレス鋼板

33 防凍保温
・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は防凍保温を行い、厚さは管径25mm以上のものは50mm、管径32mm以上のものは40mmとする。
・屋外露出部(給水管、冷温水管、膨脹管、冷水管、温水管、ドレーン管、消火管、排水管、弁類)は電気ヒーター等の防凍対策を行う。なお、保温厚は3.2に準じる。
・各種機器において図示電気ヒーター等の防凍対策を行う。()
(1) 各種配管の試験は、新設配管に適用する。
(2) 新設配管は、既設配管の接続前に試験を行う。
配管、ダクト、器具据え付けともなうスリーブ、挿入は本工事とし、他は工事区分による。保険等の各種措置については、別添「特記仕様書(共通事項)」による。
(長野県公式ホームページ(電子入札システム)に掲載される、当該入札公告の添付図書)

⑯ 試 験
35 他工事との取合い
⑰ そ の 他

1 設計室温度	屋 内					
	外 気		一 般 系 統			
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏 季	℃	%	℃	%	℃	%
冬 季	℃	%	℃	%	℃	%

2 居室騒音限界	音 量			
	A 特性 (dB)	N 特性 (dB)	C 特性 (dB)	備 考

3 煤煙濃度計
4 はいじん量測定口
5 煙 道
6 ダクト
7 風量測定口
8 チャンパー

9 防煙ダンパー
図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製構柱を埋め込む。構築部分は埋設構柱とする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。
排水管を除く管には、埋設表示用テープを設置する。
検査対象 ・配管 ・機軸 ・換気機 ・標準仕様書による
検査の種類 ・RT ・PT又はMT
下記の金属電線管は塗装を行う。
・屋外露出 () の屋外露出
下記の保温を行わない亜鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。
・倉庫
電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編1.5.1表4.1.11による。
既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。
標準仕様書第2編によるほか下記による。
給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ(グラッド部を含む)、フランジ、可とう継手及び空調ダクトのフランジは、建物内外共通する。なお、保温部はシーリング処理を行う。
各配管の保温厚で標準仕様書中厚30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。
●換気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ●外壁から1m
●外気取入れダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ●全て保温
●排気ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による ●全て保温
●送りダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
●廊下タンクよりポイラーへの給水管の保温は断熱管による。
・建物内の空気抜き管の保温は断熱管の項による。
・空気調和機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。
・全熱交換器用ダクトの保温要(保温厚25mm) ・範囲は図示による
保温種別は下記による

10 ビストンダンパー
11 弁 類
12 温 度 計
13 圧 力 計
14 瞬 間 流 量 計
15 油 濁 制 御 装 置

① ダクト
② 風量測定口
③ ダンパー
④ 排気ダクトのシール
⑤ チャンパー
⑥ 耐火措置

●換気設備
○排煙設備
○自動給油設備
○衛生器具設備

1 ダクト
2 排煙口の形式
3 排煙口手動開放装置(開放及び復旧方式)
4 排煙風量測定

1 中央監視制御装置
2 中央監視制御装置の構成・機能
3 電気計装工事の配線

1 大 便 器 洗 浄 弁
2 大 便 器 ロ ー タ ン ク
3 温 水 洗 浄 式 産 産
4 小 便 器 洗 浄 弁
5 水 水 栓
6 洗 面 器
7 排 記 帳 板
8 大 便 器 耐 火 カ バ ー

1 塵 水 器
2 塵 水 器 機
3 弁 類
4 引込納付金等
5 給水勾配
6 建物導入部配管

1 洗面器等の排水管
2 排水勾配
3 漏水試験機
4 1/4"-1樹、ため樹

1 弁 類
○消 火 機 器
○閉鎖設備

1 1 号 シ ス テ ム
2 機 器 の 寸 法

1 充てん容器
2 集合装置
3 転倒防止等
4 メーター
5 ガス漏れ警報器
6 引込負担金
7 電気防食
8 建物導入部配管

① しゅん工期提出物
② 竣工報告
③ 電子納品

(別表-1) 品質及び性能を有することの証明となる資料を提出する機材等
○ (社) 公共建築協会による「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」における評価対象となる機械設備機材等
○ その他監督職員の指示によるもの
(別表-2) しゅん工期提出物(○印を付けたものを提出する。作成方法は手引きによる。)

① 提出書類等目録
② 完成図(原図・製本・CADデータ)
③ 設計図(原図・CADデータ)
④ 工事施工関係書類
⑤ 工事完成資料
⑥ 保守管理資料

⑦ 官公署提出書類等
⑧ 工具・予備品等
⑨ 引渡書
⑩ 試運転用油等() の納品書等
⑪ その他監督職員の指示によるもの又は特記によるもの

注) 完成図面の種類は、設計図面に準じて作成すること。

機器表

記号	機器名称	数量	設置場所	仕様	消費電力(60Hz)
FV1	換気扇	2	倉庫	天井埋込形 100φ×170m ³ /h×40Pa 低騒音 フルフラットインテリアパネル SUS製深形フード100φ	1φ100v 22.5w
PAC3-4	マルチパッケージ形 空気調和機 室内機	1	児童室1	既存品移設 てんかせ2方向形 冷房能力4kw 暖房能力4.8kw 化粧パネル リモコン 新設工事 室内機耐震振れ止め支持 防震吊り金物	1φ200v 80w
PAC4-5	マルチパッケージ形 空気調和機 室内機	1	児童室2	既存品移設 てんかせ2方向形 冷房能力3.6kw 暖房能力4kw 化粧パネル リモコン 新設工事 室内機耐震振れ止め支持 防震吊り金物	1φ200v 70w
HEA3	空調換気扇 24時間換気	2	児童室1 児童室2	既存品移設 天井カセット形 150φ×350m ³ /h×50Pa 24時間換気120m ³ /h×10Pa インテリアパネル 24時間コントロールスイッチ 新設工事 耐震振れ止め支持 防震吊り金物	1φ100v 195w

冷媒管表

記号	冷媒管
R7	6.4/12.7

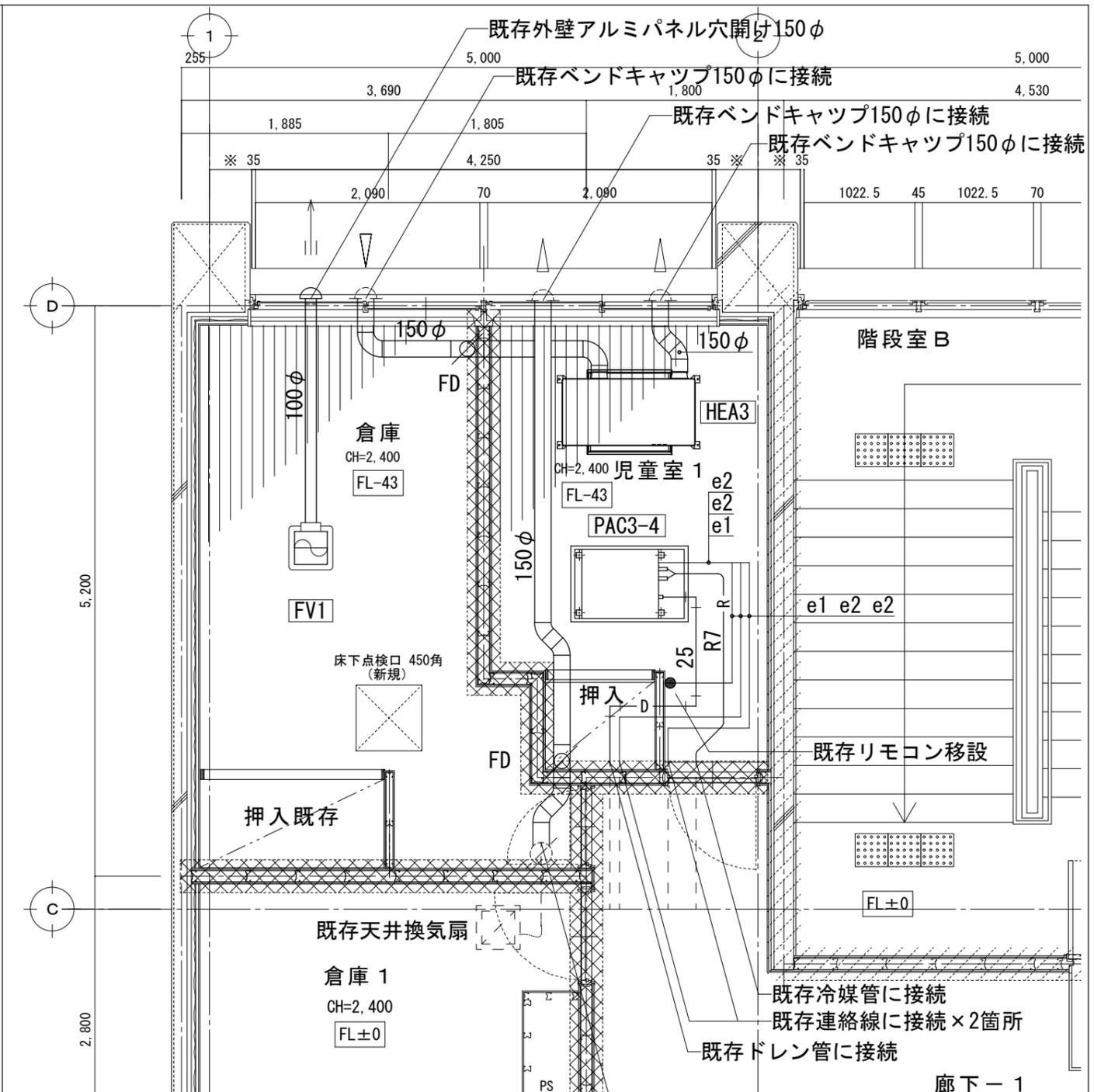
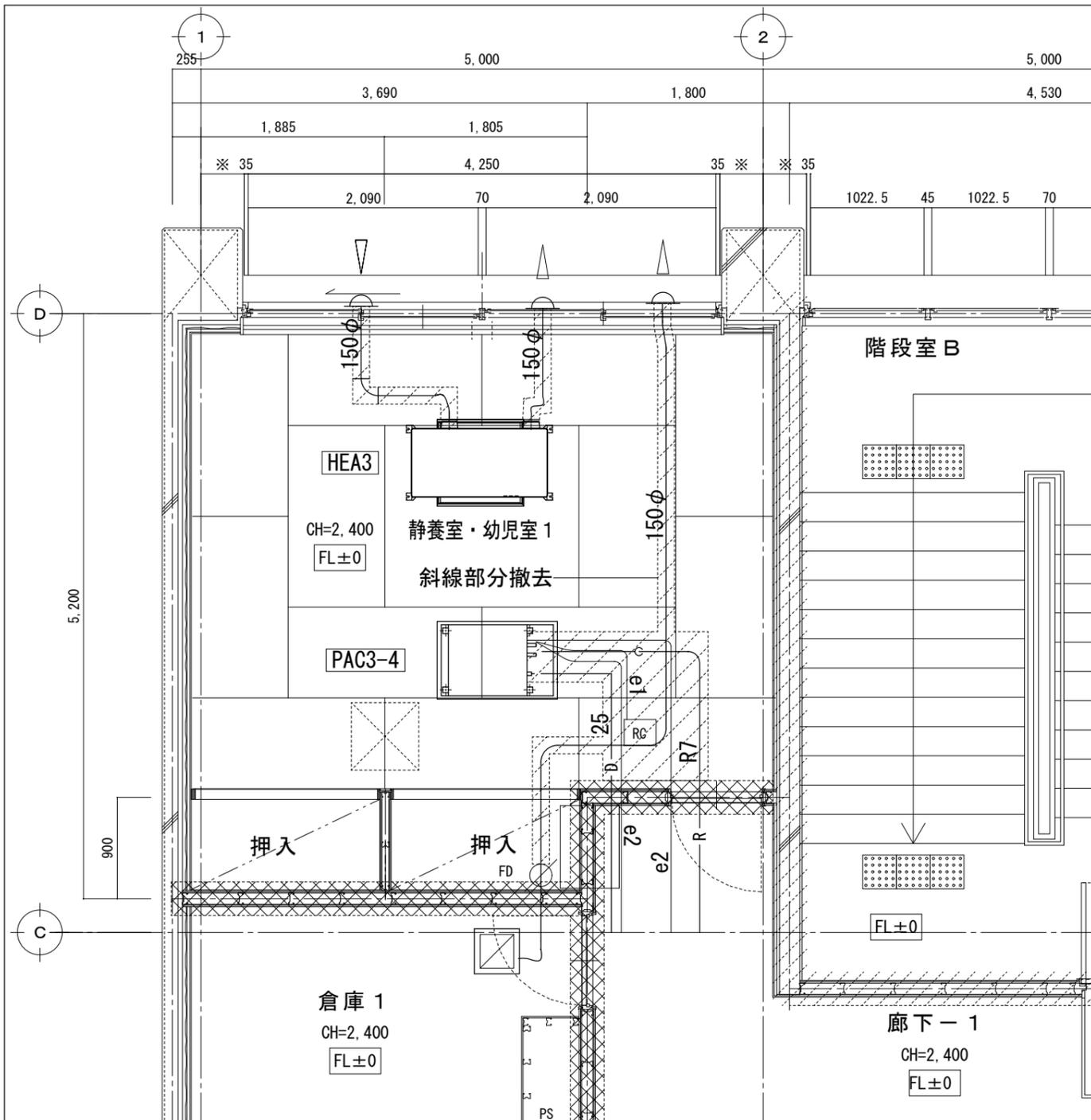
連絡線表

記号	連絡線
e1	EM-CEE1.25□-2C 壁立下げPF16
e2	EM-CEE1.25□-2C

凡例

記号	名称	管材料
—R—	冷媒管	断熱被覆銅管 火無し工法継手
—D—	ドレン管	ビニル管VP 接着工法継手
====	ダクト	スパイラルダクト亜鉛鉄板製

- * 冷媒管防火区画貫通は防火区画処理材の耐火キャップを取付ける。
国土交通大臣認定PS060WL-0025, 0027
- * 排水管防火区画貫通は前後1mロックウール保温施工とする。
- * 冷媒配管改修時に既存冷媒ガス90kg回収及び再充填作業を行う。



撤去目録

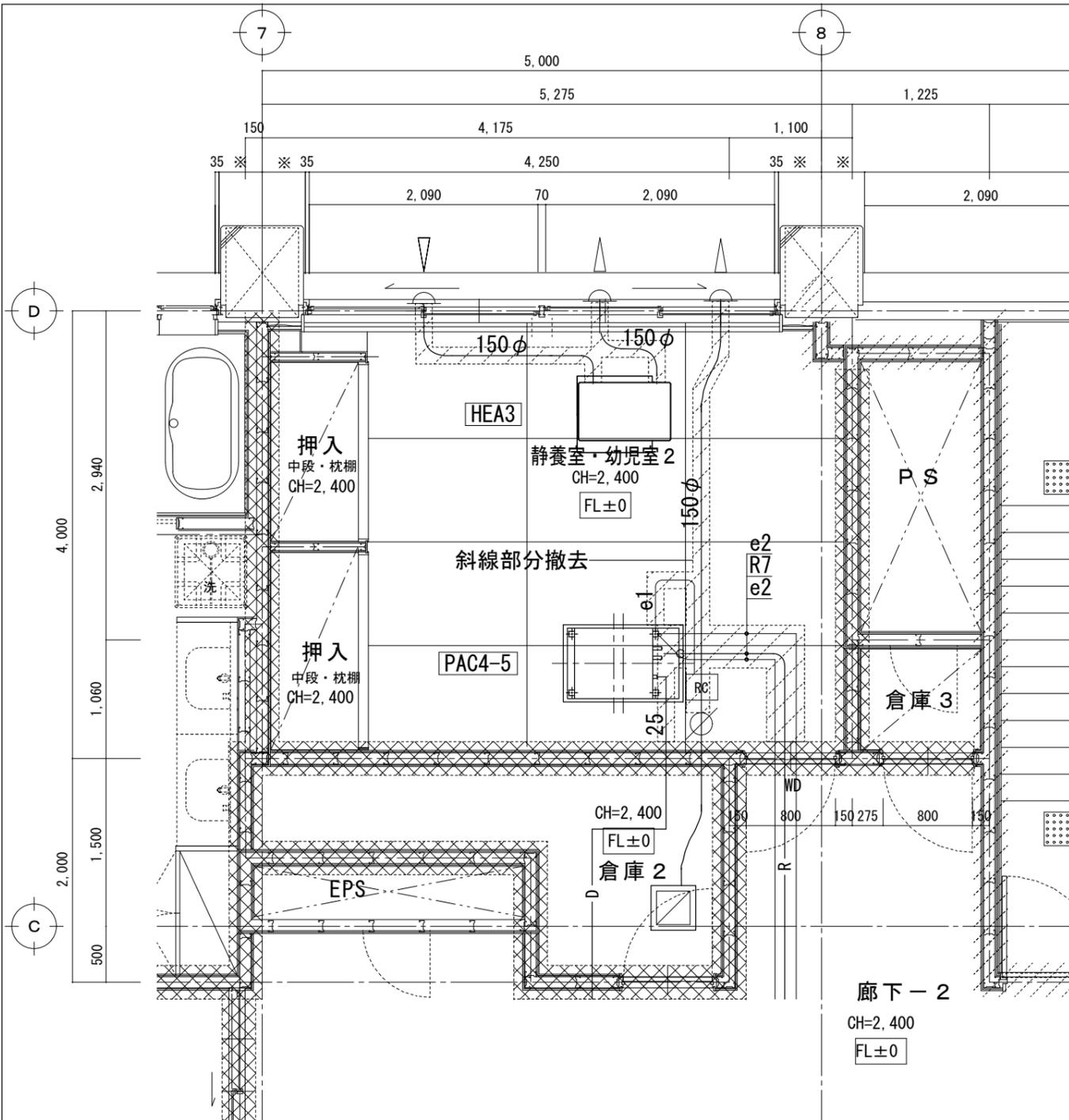
室名	撤去品	数量
静養室	スライダ*外150φ	9 m
幼児室1	冷媒配管6.4/12.7	3 m
	ドレン管25	2 m
	保温	1 式
	機器支持金物	1 式

移設品目録

室名	撤去品	数量
静養室	PAC3-4	1 台
幼児室1	マルチパッケージ形 空気調和機 室内機	1 個
	PAC3-4リモコン	1 個
	HEA3	1 台
	空調換気扇	1 個
	HEA3リモコン	1 個

幼児室 1 (改修前) 1:50

児童室 1・倉庫 (改修後) 1:50



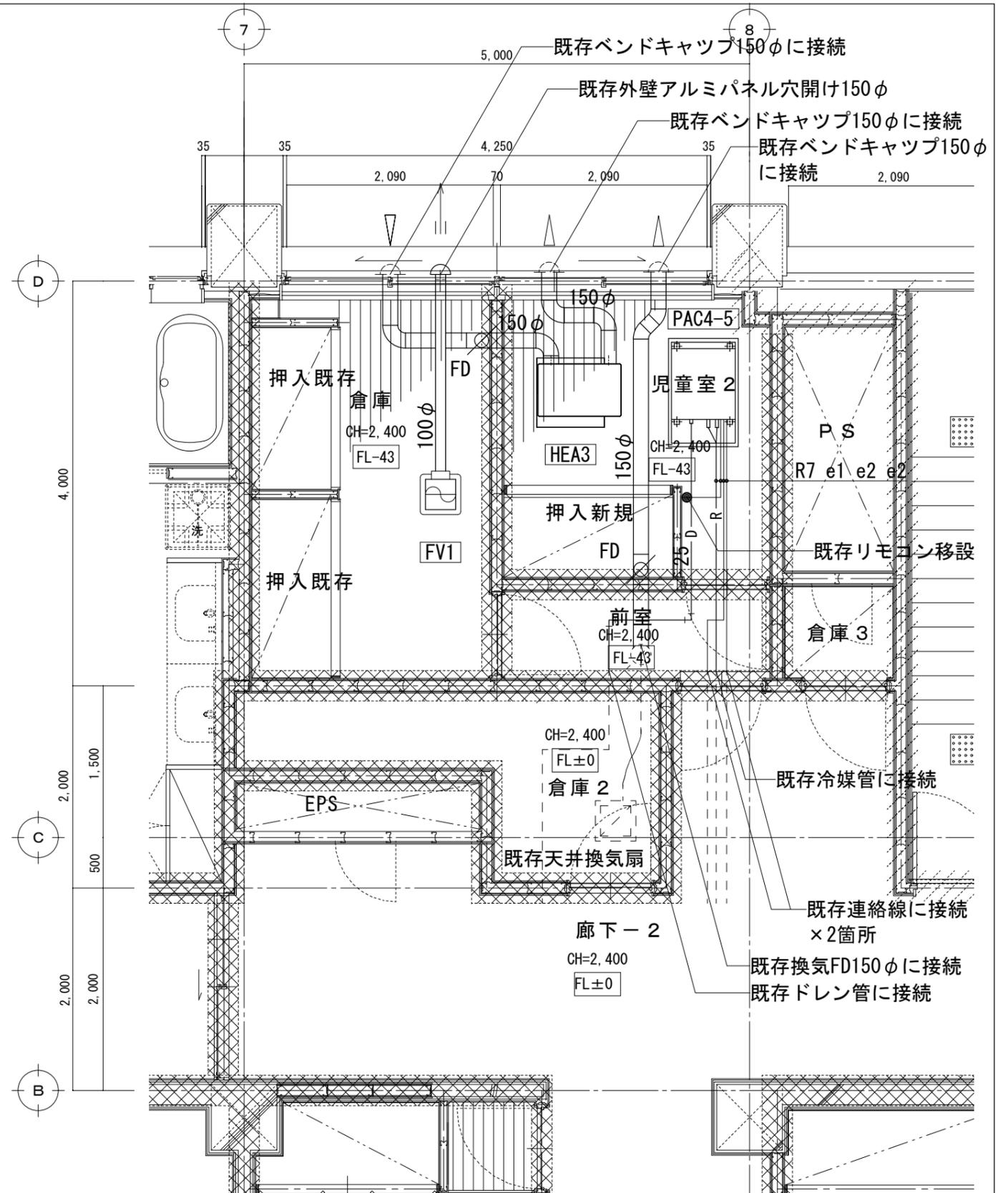
撤去目録

室名	撤去品	数量
静養室	スパイラルダクト150φ	7 m
幼児室2	冷媒配管6.4/12.7	2 m
	ドレン管25	1 m
	保温	1 式
	機器支持金物	1 式

移設品目録

室名	撤去品	数量
静養室	PAC4-5	1 台
幼児室2	マルチパッケージ形 空気調和機 室内機	1 個
	PAC4-5リモコン	1 個
	HEA3	1 台
	空調換気扇	1 個
	HEA3リモコン	1 個

幼児室2 (改修前) 1:50



児童室2・倉庫 (改修後) 1:50